

SONY®



4448842040

ソリッドステート メモリーカムコーダー

PMW-160

取扱説明書

お買い上げいただきありがとうございます。

⚠ 警告 電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。この取扱説明書をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

お問い合わせは
「ソニー業務用商品相談窓口のご案内」にある窓口へ

ソニー株式会社 〒108-0075 東京都港区港南1-7-1

<http://www.sony.co.jp/>

Printed in China

XDCAM

MPEG HD422

SX

Exmor

HDMI

i

© 2012 Sony Corporation

安全のために

ソニー製品は安全に充分配慮して設計されています。しかし、電気製品は、まちがった使いかたをすると、火災や感電などにより死亡や大けがなど人身事故につながることがあり、危険です。

事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。

安全のための注意事項を守る

8~11ページの注意事項をよくお読みください。製品全般の注意事項が記されています。

定期点検を実施する

長期間、安全にお使いいただくために、定期点検をすることをおすすめします。点検の内容や費用については、お買い上げ店またはソニーのサービス窓口にご相談ください。

故障したら使用を中止する

お買い上げ店またはソニーのサービス窓口にご連絡ください。

万一、異常が起きたら

- ・煙が出たら
- ・異常な音、においがしたら
- ・内部に水、異物が入ったら
- ・製品を落としたり、キャビネットを破損したときは



- ①電源を切る。
- ②バッテリーパックや、電源コード、接続ケーブルを抜く。
- ③お買い上げ店またはソニーのサービス窓口に連絡する。

警告表示の意味

取扱説明書および製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

△ 危険

この表示の注意事項を守らないと、破裂・発火・発熱・液漏れにより、死亡や大けがになることがあります。

△ 警告

この表示の注意事項を守らないと、火災や感電などにより死亡や大けがなど人身事故につながることがあります。

△ 注意

この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の物品に損害を与えたりすることがあります。

注意を促す記号



火災

感電

高温

行為を禁止する記号



禁止

分解禁止

行為を指示する記号



指示

目次

△ 警告	8
△ 注意	9
電池についての安全上のご注意	10
電池のリサイクルについて	11
その他の安全上のご注意	11

概要

本機の特長	12
各部の名称	14
本体	14
赤外線リモートコマンダー（付属）	19
画面表示	20
ダイレクトメニュー操作	21

準備

電源	22
バッテリーパックを使う	22
AC 電源を使う（DC IN 電源）	23
電源を入れる / 切る	23
時計を合わせる	23
LCD モニターとビューファインダーを調整する	24
LCD モニターを調整する	24
ビューファインダーを調整する	24
赤外線リモコンを使う	25
SxS メモリーカードを使う	26
SxS メモリーカードについて	26
SxS メモリーカードを入れる / 取り出す	26
使用する SxS メモリーカードを切り換える	27
SxS メモリーカードをフォーマット（初期化）する	27
残りの記録可能時間を確認する	27
SxS メモリーカードを修復する	28
他のメディアを使う	29
XQD メモリーカード	29
“メモリースティック” /SDHC カード	29
USB メモリー（UDF のみ）	30
Wi-Fi 接続して使う	32
CBK-WA01 を取り付ける	32
IFU-WLM3 を取り付ける	33

Wi-Fi 接続する	33
Web メニューを使用する	35
Wi-Fi リモコンを使用する	36

撮影

基本操作手順	38
基本設定を変更する	40
ビデオフォーマット	40
ND フィルター	41
ホワイトバランス	41
マーカー / ゼブラパターン	42
ゲイン	42
電子シャッター	43
アイリス	43
ズーム	44
フォーカス	44
手ぶれ補正	45
フリッカー	45
タイムデータ	46
音声を記録する	46
内蔵ステレオマイクを使う	46
外部入力を使う	46
外部マイクを使う	46
録音レベルを調整する	47
音声をモニターする	47
便利な機能を使う	48
カラーバー / 基準音声信号	48
ショットマーク	48
OK/NG/KP フラグ (UDF のみ)	48
OK マーク (FAT/HD モードのみ)	49
レックレビュー	49
アサイナブルボタン	49
インターバルレック	50
フレームレック：コマ撮りする	50
クリップコンティニュアスレック (UDF のみ)	51
ピクチャーキャッシュレック：さかのぼって記録する	52
スロー＆クイックモーション	53
フリーズミックス：位置を合わせる	54
ピクチャープロファイル	54
クリップの削除	61
設定データの保存と呼び出し	61
プランニングメタデータ	62

再生

サムネイル画面	66
サムネイル画面の構成	66
サムネイル画面の種類を変更する	67
クリップの再生	68
選択したクリップ以降のクリップを連続再生する	68
音声を聞く	69
頭出しする	69
再生中にショットマークを追加する (UDF、FAT/HD モード)	69
クリップ操作	70
クリップ操作メニュー構成	70
クリップ操作メニューの基本操作	70
クリップの詳細情報を表示する	72
フラグを付ける / フラグを削除する (UDF のみ)	73
OK マークを付ける / OK マークを削除する (FAT/HD モードのみ)	73
クリップをコピーする	73
クリップを削除する	74
クリップエクスパンド画面を表示する	74
ショットマーク画面を表示する (UDF、FAT/HD モード)	75
ショットマークを追加・削除する (UDF、FAT/HD モード)	76
クリップの代表画を変更する (UDF、FAT/HD モード)	77
クリップを分割する (FAT/HD モードのみ)	77

ステータス画面

ステータス画面を表示する	78
カメラステータス画面	78
オーディオステータス画面	79
ビデオステータス画面	79
ボタン / リモートステータス画面	80
バッテリー / メディアステータス画面	80

メニュー表示と詳細設定

セットアップメニューの構成と階層	81
セットアップメニューの階層	81
セットアップメニューの基本操作	82
セットアップメニュー一覧	84
CAMERA SET メニュー	84
AUDIO SET メニュー	89
VIDEO SET メニュー	90
LCD/VF SET メニュー	92
TC/UB SET メニュー	95
OTHERS メニュー	97

外部機器を接続する

外部モニターや記録装置を接続する	107
コンピューターでクリップを管理・編集する	108
i.LINK で接続する	110
本機の画像を外部機器で記録する (FATのみ)	110
ノンリニア編集する (FATのみ)	110
外部入力信号を記録する	111
外部同期	112

付録

使用上のご注意	115
出力のフォーマットと制限	118
ビデオフォーマットと出力信号	118
入出力制限	123
バックアップ電池の交換	124
トラブル時の対処	125
電源	125
記録・再生	125
外部機器	126
エラー / 警告表示	127
エラー表示	127
警告表示	127
ライセンスについて	131
MPEG-2 Video Patent Portfolio License について	131
ビットマップフォントについて	131
GPL 適用ソフトウェアの入手について	131
OpenSSL について	132

JQuery,Sizzle.js について	134
保証書とアフターサービス	136
保証書	136
アフターサービス	136
主な仕様	136
一般仕様	136
レンズ	138
カメラ部	138
入出力	139
表示部	139
内蔵マイク	139
メディアスロット部	139
付属品	139
別売りアクセサリー	140
索引	142

⚠ 警告



下記の注意を守らないと、**火災や感電により
死亡や大けがにつながることがあります。**

 運転中に使用しない 自動車、オートバイなどの運転をながら記録／再生をすることはおやめください。交通事故の原因となります。	 メモリーカードスロットに異物を入れない 指定のメモリーカード以外のものを入れると、火災や感電の原因となることがあります。
 分解や改造をしない 分解や改造をすると、火災や感電、けがの原因となることがあります。内部の点検や修理は、お買い上げ店またはソニーのサービス窓口にご依頼ください。	 指定の電源で使用する 取扱説明書に記されているバッテリーパックまたはACアダプターでお使いください。指定以外の製品でのご使用は、火災の原因となります。
 AC電源コードやDC電源接続コードを傷つけない AC電源コード、DC電源接続コードやマイクケーブルを傷つけると、火災や感電の原因となります。 <ul style="list-style-type: none">コードを加工したり、傷つけたりしない。重いものをのせたり、引っ張ったりしない。熱器具に近づけたり、加熱したりしない。コードを抜くときは、必ずプラグを持って抜く。 万一、コードが傷んだら、ソニーのサービス窓口に交換をご依頼ください。	 電源コードのプラグおよびコネクターは突き当たるまで差し込む 真っ直ぐに突き当たるまで差しまないと、火災や感電の原因となります。
 ビューファインダーの接眼レンズを太陽に向けて放置しない 太陽光が接眼レンズを通してビューファインダー内部に焦点を結び、火災の原因となることがあります。	 内部に水や異物を入れない 水や異物が入ると火災や感電の原因となることがあります。
 ビデオライト使用時は、高温部分に触れない ビデオライトの使用時または使用直後は、ライト本体およびその周辺部が高温になっているため、やけどすることがあります。 カムコーダーの取っ手を持って運搬するときは、ライト本体およびその周辺部に触れないよう注意して運搬してください。	 内部に水や異物を入れない 水や異物が入ると火災や感電の原因となることがあります。

⚠ 注意

下記の注意を守らないと、けがをしたり
周辺の物品に損害を与えることがあります。

 指示	雷が鳴り出したら、使用を中止する 落雷すると、感電のおそれがあります。雷が鳴り出したらすぐに使用を中止して本機から離れてください。	 禁止 雨のあたる場所や、油煙、湯気、湿気、ほこりの多い場所では使用しない 上記のような場所や、この取扱説明書に記されている使用条件以外の環境で使用すると、火災や感電の原因となることがあります。
 指示	コード類は正しく配置する 電源コードや接続ケーブルは、足に引っかけると本機の落下や転倒などにより、けがの原因となることがあります。十分注意して接続・配置してください。	 指示 カムコーダーの重量にあつた三脚を使用し、三脚・雲台を確実に固定する カムコーダーの重量に耐えきれない三脚、または三脚以外に取り付けて使用すると、本機やレンズが落下し、けがをすることがあります。 また、三脚・雲台を確実に固定せずにカムコーダーから離れると、不意にカムコーダーが動いてけがをすることがあります。
 指示	部品の取り付けは正しく行う 本機に以下の部品を取り付けるときは、取扱説明書の該当するページをよく読んだうえ、確実に取り付けてください。取り付け方法を誤ると部品やカムコーダー本体が落下し、けがをすることがあります。 • ショルダーベルト（15 ページ）	 指示 撮影時は周囲の状況に注意をはらう 周囲の状況を把握しないまま撮影を行うと、事故やけがの原因となります。
 指示	保管するときは安定した場所に置く ぐらついた台の上や傾いたところなどに置くと、本機が落下してけがの原因となることがあります。	 高温 排気口付近、その他高温部には触れない 排気口付近、および三脚座は高温になるため、手などが触るとやけどの原因となります。

電池についての安全上 のご注意

電池の使いかたを誤ると、液漏れ・発熱・破裂・発火・誤飲による大けがや失明の原因となるので、次のことを必ず守ってください。

万一、異常が起きたら

- ・煙が出たら
 - ①機器の電源スイッチを切るか、バッテリーチャージャーの電源プラグを抜く。
 - ②ソニーのサービス窓口に連絡する。
- ・電池の液が目に入ったらすぐきれいな水で洗い、直ちに医師の治療を受ける。
- ・電池の液が皮膚や衣服に付いたらすぐにきれいな水で洗い流す。
- ・バッテリー収納部内で液が漏れたらよくふきとつてから、新しい電池を入れる。

ここでは、本機で使用可能なソニー製リチウムイオン電池についての注意事項を記載しています。

！危険

- ・充電には、ソニーの専用バッテリーチャージャーを使用する。
- ・火の中に投げ入れたり、加熱、半田付け、分解、改造をしない。
- ・直射日光の当たるところ、炎天下の車内、ストップのそばなど高温の場所で、使用・放置・充電をしない。

！警告

- ・ハンマーでたたくなどの強い衝撃を与えた り、踏みつけたりしない。
- ・接点部や \oplus 極と \ominus 極をショートさせたり、金属製のものと一緒に携帯・保管をしない。
- ・所定の充電時間を超えて充電が完了しない場合は、充電をやめる。
- ・電池使用中や充電、保管時に異臭がしたり、

発熱・液漏れ・変色・変形などがあったときは、すぐに使用や充電をやめる。

- ・水や海水につけたり、濡らしたりしない。

△ 注意

充電のしかたについてはバッテリーチャージャーの取扱説明書をよく読む。

ここでは、付属の赤外線リモートコマンダーおよびデータ保持用で使うリチウムボタン電池についての注意事項を記載しています。

△ 警告

- ・乳幼児の手の届かないところに置く。
- ・電池は充電しない。
- ・火の中に入れたり、加熱・分解・改造をしない。
- ・電池の $(+)$ と $(-)$ を正しく入れる。
- ・電池の液が目に入ったときは、失明の原因となるので、こすらずにすぐに水道水などのきれいな水で充分に洗った後、医師の治療を受ける。
- ・電池の液をなめた場合には、すぐにうがいをして医師に相談する。
- ・ショートの原因となるので、金属製のネックレス、ヘアピンなどと一緒に持ち運んだり、保管しない。
- ・電池に液漏れや異臭があるときは、すぐに火気から遠ざける。
- ・電池に直接はんだ付けをしない。
- ・電池を保管する場合および廃棄する場合は、テープなどで端子（金属部分）を絶縁する。
- ・皮膚に障害を起こすおそれがあるので、テープなどで貼り付けない。

△ 注意

- ・電池を落下させたり、強い衝撃を与えたり、変形させたりしない。
- ・直射日光の強いところや炎天下の車内などの高温・多湿の場所で使用、放置、保管しない。
- ・電池を水で濡らさない。
- ・ショートさせないように機器に取り付ける。

電池のリサイクルについて



Li-ion

リチウムイオン電池は、リサイクルできます。
不要になったリチウムイオン電池は、金属部
にセロハンテープなどの絶縁テープを貼って
リサイクル協力店へお持ちください。

充電式電池の回収・リサイクルおよびリサイ
クル協力店については、一般社団法人 JBRC
ホームページ <http://www.jbrc.net/hp/contents/index.html> を参照してください。

その他の安全上のご注意

警告

イヤホンやヘッドホンを使用するときは、
音量を上げすぎないようにご注意ください。
耳を刺激するような大きな音量で長時間続
けて聞くと、聴力に悪い影響を与えること
があります。

重要

機器の名称と電気定格は、底面に表示され
ています。

概要

本機の特長

本機は、有効画素数約207万画素（1920×1080）の“Exmor”¹⁾CMOSイメージセンサー（1/3型3板）を搭載し、記録メディアにSxS¹⁾メモリーカードを使用する、小型・高性能のXDCAM¹⁾シリーズカムコーダーです。記録メディアのファイルシステムは、UDFまたはFATを選択できます。

マルチフォーマット対応

インターレース方式（1080/59.94iまたは1080/50i）、プログレッシブ方式（1080/29.97P、1080/23.98P、720/59.94P、720/29.97P、720/23.98P、または1080/25P、720/50P、720/25P）に対応し、各種のHD記録方式をワールドワイドでカバーしています。

また、NTSC/PAL方式のSD信号にも対応しており、SD信号をDVCAFMフォーマットで記録・再生したり、HD信号をSD信号にダウンコンバートして出力することもできます。

新世代のHD記録システム

MPEG-2 Long GOP 画像圧縮による HD 記録および DVCAFM フォーマットの SD 記録

MPEG-2 Long GOP方式により、1920×1080、1440×1080、1280×720のHD画像を記録します。UDFで記録する場合は、ビットレートを50Mbps（HD422モード）または35Mbps（HQモード）に設定できます。FATで記録する場合は、ビットレートは、35Mbps（HQモード）または25Mbps（SPモード）に設定できます。

高効率の圧縮方式によって、高画質のHD画像を64GBのSxSメモリーカード1枚に50Mbps（HD422モード）で約120分、35Mbps（HQモード）で約180分記録できます（UDFで記録した場合）。また、DVCAFM25MbpsフォーマットでのSD記録・

再生、MPEG IMX 50Mbpsフォーマットの再生も可能です。

高品質の非圧縮音声記録

UDF/HD422モードなら、24ビット、48kHzリニアPCMによるオーディオ4チャンネルの記録が可能です。FAT/HDモードでは、16ビット、48kHzリニアPCMによるオーディオ4チャンネルの記録が可能です。

ファイルベースワークフローに対応

MXFおよびMP4フォーマットのデータファイルとして記録されるため、コンピューターでのデータのコピー、転送、共有などに対応でき、本機で記録した素材を様々な環境で幅広く活用できます。

エクスパンド機能付きサムネイル表示

記録開始・停止ごとに、ビデオ・オーディオを含む1つのクリップが独立して生成されます。再生モードにすると、各クリップがそれぞれサムネイル画像として表示され、目的のクリップを簡単に検索できます。さらにエクスパンド機能を使用すれば、選択したクリップを時分割してサムネイル表示することができ、長時間のクリップ内でのシーン検索が容易になります。

多彩な映像表現を可能にする撮影モード

フォーカス補助機能

フォーカス合わせを正確かつ容易に行えるように、様々な補助機能が用意されています。

- ワンプッシュオートフォーカス
- MFアシスト
- エクスパンドフォーカス
- ピーチング

スロー&クイックモーション機能

撮影フレームレートを再生フレームレートと異なる設定にすることによって、高画質のスローモーションやクイックモーションの撮影が可能です。

スローシャッター機能

最大64フレームまでの長時間露光をすることができ、低照度の状況下でもノイズの少ないクリアな映像撮影が可能です。

ガンマカーブの選択

撮影シーンに応じて、ガンマカーブを選択できます。

インターバルレック（間欠記録）

あらかじめ設定した間隔で間欠撮影を行います。気象の変化や植物の成長など長時間にわたる変化の様子を時間を短縮して表現したい場合に有効です。

フレームレック機能

クレイアニメ制作などに最適な機能です。ボタンを押すごとに、あらかじめ設定したフレーム数を記録する機能です。

開角度によるシャッター設定

電子シャッターのスピード調整に加え、フィルムカメラ同様のシャッター開角度調整が可能です。

ピクチャープロファイル

目的のシーンに最適な画質設定を登録しておくことによって、即座に再現することができます。
6種類まで登録できます。

ピクチャーキャッシュレック機能

内蔵のキャッシュメモリーを利用して、REC START（記録開始）ボタンを押す前の映像をさかのぼって最大15秒まで記録することができます。

操作性を高める様々な機能とデザイン

- 被写界深度表示
- 輝度レベル表示
- ヒストグラム表示
- 3.5型カラー LCDモニター
- カラービューファインダー
- 機能を割り当てる5個のアサイナブルボタン
- ハンドル、グリップ両方で可能なズーム操作、記録開始・停止
- バッテリーパックでの長時間動作
- USB、i.LINK¹⁾、HDMI²⁾を含む多彩なインターフェース
- 自動追尾ホワイトバランス (ATW)
- ゲイン選択
- 4倍速、15倍速、24倍速ピクチャーサーチ
- フリーズミックス機能
- 赤外線リモートコマンダー¹⁾付属
- プランニングメタデータ機能
- Wi-Fiリモコン機能

1) XDCAM、SxS、i.LINK、Exmor、およびリモートコマンダーはソニー株式会社の商標です。

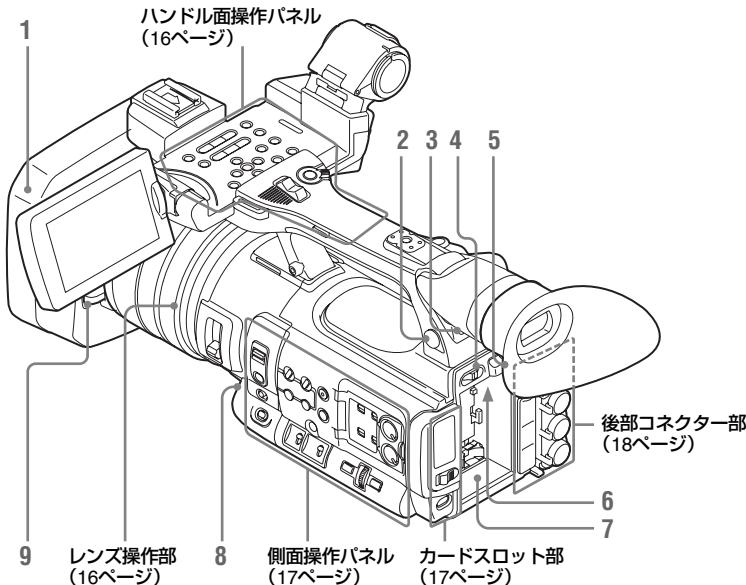
2) HDMI、HDMIロゴ、およびHigh-Definition Multimedia Interfaceは、HDMI Licensing LLC の商標または登録商標です。

その他本機に記載されているシステム名、製品名は、一般に各開発メーカーの登録商標、または商標です。

各部の名称

◆それぞれの機能・使いかたについて詳しくは、() 内のページをご覧ください。

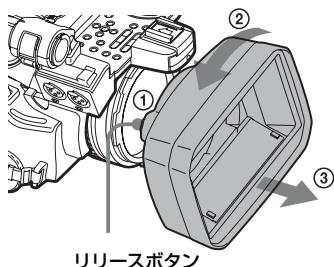
本体



1. レンズフード

取りはずす

①リリースボタンを押しながら、②矢印の方向に回して、③取りはずします。



取り付ける

本体とフードの印を合わせてフードを差し込み、本機を正面から見て時計回り（上図②と反対方向）に回します。

別売りのワイドコンバージョンレンズを装着するときは、ワイドコンバージョンレンズに付属のレンズフードをご使用ください。

2. ヘッドホン端子 (ステレオミニジャック) (47ページ)

3. 後部赤外線リモコン受光部

4. 電源スイッチ (23ページ)

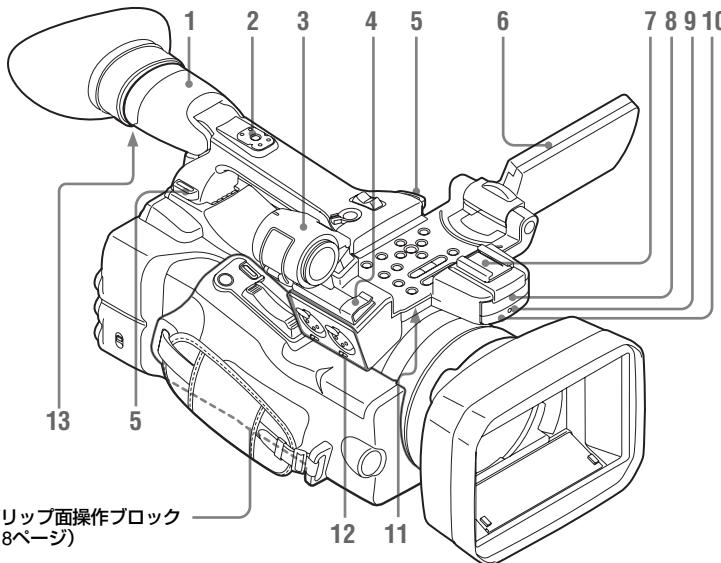
5. BATT RELEASE (バッテリー取り出し) ボタン (22ページ)

6. DC IN (DC電源入力) 端子 (23ページ)

7. バッテリーパック装着部 (22ページ)

8. WHITE BAL (ホワイトバランス自動調整) ボタン (42ページ)

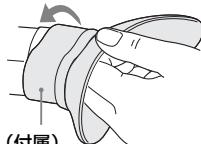
9. レンズキャップ開閉レバー (38ページ)



1. ビューファインダー (24ページ)

大型アイカップ取り付け方法

大型アイカップを少し伸ばしてビューファインダーにはめ、縁を水平の溝に合わせてはめ込んでください。



大型アイカップ（付属）

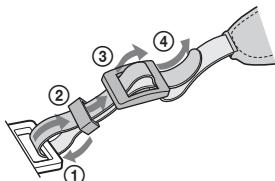
2. 後部アクセサリーシュー

3. 外部マイク取り付け部 (46ページ)

4. マイクケーブルホルダー (32ページ)

5. ショルダーベルト取り付け部

付属のショルダーベルトを図のように取り付けます。



6. LCDモニター (24ページ)

7. 前部アクセサリーシュー

8. 内蔵ステレオマイク (46ページ)

9. REC/TALLY (記録/タリー) ランプ

10. 前部赤外線リモコン受光部

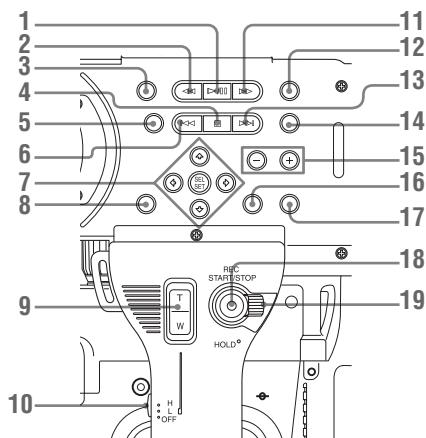
11. 内蔵スピーカー (69ページ)

12. AUDIO IN CH-1/CH-2 (オーディオ入力チャンネル1/チャンネル2) 端子 (XLR)

と入力切り換え (LINE/MIC/MIC+48V)
スイッチ (46ページ)

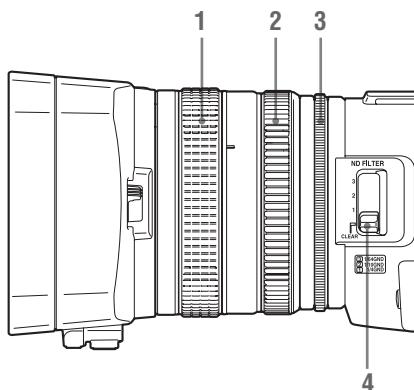
13. ビューファインダー視度調整つまみ (24ページ)

ハンドル面操作パネル



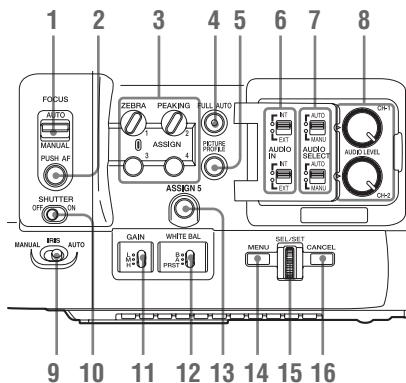
16. CANCEL (キャンセル) ボタン
17. DURATION/TC/U-BIT (タイムデータ切り換え) ボタン (46ページ)
18. REC START/STOP (記録開始 / 記録停止) ボタン (39ページ)
19. REC HOLD (記録ホールド) レバー (39ページ)

レンズ操作部



1. フォーカスリング (45ページ)
2. ズームリング (44ページ)
3. アイリスリング (44ページ)
4. ND FILTER (NDフィルター切り換え) スイッチ (41ページ)

側面操作パネル



1. **FOCUS** (フォーカス調整モード) スイッチ (44ページ)
2. **PUSH AF** (ワンプッシュオートフォーカス) ボタン (45ページ)
3. **ASSIGN 1/2/3/4** (アサインブル1/2/3/4) ボタン (49ページ)
工場出荷時はASSIGN 1にZEBRA、ASSIGN 2にPEAKINGがそれぞれ割り当てられています。
4. **FULL AUTO** (フルオートモード) ボタンとインジケーター (38ページ)
5. **PICTURE PROFILE** (ピクチャープロファイル) ボタン (54ページ)
6. **AUDIO IN** (音声入力切り換え) スイッチ (46ページ)
7. **AUDIO SELECT** (音声レベル調整モード切り換え) スイッチ (47ページ)
8. **AUDIO LEVEL CH-1/CH-2** (オーディオレベルCH-1/CH-2) 調整つまみ (47ページ)
9. **IRIS** (アイリス調整モード選択) スイッチ (43ページ)
10. **SHUTTER** (シャッター) スイッチ (43ページ)
11. **GAIN** (ゲイン) スイッチ (42ページ)
12. **WHITE BAL** (ホワイトバランスメモリー切り換え) スイッチ (41ページ)

13. ASSIGN 5 (アサインブル5) ボタン (49ページ)

14. MENU (メニュー表示ON/OFF) ボタン (82ページ)

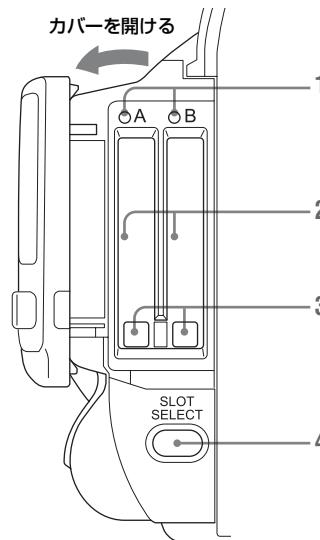
15. SEL/SETダイヤル (ジョグダイヤル) (82ページ)

上下に回すか、水平方向に押して使用します。本書では「ジョグダイヤル」と記載します。

16. CANCEL (キャンセル) ボタン

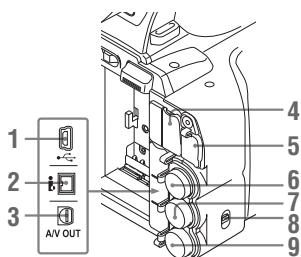
カードスロット部

SxSメモリーカードスロットおよびEJECTボタンはカバー内にあります。



1. **ACCESS (アクセス) ランプ** (26ページ)
2. **SxSメモリーカードスロット** (26ページ)
3. **EJECT (SxSメモリーカード取り出し) ボタン** (26ページ)
4. **SLOT SELECT (SxSメモリーカード選択) ボタン** (27ページ)

背面コネクター部



1. USB端子 (Mini B端子)

2. i.LINK (HDV/DV) 端子 (4ピン、IEEE1394準拠S400) (108ページ)

3. A/V OUT (オーディオ/ビデオマルチ出力) 端子 (108ページ)

4. HDMI OUT端子 (107ページ)

5. 外部機器接続端子 (30ページ)

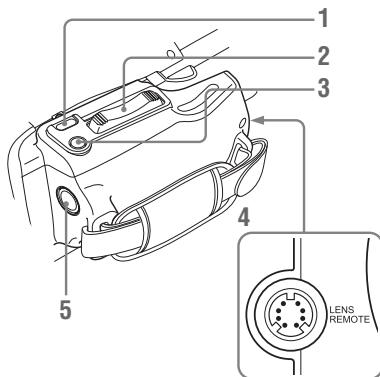
6. SDI OUT (シリアルデジタル出力) 端子 (BNC型) (107ページ)

7. TC IN (タイムコード入力) /TC OUT (タイムコード出力) 端子 (BNC型) (113ページ)

8. IN/OUT (入出力切り換え) スイッチ (114ページ)
IN側にするとTC INとGENLOCK INが、OUT側にするとTC OUTとVIDEO OUTがそれぞれ選択されます。

9. GENLOCK IN (ゲンロック入力) /VIDEO OUT (アナログビデオ出力) 端子 (BNC型) (107、113ページ)

グリップ面操作ブロック



1. REC REVIEW (レックレビュー) ボタン (39ページ)

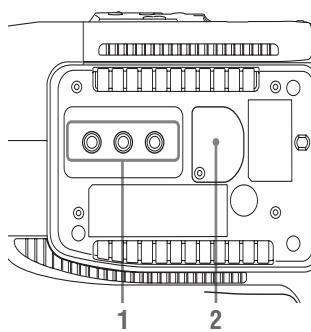
2. 電動ズームレバー (44ページ)

3. EXPANDED FOCUS (エクスパンド フォーカス) ボタン (45ページ)

4. LENS REMOTE (レンズコントロールリモコン) 端子 (44ページ)

5. REC START (記録開始/記録停止) ボタン (39ページ)

底面



1. 三脚用ネジ穴

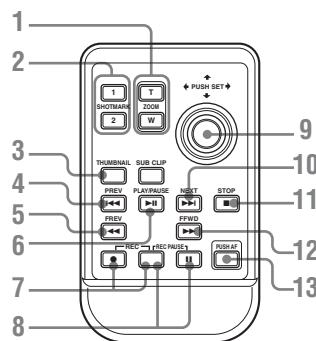
ご注意

穴の径が、雲台のネジの径と合うことを確認してください。ネジの径と合わないと、本機が落下したり転倒したりして、けがの原因となることがあります。

2. パックアップ電池取り付け部（124ページ）

赤外線リモートコマンダー（付属）

特に説明のないボタンは、本体の対応するボタンと同様に使用できます。



1. ZOOM T/W（ズーム）ボタン

2. SHOTMARK（ショットマーク）1、2ボタン（48、69ページ）

3. THUMBNAIL（サムネイル）ボタン

4. PREV（逆方向クリップジャンプ）ボタン

5. F REV（逆高速再生）ボタン

6. PLAY/PAUSE（再生/一時停止）ボタン

7. REC（記録開始）ボタン

●ボタンと無印のボタン（誤操作防止ボタン）を同時に押すと、記録を開始します。

8. REC PAUSE（記録一時停止）ボタン

●ボタンと無印のボタン（誤操作防止ボタン）を同時に押すと、記録を停止します。

9. PUSH SET（選択/確定）ボタン

本体のSEL/SETボタンと同等に機能します。

10. NEXT（順方向クリップジャンプ）ボタン

11. STOP（停止）ボタン

12. F FWD（高速再生）ボタン

13. PUSH AF（ワンプッシュオートフォーカス）ボタン

ご注意

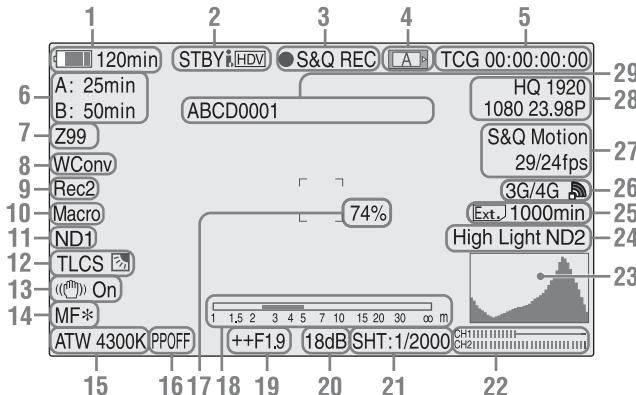
SUB CLIPボタンは、本機では使用しません。

画面表示

撮影中（記録中/記録待機中）にDISPLAYボタンを押すと、LCDモニター/ビューファインダー画面の映像に本機の状態や設定が重ねて表示されます。

名称の注釈

- [M]** : LCD/VF SETメニューのDisplay On/Offで個別に表示/非表示を選択することができます（93ページ）。
- [A]** : 対応する機能を割り当てたアサインブルボタンで個別に表示/非表示を選択することができます（49ページ）。
- [D]** : 画面に表示されるダイレクトメニューで設定を変更することができます（21ページ）。



1. バッテリー残量/DC IN電圧表示 [M] (22ページ)

- i.LINK接続されている場合のみ、接続機器の状態を表示します。

2. i.LINK状態表示 (110ページ)

3. 特殊記録/動作状態表示

●REC	録画中
STBY	録画待機中
CONT	録画待機中 クリップコンティニュアス レック時でクリップ継続中の場合 点滅しているとき：クリップ コンティニュアスレック 時は継続しているクリップ がない場合
●S&Q REC	スロー＆クイックモーション録画中
S&Q STBY	スロー＆クイックモーション録画待機中

●INT REC	インターバルレック実行中
INT STBY	インターバルレック待機中
●FRM REC	フレームレック実行中
FRM STBY	フレームレック待機中
●CACHE	●が緑のとき：ピクチャー キャッシュレック待機中 ●が赤のとき：ピクチャー キャッシュレック実行中

4. メディア状態表示

	スロットAのメモリーカードが有効
	スロットBのメモリーカードが有効

5. タイムデータ表示 [M] (46ページ)

6. メディア残量表示 [M] (27ページ)

7. ズームポジション表示 [M] (44ページ)

8. ワイドコンバージョンレンズ設定表示 [M] (88ページ)

CAMERA SETメニューのWide ConversionをOnに設定したときに表示します。

9. 同期記録表示 [M] (107ページ)

VIDEO SETメニューのSDI Rec ControlをHD SDI Remote I/Fに設定したときに表示します。

SDI Rec ControlをParallel Recに設定してワイヤレスアダプターで同期録音をしているときは、Rec2-Pが表示されます。

10. Macroモード表示 [M] (45ページ)

11. NDフィルターポジション [M]

選択されているNDフィルター番号が表示されます。(41ページ)

12. TLCSモード表示 [M] [D] (87ページ)



バックライトモード



標準モード



スポットライトモード

13. 手ぶれ補正モード表示 [M] [D] (45ページ)

14. フォーカスマード表示 [M] (MF時のみ [D]) (44ページ)

15. ホワイトバランスモードと色温度表示 [M] [D] (41ページ)

16. ピクチャープロファイル表示 [M] [D] (54ページ)

17. 輝度レベル表示 [M] [A]

18. 被写界深度バー表示 [M] [A]

19. アイリスピジョン表示 [M] [D] (43ページ)

20. ゲイン表示 [M] [D] (42ページ)

21. シャッターモード/シャッタースピード表示 [M] [D] (43ページ)

22. オーディオレベルメーター [M]

23. ヒストグラム表示 [M] [A]

24. 映像レベル注意表示 [M] /推奨NDフィルター表示) /クリップ転送状態表示

25. ワイヤレスアダプター CBK-WA100 (別売り) メディア残量表示

26. ワイヤレスアダプター CBK-WA100 (別売り) 電波状態表示

27. 特殊記録モード表示 [M] (スロー&クイックモーションスタンバイ時のみ [D])

Frame Rec	フレームレックモード
Interval Rec	インターバルレックモード
S&Q Motion xx/xx fps	スロー&クイックモーションモード

28. ビデオフォーマット表示 [M] (40ページ)

29. クリップ名表示 [M] (39ページ)

ダイレクトメニュー操作

名称の後ろに[D]が付いた項目は、画面に表示されるダイレクトメニューで設定を変更することができます。

ダイレクトメニューは、OTHERSメニューのDirect Menu (99ページ) でAllモード、Partモード、Offを切り替えます。

ご注意

フルオートモード (38ページ) で強制的に自動モードになる機能は、FULL AUTOボタンのインジケーターが点灯しているときはダイレクトメニュー操作はできません。

1 本機の状態や設定が画面に表示されているときに、SEL/SETボタン (16ページ) またはジョグダイヤル (17ページ) を押す。

ダイレクトメニューがAllまたはPartのときは、操作できる項目のうちのいずれかにカーソルが表示されます。

2 上/下/左/右ボタン (16ページ) またはジョグダイヤルで操作したい項目にカーソルを合わせ、SEL/SETボタンまたはジョグダイヤルを押す。
選択した項目のダイレクトメニューが表示されます。

3 上/下/左/右ボタンまたはジョグダイヤルで設定を選び、SEL/SETボタンまたはジョグダイヤルを押す。

メニューが消えて、新しい設定が表示されます。

電源

バッテリーパック、またはACアダプターを介してAC電源を使用できます。

安全のため、下記ソニー純正以外のバッテリーパックおよびACアダプターを使用しないでください。

リチウムイオンバッテリーパック

BP-U30

BP-U60

BP-U60T

BP-U90

バッテリーチャージャー/ACアダプター

BC-U1

BC-U2

⚠️ 警告

直射日光の下や火気の近くなど、高温のところにバッテリーを置かないでください。

ご注意

本機にバッテリーパックを装着した状態でACアダプターを接続することはできません。

バッテリーパックを使う

バッテリーパックをバッテリーパック装着部（14ページ）の奥まで差し込んで、下にスライドさせてロックします。

取り外すときは、BATT RELEASEボタン（14ページ）を押しながらバッテリーパックを上にスライドさせてロックをはずし、引き抜きます。

ご注意

- 装着する前に、専用のバッテリーチャージャーBC-U1またはBC-U2を使用して充電してください。
- 使用直後でバッテリーパックの温度が上昇した状態で充電すると、完全に充電されないことがあります。
- バッテリーパックBP-U90は大容量でサイズが大きいため、装着時に本体からの突出が大きくなります。BP-U90は三脚などに本機を固定して長時間撮影をする場合などに便利です。

残量を確認する

バッテリーパックを使用して撮影・再生しているときは、LCDモニター/ビューファインダー画面（20ページ）にバッテリー残量アイコンと残り時間が表示されます。

アイコン	残量
	100%~91%
	90%~71%
	70%~51%
	50%~31%
	30%~11%
	10%~0%

残り時間は、現在の消費電流のペースで本機を継続使用した場合のバッテリーパックの使用可能時間を計算して分単位で表示されます。

バッテリーパックの容量が低下すると

使用中にバッテリーパックの容量が一定の値まで低下すると（Low BATT状態）、バッテリーパックの残りが少ないと知らせるメッセージが画面に表示され、ターリランプの点滅とブザー音で警告します。

さらに容量が減り、動作が継続不可能な状態になると（BATT Empty状態）、バッテリーパックの残りがないことを知らせるメッセージに切り換わります。

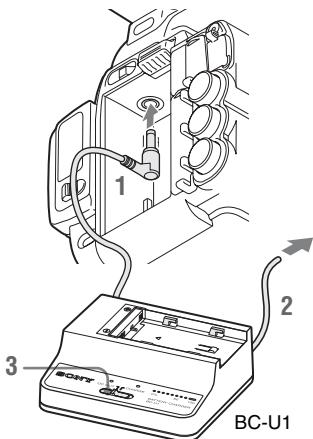
充電されたバッテリーパックに交換してください。

警告残量を変更する

工場出荷時には、Low BATTはフル充電の10%、BATT Emptyは3%に設定されています。これらの設定は、OTHERSメニューのBattery Alarm（99ページ）で変更することもできます。

AC電源を使う（DC IN電源）

接続例：BC-U1 の場合



- 1 BC-U1のDC電源出力ケーブルを本機のDC IN端子に接続する。
- 2 BC-U1の電源コードをAC電源に接続する。
- 3 BC-U1のモード切り替えスイッチをDC OUTに設定する。

電源を入れる/切る

電源を入れるときは、電源スイッチ（14ページ）をON（Iの位置）にします。電源を切るときは、電源スイッチをOFF（Oの位置）にします。

ご注意

- 本機は、電源スイッチをOFFにした状態でも、わずかに待機電力を消費します。本機を長時間使用しないときは、バッテリーパックを取り外してください。
- バッテリーパックやDC IN電源は、電源スイッチをOFFにしてから取りはずしてください。ONのまま取りはずすと、本機やSxSメモリーカードの故障の原因となることがあります。

時計を合わせる

本機を初めて使用するときやバックアップ電池を交換した後に、初めて本機の電源を入れるとLCDモニター/ビューファインダー画面に初回設定画面が表示されます。この画面を使用して内蔵時計の日付/時刻を設定してください。

Time Zoneについて

UTC(協定世界時)からの時差を設定します。必要に応じて変更してください。

Date/Timeを設定する

上/下/左/右ボタン（16ページ）またはジョグダイヤル（17ページ）でカーソルを移動し、SEL/SETボタンまたはジョグダイヤルを押して各項目を設定します。最後にカーソルをFinishに合わせてSEL/SETボタンまたはジョグダイヤルを押すと、設定画面が消えて時計合わせが完了します。

設定画面が消えた後は、OTHERSメニューのTime Zone（97ページ）およびClock Set（97ページ）を使用してTime ZoneおよびDate/Timeの設定を変更することができます。

ご注意

- 動作電源が供給されていない（バッテリーパックもDC IN電源も接続されていない）状態でバックアップ電池が消耗するなどして現在日時の情報が失われた場合は、次に電源を入れると初回設定画面が表示されます。
- 初回設定画面が表示されている状態では、この画面での設定が完了するまで電源を切る以外の操作はできません。

LCDモニターとビューファインダーを調整する

編集

LCDモニターを調整する

LCDモニターは、開くとON、格納するとOFFになります。

角度を調整する

対面撮影方向（画面が被写体側に向く方向）に90度、逆方向に180度回転します。

対面撮影方向に90度反転させると、画像が上下反転(鏡像)、文字表示が上下左右反転します。

バックライトを調整する

LCD BRIGHTボタン（16ページ）でバックライトの明るさを調整できます。

色の濃さ、コントラスト、明るさを調整する

LCD/VF SETメニューのLCD（92ページ）を使用して調整できます。明るさなどを変えても、記録される映像に影響はありません。

ビューファインダーを調整する

周囲が明るくLCDモニターが見づらいときなどは、ビューファインダーで映像を確認することができます。

⚠ 警告

接眼レンズを太陽に向けて放置しないでください。太陽光が接眼レンズを通してビューファインダー内部に焦点を結び、火灾の原因となることがあります。

本書では、ビューファインダーをこれ以降「EVF」(Electronic Viewfinderの略称)と記載します。

EVFをON/OFFする

工場設定時は、LCDモニターを閉じたときや対面撮影方向（画面が被写体側に向く方向）に向けたときに、EVFがONになるように設定されています。

LCD/VF SETメニューのEVF（92ページ）でPowerの設定をAutoからOnに設定することによって、LCDモニターの開閉や角度に関係なく常時ONになるように変更することもできます。

視度を調整する

EVFの視度調整つまみ（15ページ）を操作すると、ユーザーの視力に合わせてEVFの画像がはっきり見えるように調整することができます。

バックライトを調整する

EVFのバックライトの明るさをHighからLowに切り換えることができます。
LCD/VF SETメニューのEVF（92ページ）でBacklightを設定してください。

カラー / モノクロを切り換える

EVFの画面は、カラー表示とモノクロ表示を切り換えることができます。

LCD/VF SETメニューのEVF（92ページ）でModeを設定してください。

モノクロの方が被写体の確認、フォーカス合わせがしやすい場合はB&Wに設定してください。

アサイナブルボタン（49ページ）にEVF Modeを割り当てる、ボタン操作でEVFのカラー / モノクロの切り換えが可能です。

コントラスト、明るさを調整する

LCD/VF SETメニューのEVF（92ページ）を使用して調整できます。明るさなどを変えても、録画される映像に影響はありません。

赤外線リモコンを使う

初めて使用するときは

付属の赤外線リモートコマンダー（リモコン）を初めて使用するときは、電池ホルダーから絶縁シートを引き抜いてください。



ホルダーには工場出荷時にリチウム電池CR2025がセットされています。

リモコンで本機を操作するときは

リモコンを使用するときは、本体の電源を入れてから、リモコン操作機能を有効にしてください。

リモコン操作機能の有効/無効の切り換えには、セットアップメニューまたはアサイナブルボタンを使用します。

メニューで有効にするには

MENUボタンを押して本機をメニュー モードに切り替え、■■■でOTHERSメニュー（97ページ）を選択し、IR RemoteをOnにします。

アサイナブルボタンを使用するには

アサイナブルボタン（49ページ）のいずれかに、IR Remoteを割り当てるとき、ボタンを押して有効/無効を切り換えることができます。

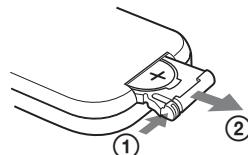
ご注意

誤動作を防ぐため、本体の電源を切るとリモコン操作が自動的に無効に戻るよう設定されています。電源を入れるごとに有効に切り換えて使用してください。

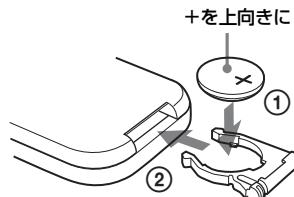
リモコンの電池を交換する

市販のリチウム電池CR2025を使用します。CR2025以外の電池は使用しないでください。

- ①ロックレバーを押したまま、②電池ホルダーを引き出し、電池を取りはずす。



- +を上向きにして新しい電池を入れ①、カチッと音がするまで電池ホルダーを押し込む②。



⚠️ 警告

直射日光の下や火気の近くなど、高温のところにバッテリーを置かないでください。

ご注意

指定以外の電池に交換すると、破裂する危険があります。

必ず指定の電池に交換してください。

使用済みの電池は、国または地域の法令に従って処理してください。

SxSメモリーカードを使う

本機では、撮影した映像・音声を、カードスロット内のSxSメモリーカード（別売り）に記録します。

SxSメモリーカードについて

本機で使用可能なSxSメモリーカード

下記のソニー製SxSメモリーカードをご使用ください。

下記のソニー製以外のメモリーカードをご使用の場合、動作の保証はいたしかねます。

SxS PRO+ シリーズ

SxS PRO シリーズ

SxS-1 シリーズ

これらのカードは、ExpressCard規格に準拠したメモリーカードです。

◆SxSメモリーカードの使いかたや使用上のご注意について詳しくは、SxSメモリーカードの取扱説明書をご覧ください。

SxS、SxS PRO、およびSxS-1はソニー株式会社の商標です

ExpressCardワードマークとロゴは、Personal Computer Memory Card International

Association (PCMCI A) の所有であり、ソニーハライセンスされています。他のトレードマークおよびトレード名称については、個々の所有者に帰属します。

SxSメモリーカードを入れる / 取り出す

SxSメモリーカードを入れる

1 カードスロット部（17ページ）のカバーを開ける。

2 SxSメモリーカードを、SxSのラベルを右にしてカードスロットに差し込む。

ACCESSランプ（17ページ）が赤く点灯し、使用可能な状態になると緑で点灯します。

3 カバーを閉める。

ACCESS ランプによる状態表示

AとBのカードスロットの状態を示すために、それぞれにACCESSランプがあります。

ランプ	スロットの状態
赤で点灯	装着されているSxSメモリーカードにアクセス中（データの書き込み/読み出し中）
緑で点灯	スタンバイ状態（装着されているSxSメモリーカードを使用して記録・再生を行います。）
消灯	<ul style="list-style-type: none"> SxSメモリーカードが装着されていない。 使用できないカードが装着されている。 SxSメモリーカードは装着されているが、別のスロットのカードが選択されている。

SxSメモリーカードを取り出す

1 カードスロット部のカバーを開け、EJECTボタン（17ページ）を押してボタンを引き出す。

2 もう一度EJECTボタンを押し込んでカードを抜く。

ご注意

メモリーカードにアクセス中に本機の電源を切ったりメモリーカードを抜いた場合はデータは保証されません。カードに記録されたすべてのデータが壊れる可能性があります。電源を切ったり、カードを抜くときは、必ずACCESSランプが緑で点灯または消灯していることを確認してから操作してください。

使用するSxSメモリーカードを切り換える

カードスロットAとBの両方にSxSメモリーカードが装着されているときは、SLOT SELECTボタン（17ページ）を押して使用するカードを切り換えることができます。記録実行中にカードがフルになったときは、自動的にもう1枚のカードに切り換わります。

ご注意

再生中は、SLOT SELECTボタンは無効になります。ボタンを押しても切り換わりません。サムネイル画面（66ページ）表示中はボタン操作が有効です。

SxSメモリーカードをフォーマット（初期化）する

フォーマットされていないSxSメモリーカード、または別の仕様でフォーマットされたSxSメモリーカードを装着すると、メッセージ「ファイルシステムが異なります」がLCDモニター/EVF画面に表示されます。下記の「フォーマット（初期化）を実行する」に従ってフォーマットしてください。

フォーマット（初期化）を実行する

OTHERSメニューのFormat Media（102ページ）で、**Media(A)**（スロットA）か**Media(B)**（スロットB）かを指定し、**Execute**を選択する。確認メッセージが表示されたら、もう一度**Execute**を選択する。

実行中メッセージと進捗状況（%）が表示され、ACCESSランプが赤く点灯します。フォーマットが終了すると、完了メッセージが3秒間表示されます。

フォーマット実行中の記録・再生

フォーマット中でも、もう一方のカードスロットに装着したSxSメモリーカードを使用して記録・再生が可能です。

フォーマットできなかったときは

プロテクトされたSxSメモリーカードや本機で使用できないメモリーカードはフォーマットできません。

警告メッセージが表示されますので、メッセージに従って、使用できるSxSメモリーカードに交換してください。

ご注意

- 本機で使用するSxSメモリーカードには、本機のフォーマット機能を使用してフォーマットしてください。他の機器でフォーマットした場合は、異なるフォーマットとみなされ、本機で再度フォーマットする必要があります。
- メモリーカードをフォーマットすると、記録された映像データ、セットアップファイルなどを含む、すべてのデータが消去されます。

残りの記録可能時間を確認する

撮影中（記録中/記録待機中）は、LCDモニター/EVF画面（20ページ）の記録メディア残量表示部で、各スロットに装着したSxSメモリーカードの残量を確認することができます。

現在設定されているビデオフォーマット（記録ビットレート）で撮影した場合に記録可能な時間を、それぞれのスロット内のメディアの残量から計算して分単位で表示します。

バッテリー/メディアステータス画面（80ページ）を表示させると、残量をメーター形式で確認することもできます。

ご注意

メモリーカードがプロテクトされている場合は、マークが表示されます。

SxSメモリーカードの交換時期

- 記録中に2枚のメモリーカードの残記録可能時間の合計が5分をきると、警告メッセージ「メディア残量がわずかです」（Media Near Full）が表示され、ターランプの点滅とブザー音で警告します。空きのあるメディアに交換してください。
- 記録を継続して、残記録可能時間の合計が0になると、メッセージが「メディア残量がありません」（Media Full）に変わり記録が停止します。

ご注意

1枚のSxSメモリーカードに約600個までのクリップを記録できます。
記録できるクリップ数の上限に達すると、残時間表示が「0」になり、メッセージ「メディア残量がありません」(Media Full) が表示されます。

備考

SxSメモリーカードを修復する

何らかの原因でメモリーカード内のデータに異常が発生した場合は、メモリーカードの修復が必要になります。

修復が必要なSxSメモリーカードを挿入したときは、修復を実行するかどうかを確認するメッセージがLCDモニター/EVF画面に表示されます。

修復を実行する

上/下/左/右ボタンまたはジョグダイヤルで **Execute**を選択し、**SEL/SET**ボタンまたはジョグダイヤルを押す。

実行中メッセージと進捗状況(%)が表示され、ACCESSランプが赤く点灯します。修復が終了すると、完了メッセージが3秒間表示されます。

修復できなかったときは

- プロテクトされたSxSメモリーカードや、エラーが発生したSxSメモリーカードは修復できません。警告メッセージが表示されますので、メッセージに従って、プロテクトを解除するか、別のSxSメモリーカードに交換してください。
- エラーが発生したSxSメモリーカードは、フォーマットを直すと再利用できる場合があります。
- 一部のクリップのみが修復できない場合もあります。修復できたクリップは再生可能になります。
- 修復を実行しても繰り返し「一部修復ができませんでした」とメッセージが表示されるようになったSxSメモリーカードは、以下の手順で正常に戻せる場合があります。

1 本機のコピー機能(73ページ)または専用アプリケーションソフトウェア(109ページ)を用いて、必要なクリップを他のSxSメモリーカードへコピーする。

2 問題のあるSxSメモリーカードを本機でフォーマットする。

3 必要なクリップをフォーマットしたSxSメモリーカードにコピーして戻す。

修復中の記録・再生

修復中でも、もう一方のカードスロットに装着したSxSメモリーカードを使用して、記録・再生が可能です。

ご注意

本機で記録されたメディアは、本機で修復してください。

本機以外で記録されたメディアや、本機と同一機種であってもバージョンが異なる機器で記録されたメディアは、本機では修復できない場合があります。

他のメディアを使う

XQDメモリーカード

別売りのメディアアダプター QDA-EX1を使用することによって、XQDメモリーカードをSxSメモリーカードスロットに入れて、SxSメモリーカードと同様に記録・再生が行えます。

使用可能な XQD メモリーカード

QD-H16、QD-H32、QD-S32、QD-S64
(2013年9月現在)

◆メディアアダプター QDA-EX1の使いかたについて詳しくは、アダプターに付属の取扱説明書をご覧ください。

ご注意

- XQDメモリーカードを使って高速再生（16ページ）を行う場合、正しく動作しないことがあります。
- XQDメモリーカード使用時は、スロー＆クイックモーション撮影（53ページ）のスローモーション撮影はできません。
- すべてのXQDメモリーカードの動作を保証するものではありません。動作確認済みのメモリーに関しては各販売店にお問い合わせください。

フォーマット（初期化）する

本機で初めてXQDメモリーカードを使用するときは、フォーマットが必要です。本機で使用するXQDメモリーカードは、本機のフォーマット機能を使用してフォーマットしてください。XQDメモリーカードを装着したときに注意メッセージが表示された場合も、フォーマットして使用してください。

本機が対応していないフォーマットで初期化されたXQDメモリーカードを装着すると、メッセージ「ファイルシステムが異なります」がLCDモニター/EVF画面に表示されます。

下記の「フォーマット（初期化）を実行する」に従ってフォーマットしてください。

フォーマット（初期化）を実行する

OTHERSメニューのFormat Media（102ページ）で、Media(A)（スロットA）かMedia(B)（スロットB）かを指定し、Executeを選択する。

実行中はメッセージと進捗状況（%）が表示され、ACCESSランプが赤く点灯します。フォーマットが終了すると、完了メッセージが3秒間表示されます。

ご注意

XQDメモリーカードをフォーマットすると、プロジェクトされた画像も含めて、すべてのデータが消去され、復元できません。

本機とパソコンの接続

XDCAM/XDCAM EXシリーズで記録したXQDメモリーカードを本機側のスロットに装着して、本機とパソコンをUSBケーブルで接続して使用してください。

本機でフォーマットしたメディアを他の機器のスロットで使用するには

あらかじめバックアップを取り、お使いになる機器でフォーマットしなおして使用してください。

“メモリースティック” /SDHC カード

別売りのメディアアダプター MEAD-MS01またはMEAD-SD01を使用することによって、“メモリースティック”またはSDHCカードをSxSメモリーカードスロットに入れて、SxSメモリーカードと同様に記録・再生が行えます。

使用可能な “メモリースティック”

“メモリースティック PRO-HG デュオ” HXシリーズ

使用可能な SDHC カード

SDHCカード（SDスピードクラス：Class10）

◆メディアアダプター MEAD-MS01/SD01の使いかたについて詳しくは、それぞれのアダプターに付属の取扱説明書をご覧ください。

ご注意

- ・“メモリースティック”またはSDHCカードを使って高速再生（16ページ）を行う場合、正しく動作しないことがあります。
- ・“メモリースティック”またはSDHCカード使用時は、スロー＆クイックモーション撮影（53ページ）のスローモーション撮影はできません。
- ・“メモリースティック”またはSDHCカードにUDFで記録することはできません。

フォーマット（初期化）する

本機で初めて“メモリースティック”またはSDHCカードを使用するときは、フォーマットが必要です。

本機で使用する“メモリースティック”またはSDHCカードは、本機のフォーマット機能を使用してフォーマットしてください。“メモリースティック”またはSDHCカードを装着したときに注意メッセージが表示された場合も、フォーマットして使用してください。

本機が対応していないフォーマットで初期化された“メモリースティック”またはSDHCカードを装着すると、メッセージ「ファイルシステムが異なります」がLCDモニター/EVF画面に表示されます。

下記の「フォーマット（初期化）を実行する」に従ってフォーマットしてください。

フォーマット（初期化）を実行する

OTHERSメニューのFormat Media（102ページ）で、Media(A)（スロットA）かMedia(B)（スロットB）かを指定し、Executeを選択する。

実行中メッセージと進捗状況（%）が表示され、ACCESSランプが赤く点灯します。フォーマットが終了すると、完了メッセージが3秒間表示されます。

ご注意

“メモリースティック”またはSDHCカードをフォーマットすると、プロテクトされた画像も含めて、すべてのデータが消去され、復元できません。

本機とパソコンの接続

XDCAM/XDCAM EXシリーズで記録した“メモリースティック”またはSDHCカードを本機側のスロットに装着して、本機とパソコンをUSBケーブルで接続して使用してください。

本機でフォーマットしたメディアを他の機器のスロットで使用するには

あらかじめバックアップを取り、お使いになる機器でフォーマットしなおして使用してください。

USBメモリー（UDFのみ）

UDFモード時に外部機器接続端子（18ページ）にUSBメモリーを接続して、以下のデータを記録、保存、呼び出せます。

- ・「プランニングメタデータファイルを読み込む」（62ページ）
- ・「設定データの保存と呼び出し」（61ページ）

以下のソニー製USBメモリーを使用することをおすすめします。

- USM-Mシリーズ

ご注意

- 記録容量が4GBから32GBまでのUSBメモリーを使用してください。
- 推奨品以外のUSBメモリーは、外部機器接続端子に接続しても認識されないことがあります。

フォーマット（初期化）する

USBメモリーはFAT32ファイルシステムでフォーマットされている必要があります。

ご注意

USBメモリーを使用するときは、あらかじめコンピューターまたは本機でフォーマットしてください。コンピューターでフォーマットしたUSBメモリーが使用できない場合は、本機でフォーマットしてください。

1 USBメモリーを、外部機器接続端子に接続する。

USBメモリーが未フォーマットの場合や本機に対応しない形式でフォーマットされている場合は、フォーマットを実行するかどうかを確認するメッセージが、LCDモニター/EVF画面に表示されます。

2 上/下/左/右ボタンまたはジョグダイヤルで「Execute」を選択し、SEL/SETボタンまたはジョグダイヤルを押す。

実行中メッセージと進捗状況（%）が表示され、フォーマットが始まります。フォーマットが終了すると、「Format USB Memory Done」が表示されます。
USBメモリー内に、
\MSSONY\PRO\xdcam\memdisc
フォルダーと\General\Sony\Planning
フォルダーが自動生成されます。

フォーマットできなかったときは

プロテクトされたUSBメモリーや本機で使用できないUSBメモリーはフォーマットされません。

警告メッセージが表示されますので、メッセージにしたがって、使用できるUSBメモリに交換してください。

USBメモリーを修復する

ファイルシステムが壊れているなど正常にマウントできない状態のUSBメモリーを接続すると、修復を実行するかどうかを確認するメッセージがLCDモニター/EVF画面に表示されます。

上/下/左/右ボタンまたはジョグダイヤルで「Execute」を選択し、SEL/SETボタンまたはジョグダイヤルを押すと、実行中メッセージと進捗状況（%）が表示され、修復が始まります。
修復が終了すると、「Restore USB Memory Done」が表示されます。

- Memory Stick（“メモリースティック”）および  MEMORY STICK は、ソニー株式会社の商標です。
- Memory Stick PRO-HG Duo（“メモリースティック PRO-HG デュオ”）および  MEMORY STICK PRO-HG DUO は、ソニー株式会社の商標です。
- XQDはソニー株式会社の商標です。

Wi-Fi接続して使う

備考

本機に別売りのWi-Fiアダプター CBK-WA01 または別売りのUSB無線LANモジュール IFU-WLM3を取り付けると、コンピューターと本機をWi-Fi接続することができます。

◆ワイヤレスアダプター CBK-WA100（別売り）を使用して、コンピューターと本機をWi-Fi接続することもできます。取り付けや操作については、CBK-WA100の取扱説明書をご覧ください。

Wi-Fi接続されたコンピューターと本機の間では、以下のような操作が可能です。

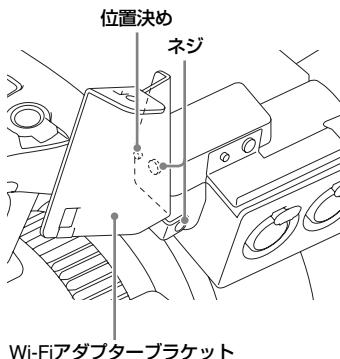
- コンピューターで作成したプランニングメタデータを本機に転送し、クリップ名やショットマークを指定して撮影を行う。

CBK-WA01を取り付ける

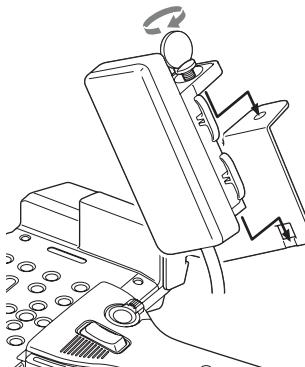
ご注意

- CBK-WA01を取り付けまたは取りはずすときは、本機の電源を切ってから行ってください。
- 本機をキャリングケースに収納するときは、CBK-WA01を取りはずさないと正しく収納できない場合があります。

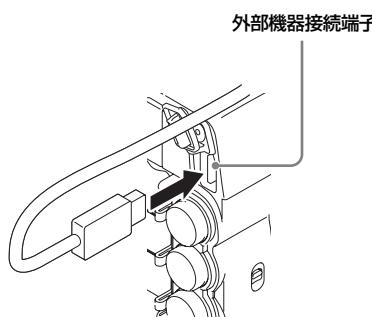
- 1 ハンドル部分のネジ2個を取りはずし、位置決めに合わせてWi-Fiアダプターブラケットを取り付け、さきほど取りはずしたネジ2個で固定する。



- 2 CBK-WA01裏面の突起部をWi-Fiアダプターブラケットの穴にはめ、ネジを締めて、CBK-WA01を金具に取り付ける。

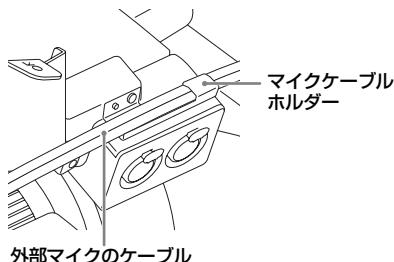


- 3 外部機器接続端子のカバーを開けて、CBK-WA01のケーブルを接続する。



外部マイクを使用する場合

必要に応じて、マイクケーブルホルダーを使用します。



使用するマイクによっては、音声にノイズが載ることがあります。その場合、AUDIO IN端子下部のケーブルクランプ（47ページ）を使用すると改善することがあります。

IFU-WLM3を取り付ける

外部機器接続端子のカバーを開けて、IFU-WLM3を取り付けます。

ご注意

- USB無線LANモジュールIFU-WLM3（別売り）は国・地域によって利用できない場合があります。
- IFU-WLM3を取り付け、または取りはずすときは、本機の電源を切ってから行ってください。
- 無線機器を本機の近くで使用すると、誤動作することがあります。本機の近くでは、無線機器の電源をできるだけ切ってください。

Wi-Fi接続する

Wi-Fi接続には、コンピューターと本機を一対一で接続する「アドホックモード」と、無線LANアクセスポイントを介して1台のコンピューターに複数のカムコーダーを接続する（LANを構成する）「インフラストラクチャーモード」の、2つの方法があります。

ネットワークを設定するには

必要に応じて、メニューのOTHERS > Networkの設定を変更します。

項目	設定内容
DHCP	DHCPサーバーからIPアドレスを自動取得するかどうかの設定 Enabled ：自動取得する Disabled ：自動取得しない（工場出荷時の設定）
IP Address	IPアドレス ^{a)} （工場出荷時の設定：192.168.1.10）
Subnet Mask	サブネットマスク（工場出荷時の設定：255.255.255.0）
Default Gateway	デフォルトゲートウェイ（工場出荷時の設定：0.0.0.0）
User Name	ログインするときのユーザー名（工場出荷時の設定：admin）

項目	設定内容
Password	ログインするときのパスワード（工場出荷時の設定：機種名「pmw-160J」）

a)DHCPサーバーにより決定されたIPアドレスが、この欄に表示される。

設定を変更したときは

SetをExecuteに設定します。確認メッセージが表示されたら、上/下/左/右ボタンまたはジョグダイヤルで「Execute」を選択し、SEL/SETボタンまたはジョグダイヤルを押します。

アドホックモードで接続するには

- 接続先のコンピューターの設定を行う。
- コンピューターで接続を開始する。
- メニューのOTHERS >Wi-Fi >Wi-Fi をEnableに設定する。
- メニューのOTHERS >Wi-Fi >Scan NetworksでExecuteを選択して、SEL/SETボタンまたはジョグダイヤルを押す。
本機が接続先の検出を開始します。
接続先を見つけると、NETWORK SCANリストが表示されます。

ご注意

USB無線LANモジュールIFU-WLM3の使用時は、検出結果がUnknownと表示されます。この場合はNetwork TypeでInfra/Adhocのいずれかを設定してください。

- 上/下/左/右ボタンまたはジョグダイヤルで接続先を選択し、SEL/SETボタンまたはジョグダイヤルを押す。
OTHERSメニューに戻ります。
- Wi-Fiの設定内容が接続先の設定と一致していることを確認する。
SSID（ネットワーク名）：選択した接続先の名前
Network Type（接続モード）：Adhoc
Ch（無線チャンネル）：1

Authentication（ネットワーク認証方法）：コンピューター側の設定に応じてOpen、Shared、またはWPA

Encryption（暗号化方式）：コンピューター側の設定に応じてDisable、WEP、TKIPまたはAES

WEP Key Index（キーのインデックス）：EncryptionがWEPの場合は1

Input Select（キーの入力形式）：ネットワークキー（またはセキュリティキー）に応じて、EncryptionがWEPの場合はASCII5、ASCII13、HEX10またはHEX26、EncryptionがTKIPまたはAESの場合はASCII8-63またはHEX64

7 **Keyを、コンピューター側で設定したネットワークキー（またはセキュリティキー）に設定してSEL/SETボタンまたはジョグダイヤルを押す。**

8 **SetをExecuteに設定してSEL/SETボタンまたはジョグダイヤルを押す。**
「Wi-Fi Setting Executing...」が表示され、本機が接続を開始します。コンピューターとの接続が完了すると、表示が「Wi-Fi Setting OK」に変わります。

Wi-Fiアダプター CBK-WA01を使用しているときは、Wi-Fi Statusの欄に接続状態を示す■が表示されます（■の数が多いほど接続状態が良好）。また、Wireless Modeの欄に確立した接続のIEEE802.11規格（802.11b、802.11gまたは802.11n）が表示されます。

【メモ】

本機で先にWi-Fi接続を開始し、コンピューターから本機にアクセスして接続することもできます。

接続を切断するには

コンピューター側で接続を切断します。

初期設定に戻す（リセットする）には
うまく接続できない場合や設定をやり直したい場合は、Wi-Fi接続に関する設定を初期設定に戻すことができます。

メニューのOTHERS >Network >Net Config ResetでExecuteを選択して、SEL/SETボタンまたはジョグダイヤルを押します。

リセットが完了すると「Net Config Reset Done」が表示されます。

本機は、MACアドレスをSSIDとするネットワークに対して接続を試みている状態になります。

インフラストラクチャーモードで接続するには

無線 LAN アクセスポイント側の設定

次の設定が必要です。

- ネットワークID（SSID）
- 暗号化方式例（Encryption）
- ネットワークキー（Key）

◆無線LANアクセスポイントの設定操作についてでは、無線LANアクセスポイントのマニュアルをご覧ください。

本機から無線 LAN を検索して接続するには

「アドホックモードで接続するには」（33ページ）と同様の手順を行います。

ただし、以下の違いがあります。

- 手順1と2を行いません。
- 手順6の設定は次のように変わります。

SSID（ネットワーク名）：選択した接続先の名前

Network Type（接続モード）：Infra
Ch（無線チャンネル）：自動設定

Authentication（ネットワーク認証方法）：アクセスポイント側の設定に応じてOpen、Shared、WPAまたはWPA2

Encryption（暗号化方式）：アクセスポイント側の設定に応じてDisable、WEP、TKIPまたはAES

WEP Key Index（キーのインデックス）：EncryptionがWEPの場合は1

Input Select（キーの入力形式）：ネットワークキー（またはセキュリティキー）に応じて、EncryptionがWEPの場合はASCII5、ASCII13、HEX10またはHEX26、EncryptionがTKIPまたはAESの場合はASCII8-63またはHEX64

Webメニューを使用する

Wi-Fi接続時は、本機に内蔵されたWebメニューにコンピューターからアクセスすることができます。

Webメニューで、本機の情報／設定状態を確認したり、プランニングメタデータファイルをアップロードすることができます。

ご注意

記録／再生中にWebメニューにアクセスすることはできません。(Wi-Fi接続を介してファイルを送受信することができません。)

Webメニューの表示例

Product Information (製品情報)

- Model name (機器名)
- Serial No. (シリアル番号)

Network (ネットワーク設定)

- MAC Address (MACアドレス)
- IP Address (IPアドレス)
- Subnet Mask (サブネットマスク)

Wi-Fi Status (Wi-Fi 設定)

- Wireless Mode (無線LAN規格)
- SSID
- Type (接続モード)
- Channel (チャンネル)
- Authentication (ネットワーク認証方法)
- Data Encryption (暗号化方式)

Planning Metadata (プランニングメタデータ)

「Upload」をクリックするとPlanning Metadata画面が表示され、プランニングメタデータファイルをアップロードすることができます(35ページ)。

ご注意

Webメニューの表示レイアウトは、使用するブラウザによって変わります。

Webメニューを表示するには

- 1 コンピューターでブラウザを起動し、「<http://本機のIPアドレス> (メニューのOTHERS > Network > IP Address の設定値) /」にアクセスする。

例：IPアドレスが「192.168.1.10」の場合アドレスバーに「<http://192.168.1.10/>」と入力する。

接続が完了すると、ユーザー名 (User name) とパスワード (Password) を入力する画面が表示されます。

- 2 ユーザー名とパスワードを入力して、OKをクリックする。

User name : admin

Password : pmw-160 (機種名を小文字で入力)

プランニングメタデータファイルをアップロードするには

- 1 本機にSxSメモリーカードなどのメディアを挿入する。

- 2 Webメニューの「Upload」をクリックする。

Planning Metadata画面が表示されます。

- 3 「Select」をクリックして、「Choose File」ダイアログを表示する。

- 4 アップロードしたいプランニングメタデータファイルを選択し、「Open」をクリックする。

選択したファイルのパスが表示されます。

- 5 「Execute」をクリックする。

プランニングメタデータが本機のメモリーに読み込まれ、SxSメモリーカード内に格納されます。

転送が完了すると「Status」欄に「OK」が表示されます。

Wi-Fiリモコンを使用する

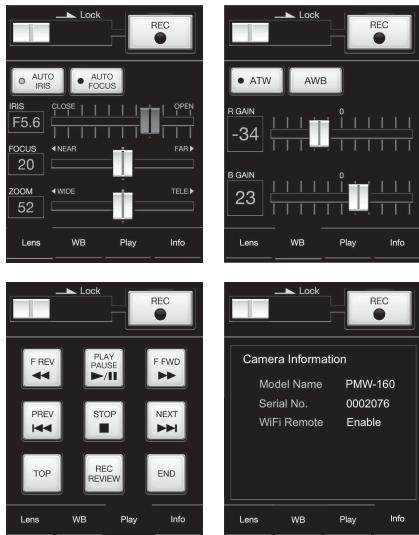
Wi-Fi接続時は、スマートフォン、タブレット、コンピューターなどのデバイスから、本機に内蔵されたWi-Fiリモコンにアクセスすることができます。

Wi-Fiリモコンを使用すると遠隔から本機を操作できます。記録の開始/停止はもちろん、アイリス、フォーカス、ズームなどの設定値を遠隔操作で調整できるため、本機を離れた場所に固定する場合や、本機をクレーンに装着して使用する場合などに大変便利です。

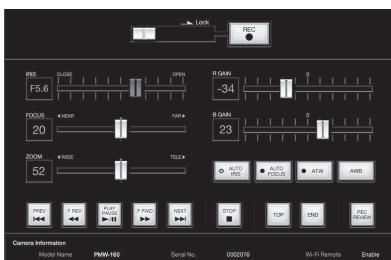
ご注意

IRISの設定がAutoでないときは、「IRIS」スライダーの操作や、「Auto IRIS」をON/OFFすることはできません。

Wi-Fi Remote 画面（スマートフォン）



Wi-Fi Remote 画面（タブレット）



Wi-Fiリモコンを表示するには

デバイスの画面にWi-Fiリモコンを表示するには、本機とデバイスそれぞれに設定が必要です。

本機の設定をする

- 1 メニューのOTHERS >Wi-Fi >Wi-Fi をEnableに設定する。
- 2 メニューのOTHERS >Wi-Fi >Wi-Fi RemoteをOnに設定する。

デバイスの設定をする

スマートフォン、タブレット、コンピューターなどの設定をします。

- 1 本機とデバイスをWi-Fi接続（33ページ）する。
- 2 デバイスでブラウザを起動し、「<http://本機のIPアドレス>（メニューのOTHERS >Network >IP Addressの設定値）/rm.html」にアクセスする。

例：IPアドレスが「192.168.1.10」の場合アドレスバーに「<http://192.168.1.10/rm.html>」と入力する。

接続が完了すると、デバイスにWi-Fi Remote画面が表示されます。
以降は、画面表示のとおりに操作してください。
Lockつまみを右にスライドすると、RECボタンの操作を禁止することができます。

ご注意

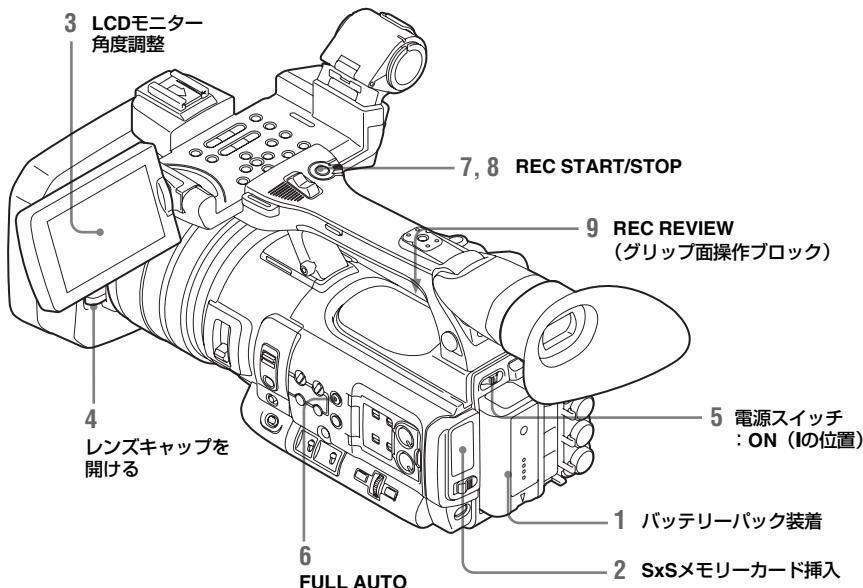
- スマートフォン用のページを表示したい場合は、アドレスの最後を「rms.html」に、タブレット用のページを表示したい場合は「rmt.html」に置き換えて入力してください。通常は「rm.html」と入力すれば、各ページに自動的に移動します。デバイスによっては正常に動作しない場合があります。
- 次の場合は、Wi-Fi Remote画面と本機の状態が一致しなくなることがあります。その場合は、ブラウザの表示を更新してください。
 - 接続中に本機を再起動した場合
 - 接続中に本機を操作した場合
 - デバイスを再接続した場合
 - ブラウザで進む/戻るを操作した場合
- 電波状態が著しく悪い場合、Wi-Fi Remoteが機能しなくなることがあります。

対応デバイスについて

Wi-Fiリモコンとして使用できるデバイス、OS、ブラウザは以下のバージョン以降です。

デバイス	OS	ブラウザ
PC	Windows7	Internet Explorer 8 または9
Mac	OS 10.7.4	Safari 5.1.6
スマート フォン	Android 2.3.3 iOS 5.1.1	標準ブラウザ Safari
タブレット	Android 4.0.3 iOS 5.1.1	標準ブラウザ Safari

基本操作手順



準備する

- 充電したバッテリーパックを取り付ける。
- SxSメモリーカードを入れる。
2枚入れておくと、1枚目がフルになつた時点で自動的に2枚目に切り換わります。
- LCDモニターを開き見やすい角度に調整する。
EVFを使うときはLCDモニターを収納し、EVFを見やすい角度に調整します。
- レンズキャップを開ける
レンズキャップ開閉レバーを上げて、レンズフードに付いているレンズキャップを開けます。
- 電源スイッチをONにする。
撮影画面が表示されます。

リモコンを使用するときは、リモコン操作モードを有効にしてください（25ページ）。

ご注意

グリップを持って撮影するときは、左手で本機の底面を支えて操作してください。

撮影する（フルオートモード）

- FULL AUTOボタンを押して、ボタンのインジケーターを点灯させる。
フルオートモードがONになり、TLCS（87ページ）が働いて、オートアイリス、AGC、オートシャッター、ATW（自動追尾ホワイトバランス）がONになります。明るさとホワイトバランスが常に自動調整されます。
それぞれをマニュアルで調整したいときは、フルオートモードをOFFしてください。
- ◆「アイリス」（43ページ）
◆「ゲイン」（42ページ）

- ◆「電子シャッター」(43ページ)
- ◆「ホワイトバランス」(41ページ)

ご注意

フルオートモードをONにしても、AF（オートフォーカス）は有効になりません。

- ◆「フォーカス」(44ページ)

7 REC START/STOPボタンを押す。

グリップのREC STARTボタンでも記録を開始できます。

(赤外線リモコン使用時は、RECボタンを誤操作防止ボタンと一緒に押してください。)

タリーランプが点灯して、記録が始まります。

8 記録を終了するときは、もう一度REC START/STOPボタンを押す。

グリップのREC STARTボタンでも記録を停止できます。

(赤外線リモコン使用時は、REC PAUSEボタンを誤操作防止ボタンと一緒に押してください。)

記録が停止し、本機はSTBY（記録待機）モードになります。

ご注意

前の記録データの書き込みが完了していない状態でREC START/STOPボタンを押すと、メッセージ「操作できません」が表示され、次の記録が開始されないことがあります。

誤操作を防止するには

ハンドルのREC START/STOPボタンには、誤操作防止用のREC HOLDレバーがあります。ハンドルのREC START/STOPボタンを使用しない場合は、誤ってボタンが押されても記録が開始/停止しないように、レバーをHOLD側にセットしておくことをお勧めします。

ロックを解除するときは、レバーを元の位置に戻してください。

直前に撮影した映像を確認する（レックレビュー）

9 REC REVIEWボタンを押す。

レックレビュー機能（49ページ）が働いて、直前に記録された画像がLCDモニター/EVF画面で再生されます。

クリップを削除するには

Last Clip DEL機能（61ページ）を使用すると、直前に記録したクリップを削除できます。All Clips DEL機能（61ページ）を使用すると、SxSメモリーカードに記録された全クリップを削除できます。クリップを指定して削除する場合は、サムネイル画面（66ページ）から操作してください。

クリップ（記録データ）

記録を停止すると、開始から停止までの画像・音声と付随データが、ひとつの「クリップ」としてSxSメモリーカードに記録されます。

クリップ名について

本機で記録されるクリップには、OTHERSメニューのClip（101ページ）のAuto Namingで選択した方法で、自動的にクリップ名がつけられます。

初期設定では、Auto NamingがPlanに設定されています。プランニングメタデータが読み込まれていれば、プランニングメタデータに設定されているクリップ名がつけられます。

Auto NamingをTitleに変更すると、「4～46文字の英数字」と「4桁の番号」からなるクリップ名がつけられます。

例：ABCD0001

クリップ名の「4～46文字の英数字」部分にはOTHERSメニューのClipで記録開始前に任意の文字列を設定することも可能です。（記録後に変更することはできません。）

「4桁の番号」部分は、記録順に自動的にカウントアップされます。

記録されるクリップについて

クリップのファイルサイズの上限は、UDFで43GB、FAT/HDモードで4GB、FAT/SDモードで2GBです。

長時間の連続記録を行うと、ファイルサイズの関係で、記録された素材が複数のファイルに分割されることがあります（最大分割数は99）。複数のファイルに分割された場合でも、本機上ではひとつのクリップとして扱います。

クリップの記録時間によっては、AとBのカードスロットに挿した2枚のSxSメモリーカードにまたがって記録することができます。

コンピューターを使用して、記録したクリップをHDDなどにコピーする場合は、連続性を保つため、専用のアプリケーションソフトウェアをダウンロードして使用することをお勧めします。ソフトウェアのダウンロードについては、「ソフトウェアのダウンロードについて」（140ページ）をご覧ください。

ご注意

Explorer（Windows環境）やFinder（MAC環境）を使用してコピーなど行った場合は記録素材の連続性、関連性を保持できなくなる場合がありますので、ご注意ください。

クリップの最大時間

クリップの最大時間は、FAT（MP4、AVI）では24時間、UDF（MXF）では6時間です。

録画時間がクリップの最大時間を超える場合、録画を継続したまま自動的に新しいクリップが作られます。新しいクリップはサムネイル画面で別のクリップとして確認できます。

基本設定を変更する

映像の用途や撮影の状況に応じて、設定を変更します。

ビデオフォーマット

選択できるフォーマットは、UDF/FAT、HDモード/SDモード、使用地域（NTSC Area/PAL Area）の設定によって異なります。

◆ 使用地域は、OTHERSメニューのSystem（100ページ）の、Countryで切り替えます。

UDF/FATを切り換える

OTHERSメニューのSystem（100ページ）の、UDF/FATで切り替えます。

切り換えを実行すると、本機は自動的に再起動します。

ご注意

記録・再生中にUDF/FATを切り換えることはできません。

HDモード/SDモードを切り換える

OTHERSメニューのSystem（100ページ）の、HD/SDで切り替えます。

切り換えを実行すると、本機は自動的に再起動します。

ご注意

記録・再生中にHD/SDを切り換えることはできません。

フォーマットを変更する

OTHERSメニューのSystem（100ページ）の、Formatで切り替えます。

SDI OUT、A/V OUT、およびHDMI OUT端子からの信号も、このメニューで選択されたフォーマットに従って出力されます。

NDフィルター

レンズの絞りを適切な範囲に保つため ND フィルターを使用できます。

3: 1/64ND

2: 1/16ND

1: 1/4ND

CLEAR

ご注意

照明や被写体の条件によっては、ATWを使用しても適切な色に調整できないことがあります。

例：

- ・空、海、地面、草花など単一色の被写体が大部分を占める場合
- ・色温度が非常に高い/非常に低い光源下の被写体 ATWの自動追従の時間が遅い場合や、適切な効果が得られない場合は、オートホワイトバランスを実行してください。

ホワイトバランス

撮影状況に応じて調整モードを選択できます。

プリセットモード

色温度をプリセット値（工場出荷時：3200K）に調整するモードです。ホワイトバランスを調整する時間がないときや、ピクチャープロファイルで設定したホワイトバランスに固定して撮影したい場合に使用します。

メモリー A/メモリー B モード

メモリー A またはメモリー B に保存されたホワイトバランスに調整します。
WHITE BALボタン（14ページ）を押すと、ホワイトバランスの自動調整を実行し、調整値をメモリー A またはメモリー B に保存し直します。

Wi-Fi Remote使用時、ATWオフの設定のときは、WHITE BALスイッチの状態に関わらず、メモリー Aに切り換わります。

ATW(自動追尾ホワイトバランス)モード

常に適切なホワイトバランスになるように自動的に調整するモードです。

光源の色温度が変化すると、ホワイトバランスを自動的に調整し直します。

CAMERA SETメニューのATW Speed（87ページ）で、5段階の調整速度を選択できます。

アサイナブルボタン（49ページ）にATW Hold機能を割り当てておくと、このボタンを押すことによって、ATWモードでも一時的にATWを停止させ、ホワイトバランスを固定することができます。

スイッチで切り換える

WHITE BALスイッチ（17ページ）で選択します。

B: ATWモードまたはメモリー Bモード

A: メモリー Aモード

PRST: プリセットモード

WHITE BALスイッチのBの位置には、工場出荷時にATWモードが割り当てられています。CAMERA SETメニューのWhite Switch （87ページ）で、メモリー Bモードを選択するように変更することができます。

フルオートモード（38ページ）をONにすると、強制的にATWモードになります。

アサイナブルボタン（49ページ）に、ATW のON/OFF機能を割り当てると、フルオートモードOFFのときボタン操作でATWを单独でON/OFFすることができるようになります。

ダイレクトメニューで切り換える

DISPLAYボタン（16ページ）を押すと、選択されているモードと色温度が画面に表示されます（20ページ）。

ATW: ATWモード

W:A: メモリー Aモード

W:B: メモリー Bモード

W:P: プリセットモード

ダイレクトメニュー（21ページ）がAllモードに設定されているときは、ATW、W:A、W:B、W:Pの切り換えが可能です。

ダイレクトメニューがPartモードに設定されているときは、ATWとWHITE BALスイッチで選択されているモードの切り換えが可能です。

オートホワイトバランスを実行する

- 1 調整値をメモリーに保存したい場合は、メモリー Aモードまたはメモリー Bモードを選択する。**
- 2 被写体の照明光源と同じ条件のところに白い紙などを置き、ズームアップして画面に白を映す。**
- 3 明るさを調整する。**
「マニュアルで明るさを調整する」(44ページ)に従って、アイリスを調整してください。
- 4 WHITE BALボタン (14ページ) を押す。**

メモリー モードで実行した場合は、調整値は手順1で選択したメモリー (AまたはB) に保存されます。

ATW モードで実行した場合は、調整が終わると ATW モードでのホワイトバランス調整に戻ります。

ご注意

- プリセットモードのときは、オートホワイトバランスは実行できません。
- 正常に終了しなかったときは画面に約3秒間エラーメッセージが表示されます。繰り返し調整を試みてもエラーメッセージが表示されるときは、ソニーのサービス担当者にご相談ください。

マーク / ゼブラパターン

撮影中は、LCDモニター /EVF画面の映像に各種のマークやゼブラパターンを重ねて表示することができます。

記録映像には影響ありません。

マークを表示する

設定にはLCD/VF SETメニューのMarker (93ページ) を使用します。

ゼブラパターンを表示する

LCDモニター /EVF画面の映像に、映像の適切な輝度レベルを示すゼブラパターンを重ねて表示することができます。

ZEBRAボタン (ASSIGN 1ボタン) (17ページ) を押すと、ゼブラパターン表示をON/OFFすることができます。

ゼブラパターンを変更する

LCD/VF SETメニューのZebra (93ページ) を使用すると、表示されるゼブラパターンを変更することができます。

ゲイン

固定ゲインで撮影する

映像アンプのゲインを切り換えます。

スイッチで切り換える

GAINスイッチ (17ページ) の各ポジションは、工場出荷時に下記のように設定されています。

L: 0 dB

M: 9 dB

H: 18 dB

それぞれのゲイン値は、CAMERA SETメニューのGain Setup (84ページ) で-3 dB ~ +18 dBの範囲で変更することができます。

ご注意

AGCモードがOnのときは、固定ゲインは選択できません。

ダイレクトメニューで切り換える

DISPLAYボタン (16ページ) を押すと、選択されているゲイン値が画面に表示されます (20ページ)。

ダイレクトメニューがAllモードに設定されているときは、ダイレクトメニューでゲインを3 dB刻みで切り換えることができます (AGCモードへの切り換えも可能です)。

ダイレクトメニューがPartモードに設定されているときは、AGCモードとGAINスイッチで選択されているゲインとの切り換えのみ可能です。

AGCモードで撮影する

映像の明るさに応じて映像アンプのゲインを自動制御します。

フルオートモード（38ページ）をONにすると、強制的にAGCモードになります。

フルオートモードがOFFのときは、CAMERA SETメニューのTLCS（87ページ）でAGCをOnに設定するか、ダイレクトメニューでAGCを選択して、AGCモードを単独でONにすることができます。

電子シャッター

固定シャッターで撮影する

シャッター速度（蓄積時間）を設定して撮影します。

SHUTTERスイッチ（17ページ）をONにすると、CAMERA SETメニューのShutter（84ページ）で設定したモードとシャッター速度の固定シャッターがONになります。

ご注意

- オートシャッターモードがONのときは、固定シャッターは選択できません。
- 超高感度スローシャッター（43ページ）がONのときは、固定シャッターは選択できません。

CAMERA SETメニューで設定する

CAMERA SETメニューのShutter（84ページ）を使用して、シャッターモードと速度を設定します。

ダイレクトメニューで設定する

DISPLAYボタンを押すと、選択されているシャッターモードと設定値が画面に表示されます（20ページ）。

ダイレクトメニュー（21ページ）がAllモードに設定されているときは、ダイレクトメニューでシャッターモードと速度を設定することができます。

ご注意

- ダイレクトメニューがPartモードに設定されているときは、SHUTTERスイッチがONの場合、ダイレクトメニューでシャッターをOFFにできません。SHUTTERスイッチがOFFの場合は、オートシャッターとシャッター OFFの切り換えのみが可能です。

• フルオートモード（38ページ）がONのときやSLS/EX SLSモードが設定されているときは、ダイレクトメニューは選択できません。

スローシャッター（SLS）/超高感度スローシャッター（EX SLS）で撮影する

蓄積フレーム数でシャッター速度を設定します。最大64フレームまで蓄積でき、低照度の状況下でノイズの少ないクリアな映像を撮影したいときや、残像を伴う幻想的な映像を撮影したいときに便利なモードです。CAMERA SETメニューのSLS/EX SLS（84ページ）で蓄積フレーム数を設定します。EX SLSは16、32、64を選択します。フルオートモード（38ページ）がONの場合でも設定可能です。

オートシャッターで撮影する

映像の明るさに応じて自動でシャッター速度を調整します。

フルオートモード（38ページ）がONのときは、強制的にオートシャッターになります。フルオートモードがOFFのときは、CAMERA SETメニューでTLCS（87ページ）を選択し、Auto ShutterをOnに設定することによって、オートシャッターを単独でONにすることができます。

アイリス

被写体に応じて明るさを調整します。

オートモードで撮影する

フルオートモード（38ページ）がONのときは、アイリスは強制的にオートモードになります。

フルオートモードがOFFのとき

IRISスイッチ（17ページ）をAUTOにすると、オートアイリスマードになります。オートアイリスの制御目標レベル（明るめ/暗め）を、セットアップメニューまたはダイレクトメニューで設定できます（この設定は、AGCにおけるゲイン制御、オートシャッターにおけるシャッタースピード制御にも連動します）。

セットアップメニューで制御目標レベルを調整する

CAMERA SETメニューのTLCS（87ページ）の、Levelを設定します。

ダイレクトメニューで制御目標レベルを調整する

制御目標レベルはダイレクトメニュー（21ページ）で設定することもできます。

DISPLAYボタンを押すと、現在のエクスポージャーポジションが画面に表示されます（20ページ）。

マニュアルで明るさを調整する

フルオートモードがOFFのときに、IRISスイッチ（17ページ）をMANUALにすると、マニュアルアイリスモードになります。アイリスリングを回してアイリス調整します。

ズーム

手動でズームを操作する

ズームリングを回してズームを調整します。常時操作可能です。

電動でズームを操作する

グリップの電動ズームレバー（18ページ）、ハンドルZOOMボタン（16ページ）でズームを調整できます。常時操作可能です。付属の赤外線リモコン、および別売りのレンズリモートコントロールユニットでも操作できます。

DISPLAYボタンを押すと、画面に現在のレンズズームの位置が0（広角端）～99（望遠端）の範囲で表示されます。

LCD/VF SETメニューのDisplay On/Off（93ページ）のZoom Positionで、バー表示に変更することもできます。

電動ズームレバーで調整する

レバーを深く押すとズーム速度が速くなり、浅く押すと遅くなります。

ハンドル ZOOM ボタンで調整する

ズームスピードスイッチ（16ページ）で選択した速度でズームが変化します。

ズームスピードは、CAMERA SETメニューのZoom Speed（85ページ）で変更することができます。

CAMERA SETメニューのZoom Transition（86ページ）で、徐々に速度を上げてズームアップし、徐々に速度を下げて終了するSoftモードを選択することができます。

赤外線リモコンの ZOOM ボタンで調整するときは

ズーム速度は、CAMERA SETメニュー Zoom SpeedのRemote（85ページ）の設定に従います。

- ◆リモコン操作を有効にする方法については、「赤外線リモコンを使う」（25ページ）をご覧ください。

レンズコントロールリモコンを使用するときは

LENS REMOTE端子（18ページ）に接続した別売りのレンズコントロールリモコンでズームを操作できます。

- ◆別売りのレンズコントロールリモコンでのズームの操作方法については、レンズコントロールリモコンの操作ガイドをご覧ください。

フォーカス

温度変化によるフォーカスの移動を補正するため、無限遠（∞）位置には余裕を持たせています。無限遠の被写体をMFモードで撮影する場合は、LCDモニター/EVF画面で確認しながらフォーカス合わせをしてください。

MFモードで調整する

FOCUSスイッチ（17ページ）をMANUALにすると、MF（マニュアルフォーカス）モードになります。

このモードでは、エクスパンドフォーカス機能やピーキング機能、ワンプッシュオートフォーカス機能やMFアシスト機能を使用できます。

フォーカスリングを使う

LCDモニター/EVFの画像を見ながら、フォーカスリングを回してフォーカスを合わせます。

エクスパンドフォーカス

EXPANDED FOCUSボタン（18ページ）を押すと、LCDモニター/EVFで画像の中央部分が拡大表示され、フォーカスを合わせやすくなります。

フォーカスを合わせたら、もう一度 EXPANDED FOCUSボタンを押すか、5秒間フォーカスリングを操作しなければ、通常（記録）画角の表示に戻ります。

ピーフィング

PEAKINGボタン（ASSIGN 2ボタン）（17ページ）を押すと、ピーフィング機能が働いて、LCDモニター/EVFの表示画像の輪郭が強調され、マニュアルでのフォーカス調整が容易になります。

記録される映像信号には影響しません。

強調レベル、および輪郭色は、LCD/VF SETメニューのPeaking（92ページ）で設定できます。

ワンプッシュオートフォーカス

PUSH AFボタンを押すと、一時的にオートフォーカスが起動します。ワンプッシュオートフォーカスは、フォーカスが合った時点で終了します。

MFアシスト機能

CAMERA SETメニューのMF Assist（85ページ）をOnにしてMFアシスト機能を有効にしておくと、フォーカスリングでのフォーカス合わせを止めた時点でオートフォーカスが起動し、画面中央部の被写体に対してフォーカスの微調整（フォーカスの追い込み）を行います。微調整が終了した時点でMFアシストによるオートフォーカス動作は終了します。

ダイレクトメニュー（21ページ）でもMFアシスト機能をONにできます。DISPLAYボタンを押すと、選択されているフォーカスモードが画面に表示されます（20ページ）。

MF以外のモードのときは、ダイレクトメニューは選択できません。

AFモードで調整する

FOCUSスイッチ（17ページ）をAUTOにすると、常にオートでフォーカスを合わせるAF（オートフォーカス）モードになります。

マクロモードを使う

CAMERA SETメニューのMacro（88ページ）をOnに設定するとマクロモードになり、マクロ領域を含めた範囲でのフォーカス操作が可能になります。

手ぶれ補正

CAMERA SETメニューのSteady Shot（88ページ）をOnに設定します。

DISPLAYボタンを押すと、手ぶれ補正モードの設定が画面に表示されます（20ページ）。ダイレクトメニュー（21ページ）で手ぶれ補正をON/OFFできます。

ワイドコンバージョンレンズ使用時の注意

手ぶれ補正モードには、通常モードとワイドモード（ワイドコンバージョンレンズ装着時用）の2種類があります。

ワイドコンバージョンレンズ（別売り）を装着したときは、CAMERA SETメニューのWide Conversion（88ページ）をOnに設定してください。

ご注意

三脚などに本機を固定して安定した状態で使用するときは、手ぶれ補正をOFFにしてください。

フリッカー

電子シャッターのスピードを「1/電源周波数」に合わせる

電子シャッター（43ページ）を有効にして、シャッタースピードを電源周波数に応じて設定します。

電源周波数が 50 Hz のとき

シャッタースピードを1/50秒または1/100秒に設定します。

電源周波数が 60 Hz のとき

シャッタースピードを1/60秒または1/120秒に設定します。

フリッカーフィルタ機能を使用する

CAMERA SETメニューのFlicker Reduce (85ページ) のModeをAutoまたはOnに設定して、Frequencyを電源周波数（50 Hzまたは60 Hz）に合わせます。

ご注意

撮影しているフレームレートが電源周波数に近い場合は、フリッカーフィルタ機能が働いてもフリッカーフィルタを完全に補正できない場合があります。この場合は、電子シャッターを使用してください。

タイムデータ

タイムコードを設定する

記録されるタイムコードは、TC/UB SETメニュー (95ページ) のTimecodeおよびTC Formatを使用して設定します。

ユーザービットを設定する

8桁の16進数をユーザービットとして記録映像に付加できます。ユーザービットを現在年月日に設定することも可能です。
設定には、TC/UB SETメニューのUsers Bit (96ページ) を使用します。

タイムデータを表示する

DISPLAYボタンを押すと、画面にタイムデータが表示されます (20ページ)。

表示は、DURATION/TC/U-BITボタン (16ページ) を押すたびに、タイムコード、ユーザービット、経過時間の順に切り換わります。

表示 内容

TCG ***;***;***;**	タイムコード
CLK ***;***;***;**	タイムコード (Clockモード)
UBG **** * **	ユーザービット
DUR ***;***	記録開始からの経過時間

音声を記録する

本機では、映像と同期して4チャンネル (CH-1/CH-2/CH-3/CH-4) の音声を記録できます (リニアPCM記録)。

内蔵ステレオマイク (無指向性エレクトレットコンデンサーマイク) またはAUDIO IN 端子に接続した外部音声入力を、AUDIO INスイッチで切り換えて使用します。

内蔵ステレオマイクを使う

AUDIO INスイッチ (CH-1/CH-2) (17ページ) を両方ともINT側に設定する。

外部入力を使う

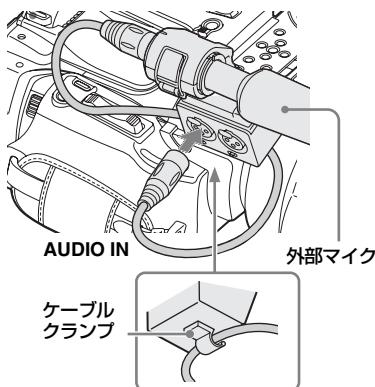
- 1 AUDIO INスイッチ (CH-1/CH-2) をEXT側にする。
- 2 AUDIO IN端子 (CH-1/CH-2) (15ページ) に外部オーディオ機器を接続する。
- 3 入力切り換え (LINE/MIC/MIC+48V) スイッチ (CH-1/CH-2) (15ページ) をLINE (ラインレベル+4 dBu) に設定する。

外部マイクを使う

エレクトレットコンデンサーマイクロホン ECM-673などを取り付けて使用することができます。

- 1 外部マイク取り付け部 (15ページ) の取っ手を引き上げてカバーを開ける。
- 2 マイクを取り付け、外部マイク取り付け部のカバーを元どおり閉めてマイクを固定する。

3 AUDIO IN端子 (CH-1/CH-2) にマイクケーブルを接続する。



- 4 マイクを接続した端子に対応するAUDIO INスイッチ (CH-1/CH-2) (17ページ) をEXT側にする。
- 5 接続したマイクに合わせて、入力切り換え (LINE/MIC/MIC+48V) スイッチ (CH-1/CH-2) (15ページ) を切り換える。

MIC : 電源供給不要のマイクを接続したとき

MIC+48V : +48V電源供給を要するマイク(ECM-673など)を接続したとき

DISPLAYボタンを押すと、画面に入力レベルが表示されます (20ページ)。

特殊記録モードでの音声記録

インターバルレックモード、フレームレックモードでは、音声は記録されません。

スロー＆クイックモーション撮影で、再生フレームレートと異なる撮影フレームレートを設定した場合、音声は記録できません。

撮
音

音声をモニターする

ヘッドホン端子 (ステレオミニジャック) (14ページ) に接続したヘッドホンで、記録される音声をモニターできます。

ご注意

撮影中 (記録中/記録待機中) は内蔵スピーカーで音声をモニターすることはできません。

モニター音量を調整するには

VOLUMEボタン (16ページ) を使用します。

録音レベルを調整する

自動調整する (AGC)

AUDIO SELECTスイッチ (CH-1/CH-2) (17ページ) をAUTOにすると、録音レベルは自動調整されます。

手動で調整する

AUDIO SELECTスイッチ (CH-1/CH-2) をMANUALにして、AUDIO LEVEL調整つまみ (17ページ) を回して、録音レベルを調整します。

つまみを5の位置にすると基準位置 (0 dB) になり、10で最大 (+12 dB)、0で最小 (-∞) になります。

便利な機能を使う

カラーバー/基準音声信号

CAMERA SETメニューのColor Bars（85ページ）で、Camera/BarsをBarsに設定すると、撮像中の映像に代えてカラーバーを出力することができます。Cameraに設定すると撮像画に戻ります。

AUDIO SETメニューのAudio Input（89ページ）で、1KHz ToneをOnに設定すると、カラーバーと同時に1KHzの基準音声信号が输出されます。

カラーバーと基準音声信号は、SDI OUT端子、HDMI OUT端子、i.LINK端子、VIDEO OUT端子（カラーバーのみ）、A/V OUT端子から出力されます。

カラーバーの種類は、CAMERA SETメニューのColor Bars の、Bars Typeで選択できます。

ご注意

- スロー＆クイックモーション撮影時、超高感度スローシャッター（SLS/EX SLS）モードのときは、カラーバーを出力することはできません。
- 記録中は、カラーバーには切り換わりません（カラーバーからカメラ画像への切り替えは可能です）。

ショットマーク

UDFまたはFAT/HDモードで記録したクリップでは、映像/ 音声の重要なシーンに、ショットマークをデータとして記録しておくと、マークを付けたシーンだけが表示される「ショットマーク画面」（76ページ）で目的のシーンを容易に頭出しでき、効率的な編集作業が可能になります。

本機では、ショットマーク1、ショットマーク2の2種類のショットマークを記録できます。

ショットマークは撮影中に随時記録するか、記録終了後にサムネイル画面で再生画像を確認しながら追加することができます。

撮影中にショットマークを記録する

リモコン操作を有効にして（25ページ）、ショットマークを入れたいシーンでSHOTMARK 1ボタン、またはSHOTMARK 2ボタンを押します。

アサイナブルボタン（49ページ）に、Shot Mark1またはShot Mark2を割り当てて使用することもできます。

◆記録終了後にショットマークを追加する方法については、「再生中にショットマークを追加する（UDF、FAT/HDモード）」（69ページ）、「ショットマークを追加・削除する（UDF、FAT/HDモード）」（76ページ）をご覧ください。

◆プランニングメタデータを使ってショットマーク名をつける方法は、「プランニングメタデータでショットマーク名を設定する」（64ページ）をご覧ください。

OK/NG/KPフラグ（UDFのみ）

UDFで記録したクリップは、OK/NG/KPフラグを付加することができます。フラグを付加することによって、必要なクリップのみサムネイル画面（OK/NG/KP/Noneクリップサムネイル画面）（67ページ）に表示させることができます。

ご注意

クリップを保護するには、Lock Clipの設定（71ページ）が必要です。

フラグを付加する

記録中または再生中に、Clip Flag OK/ Clip Flag NG/Clip Flag Keepを割り当てたアサイナブルボタンを押す。

記録中または再生中のクリップにOK/NG/ KPフラグを付加することができます。

フラグを削除する

Clip Flag OK/Clip Flag NG/Clip Flag Keepを割り当てたアサイナブルボタンを2回続けて押す。

クリップに付加されたOK/NG/KPフラグを削除することができます。

- ◆ サムネイル画面からもOK/NG/KPフラグを付加、削除することができます。詳しくは「フラグを付ける/フラグを削除する（UDFのみ）」（73ページ）をご覧ください。

OKマーク（FAT/HDモードのみ）

FAT/HDモードで記録したクリップは、OKマークを付加することによって、誤って削除・分割されることを防ぐことができます。また、OKマークでマーキングすることによって、必要なクリップのみサムネイル画面（OKクリップサムネイル画面）（67ページ）に表示させることができます。

OKマークを付加する

記録を停止し、OK Markを割り当てたアサイナブルボタンを押す。

記録待機中に、選択されているメモリーカードに最後に記録されたクリップ（Last Clip）にOKマークを付加することができます。

OKマークを削除する

OK Markを割り当てたアサイナブルボタンを押して、Executeを選択する。

記録待機中に、メモリーカードの最後のクリップに付加されたOKマークのみ削除することができます。

一つ以上前のクリップにOKマークを付加・削除する

サムネイル画面から設定します。

- ◆ 設定方法について詳しくは、「OKマークを付ける/OKマークを削除する（FAT/HDモードのみ）」（73ページ）をご覧ください。

レックレビュー

直前に記録したクリップの映像を画面で確認（レックレビュー）できます。

記録を停止したら、REC REVIEWボタン（18ページ）を押す。

アサイナブルボタン（49ページ）にRec Reviewを割り当てて使用することもできます。

CAMERA SETメニューのRec Review（86ページ）の設定に従って、クリップの最後の3秒、10秒、またはクリップ全体を再生します。

クリップの終りまで再生すると、レックレビューは終了し、STBY（記録待機）モードに戻ります。

レックレビューを中止するには

REC REVIEWボタン、STOP/CAMボタン、またはRec Reviewを割り当てたアサイナブルボタンを押します。

ご注意

- レックレビューによる再生時は、STOP/CAMボタン以外の再生コントロールボタンは働きません。
- 記録後にビデオフォーマットを変更したときは、レックレビューはできません。（例外：SP 1440×1080/23.98PからSP 1440×1080/59.94iに変更した場合）。
- レックレビュー中は、セットアップメニュー、およびピクチャープロファイルメニューは操作できません。

アサイナブルボタン

本機には、機能を変更して使用できる5個のアサイナブルボタン（17ページ）があります。

機能を変更するには

OTHERSメニューのAssign Button（98ページ）を使用します。

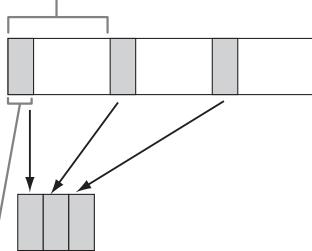
割り当てられた機能は、ボタン/リモートステータス画面（80ページ）で確認することができます。

インターバルレック

間欠的に映像を記録するインターバルレック機能は、主に動きの少ない被写体を撮影するときに有効です。

1度に記録するフレーム数（Number of Frames）と間隔時間（Interval Time）を設定し、間欠的に映像を自動記録できます。

撮影の間隔（Interval Time）



1回に記録する画像フレーム数
(Number of Frames)

三脚などに本機を固定して、本体のREC START/STOPボタンの代わりにリモコンのボタンで操作することをお勧めします。

ご注意

- インターバルレックモードでは、音声は記録できません。
- インターバルレックは、フレームレック、ピクチャーキャッシュレック、スロー＆クイックモーション、クリップコンティニュアスレックと同時にOnにすることはできません。インターバルレックをOnにすると、これらの機能は強制的にOffになります。
- OTHERSメニューのSystem（100ページ）のFormatが、HQ 1280×720/23.98P（UDF/HDモード）、SP 1440×1080/23.98P（FAT/HDモード）に設定されているときは、インターバルレックモードにできません。
- VIDEO SETメニューのSDI/HDMI/i.LINK I/O Select（91ページ）でHDVまたはDVCAIMを含む項目が選択され、かつOTHERSメニューのSystem（100ページ）のFormatでHQモード/23.98P以外のビデオフォーマットが選択されている場合はインターバルレックモードにできません。

撮影前の設定

インターバルレックで記録を始める前に、あらかじめCAMERA SETメニューのInterval Rec（86ページ）で設定を行ってください。

インターバルレックモードで撮影する

事前に必要な設定が終わったら、記録を開始します。

REC START/STOPボタンを押す。

ご注意

- インターバルレックモードで記録が行われている間は、Interval TimeおよびNumber of Framesの設定値は変更できません。変更する場合は、いったん記録を停止してください。
- インターバルレックモードで記録を開始すると、インターバル期間を含め、レックレビュー操作はできません。
- インターバルレックモードでは、タイムコードはRec Runモードで記録されます（95ページ）。
- インターバルレックモードで記録を停止したときや、記録停止中にスロットを切り換えたときは、余分なフレームが記録されることがあります。
- 本機の電源スイッチをOFFにした場合、Interval RecのSettingは自動的にOffになります。ただしInterval TimeおよびNumber of Framesの設定値は保持されます。

フレームレック：コマ撮りする

フレームレック機能は、クレイアニメなどの撮影をするときに有効です。

記録開始ボタンを押すたびに、あらかじめ設定したフレーム数（Number of Frames）だけ間欠的に映像を記録します。

三脚などに本機を固定して、本体のREC START/STOPボタンの代わりにリモコンのボタンで操作することをお勧めします。

ご注意

- フレームレックモードでは、音声は記録できません。
- フレームレックは、インターバルレック、ピクチャーキャッシュレック、スロー＆クイックモーション、クリップコンティニュアスレックと同時にOnにすることはできません。フレームレックをOnにすると、これらの機能は強制的にOffになります。

- OTHERSメニューのSystem（100ページ）のFormatが、HQ 1280×720/23.98P（UDF/HDDモード）、SP 1440×1080/23.98P（FAT/HDDモード）に設定されているときは、フレームレックモードにできません。
- VIDEO SETメニューのSDI/HDMI/i.LINK I/O Select（91ページ）でHDVまたはDVCAを含む項目が選択され、かつOTHERSメニューのSystem（100ページ）のFormatでHQモード/23.98P以外のビデオフォーマットが選択されている場合はフレームレックモードにできません。

撮影前の設定

フレームレックで記録を始める前に、あらかじめCAMERA SETメニューのFrame Rec（86ページ）で設定を行ってください。

フレームレックモードで撮影する

撮影前に必要な設定が終わったら、記録を開始します。

1 REC START/STOPボタンを押す。

メニューのNumber of Framesで設定したフレーム数を記録すると、自動的にFRM STBY（フレームレックスタンバイ）状態になります。

2 再度 REC START/STOPボタンを押す。

REC START/STOPボタンを押すたびに、Number of Framesで設定したフレーム数を記録し、自動的にFRM STBY状態になります。

ご注意

- 設定されたフレーム数の記録が終わるまでは、記録を途中で停止することはできません。記録途中で電源スイッチがOFFになったときは、設定されたフレーム数の記録が終了してから、電源が切れます。
- フレームレックモードで記録が行われている間は、レックレビュー操作はできません。
- フレームレックモードで記録が行われている間は、Number of Framesの設定値は変更できません。変更する場合は、いったん記録を停止してください。
- フレームレックモードでは、タイムコードはRec Runモードで記録されます（95ページ）。
- フレームレックモード記録を停止したときや、記録停止中にスロットを切り換えたときは、余分なフレームが記録されることがあります。

- 本機の電源スイッチをOFFにした場合、Frame RecのSettingは自動的にOffになります。ただしNumber of Framesの設定値は保持されます。

クリップコンティニュアスレック（UDFのみ）

通常は記録開始、停止のたびに1つのクリップが独立したファイルとして生成されますが、クリップコンティニュアスレック機能を使用すると、記録と停止を繰り返しても、機能が停止または解除されるまで連続した1つのクリップを生成することができます。短いクリップを数多く生成したくないとき、または記録できるクリップ数の上限を意識しないで記録したいときに便利な機能です。記録の開始点にはレックスタートマークが記録されるため、記録開始位置の検索も容易です。

撮影前の設定

あらかじめCAMERA SETメニューのClip Cont. Rec（86ページ）で設定を行ってください。

SettingをOnにすると、クリップコンティニュアスレック機能が有効になり、画面上に「CONT」が表示されます（20ページ）。アサイナブルボタン（49ページ）にClip Cont. Rec（クリップコンティニュアスレック機能）を割り当てて、ボタン操作でSettingのON/OFFを切り換えることもできます。

ご注意

- クリップコンティニュアスレックは、ピクチャーキャッシュレック、インターバルレック、フレームレック、スロー＆クイックモーションと同時にOnにすることはできません。クリップコンティニュアスレックをOnにすると、これらの機能は強制的にOffになります。
- 記録中はクリップコンティニュアスレックモードにできません。
- FATでは使用できません。
- Input Source SelectがLINKの場合は、クリップコンティニュアスレック機能が無効です。

クリップコンティニュアスレックで撮影する

撮影前に必要な設定が終わったら、記録を開始します。

REC START/STOPボタンを押す。

記録を開始すると、画面上の「CONT」表示が「●REC」（●は赤）表示に変わります。

ご注意

- 記録中または記録待機中（「CONT」表示が点滅した状態）にSxSメモリーカードを取り出したり、バッテリーや電源を抜くと、SxSメモリーカードの修復が必要になります。クリップコンティニュアスレックモードを終了してからSxSメモリーカードを取り出してください。なお、「CONT」が点滅（1回／秒）しているときは、SxSメモリーカードを取り出すことができます。
- 最低2秒間記録してから記録を停止してください。

クリップコンティニュアスレックモードを終了するには

記録待機中に、CAMERA SETメニューの Clip Cont. Rec (86ページ) のSettingをOffにします。

動作制限

記録中または記録待機中に以下の操作を行うと、1つのつながったクリップが作成されません。次に記録を行うと、新たなクリップが生成されます。

- クリップ操作（クリップのロック、削除、または名前の変更）
- メモリーカードスロットの切り換え
- 記録フォーマットの変更
- 電源スイッチをOFFにして電源を切る
- サムネイル画面を表示する
- クリップを再生する

ピクチャーキャッシュレック：さかのぼって記録する

ピクチャーキャッシュレック機能を使用すると、撮影している映像を、指定した時間内蔵キャッシュメモリーに蓄えておくことによって、記録開始以前にさかのぼって映像をSxSメモリーカードに記録することができます。蓄積時間は最大15秒です。

ご注意

- ピクチャーキャッシュレックは、フレームレック、インターバルレック、スロー＆クリックモーション、クリップコンティニュアスレックと一緒にOnにするとはできません。ピクチャーキャッシュレックをOnになると、これらの機能は強制的にOffになります。
- 記録中、レックレビュー中、フリーズミックス中は、ピクチャーキャッシュレックモードでできません。
- OTHERSメニューのSystem (100ページ) の各項目を変更すると、ピクチャーキャッシュレックはOffになります。
- ピクチャーキャッシュレックがOnのときは、タイムコードはTC/UB SETメニューの設定に関わらず常にFree Runモードで記録されます（95ページ）。

撮影前の設定

あらかじめCAMERA SETメニューの P.Cache Rec (86ページ) で設定を行ってください。

アサイナブルボタン（49ページ）にPicture Cache（ピクチャーキャッシュレック機能）を割り当てて、ボタン操作でSettingのON/OFFを切り換えることもできます。

設定を完了すると、画面上の特殊記録/動作状態表示部に「●CACHE」（●は緑）が点灯します（20ページ）。

ピクチャーキャッシュレックを実行する

REC START/STOPボタンを押す。

記録が開始され、キャッシュメモリーに蓄積されている映像からSxSメモリーカードに書き込まれます。

ピクチャーキャッシュレック実行中は、画面上の「●CACHE」表示が「●REC」(●は赤)表示に変わります。

ピクチャーキャッシュレック機能を解除するには

CAMERA SETメニューのP.Cache RecでSettingをOffにするか、Picture Cacheを割り当てたアサインブルボタンを押します。

ご注意

- 記録フォーマットが変更されると、それまで蓄えていた映像をクリアし、新たに蓄積を開始します。従って、変更直後に記録を開始しても、フォーマット変更前の映像はピクチャーキャッシュレックできません。
- SxSメモリーカード挿入直後にピクチャーキャッシュレックの開始/終了操作を行った場合は、データがカードに記録されないことがあります。
- 画像の蓄積は、ピクチャーキャッシュレック機能をOnにしてから開始されます。したがって、Onにする前の映像はピクチャーキャッシュレックできません。
- 外部入力信号(HDV)に対しては、ピクチャーキャッシュレック機能は動作しません。
- 再生、レックレビュー、サムネイル画面表示など、SxSメモリーカードにアクセスしている間は映像を蓄えないため、この間の映像はピクチャーキャッシュレックできません。
- 記録中でもメニュー操作で蓄積時間の設定を変更できますが、設定値は記録終了後に反映されます。

スロー&クイックモーション

UDF/HDモードまたはFAT/HDモードで、ビデオフォーマット(100ページ)が下記のいずれかに設定されているときは、記録時のフレームレートを再生時のフレームレートと異なる値に設定することができます。

NTSC Area

HD422 50/1080/29.97P、HD422 50/1080/23.98P、HD422 50/720/59.94P、HD422 50/720/29.97P、HD422 50/720/23.98P
HQ 1920×1080/29.97P、HQ 1920×1080/23.98P、HQ 1280×720/59.94P、HQ 1280×720/29.97P、HQ 1280×720/23.98P

PAL Area

HD422 50/1080/25P、HD422 50/720/50P、
HD422 50/720/25P
HQ 1920×1080/25P、HQ 1280×720/50P、
HQ 1280×720/25P

ご注意

- SDモードではスロー&クイックモーション撮影はできません。
- スロー&クイックモーションは、フレームレック、インターバルレック、ピクチャーキャッシュレック、クリップコンティニアスレックとともにOnにすることはできません。スロー&クイックモーションをOnにすると、これらの機能は強制的にOffになります。
- 記録中、レックレビュー中、フリーズミックス中は、スロー&クイックモーションモードにできません。
- CAMERA SETメニューのSLS/EX SLS(84ページ)がOFF以外のときは、スロー&クイックモーションモードにできません。
- 再生フレームレートと異なる撮影フレームレートを設定した場合、音声は記録できません。

撮影前の設定

スロー&クイックモーションで記録を始める前に、あらかじめCAMERA SETメニューのS&Q Motion(86ページ)で設定を行ってください。

画面の特殊記録モード表示がOnのときは、画面上に「S&Q Motion」が点灯します(20ページ)。

ダイレクトメニューで撮影フレームレートを設定するには

画面の特殊記録モード表示がOnのときは、S&Q Motionの下に「撮影フレームレート/再生フレームレートfps」が表示されます。その場合、ダイレクトメニュー(21ページ)で撮影フレームレートを切り換えることができます。

スロー&クイックモーションモードで撮影する

撮影前に必要な設定が終わったら、記録を開始します。

REC START/STOPボタンを押す。

ご注意

- スロー＆クイックモーション撮影中は、Frame Rateの設定は変更できません。変更する場合は、いったん記録を停止してください。
- スロー＆クイックモーション撮影では、タイムコードはRec Runモードで記録されます（95ページ）。
- 遅いフレームレートで撮影していた場合は、REC START/STOPボタンを押してから記録が停止するまでに時間がかかる場合があります。
- 本機の電源スイッチをOFFにした場合、スロー＆クイックモーションモードは自動的にOffになります。ただし、Frame Rateの設定値は保持されます。

フリーズミックス：位置を合わせる

UDF/HDモードまたはFAT/HDモードで記録したクリップの映像の静止画（フリーズ画）と、カメラ入力画像を一時的に重ね合わせて表示することができるため、簡単に位置合わせをすることができます。

フリーズミックスを使用する

あらかじめアサインブルボタン（49ページ）のひとつにFreeze Mix（フリーズミックス機能）を割り当てます。

フリーズミックス表示する

再生中またはレックレビュー中に、位置合わせしたいレビュー画像でFreeze Mixを割り当てたASSIGNボタンを押します。レビュー画像がフリーズ画としてカメラ入力画像に重ねて表示されます。

フリーズミックス表示を解除する

ASSIGNボタンまたはREC START/STOPボタンで解除できます。
Freeze Mixを割り当てたアサインブルボタンを押してフリーズミックス表示を解除すると、通常のカメラ画像になります。
REC START/STOPボタンを押してフリーズミックス表示を解除すると、通常の記録が始まります。

ご注意

- SDモードではフリーズミックスは使用できません。
- OTHERSメニューのSystem（100ページ）のFormatが、HQ 1280×720/23.98P（UDF/HDモード）、SP 1440×1080/23.98P（FAT/HDモード）に設定されているときは、フリーズミックスは使用できません。
- 記録された画像とカメラ入力画像のFormatの設定が異なる場合は、フリーズミックス表示はできません。
- スロー＆クイックモーションモード、スローシャッター撮影時は、フリーズミックス表示はできません。
- フリーズミックス表示中は、セットアップメニュー、ピクチャープロファイルメニューは操作できません。

ピクチャープロファイル

撮影条件などに合わせて調整した設定値をピクチャープロファイルとして保存し、必要に応じて再現することができます。
本機では、6種類のピクチャープロファイル（PP1～PP6）を登録することができます。
工場出荷時は、すべて標準設定値（ピクチャープロファイルOffの場合と同じ）が登録されています。

ご注意

ピクチャープロファイルは、記録中/記録待機中のみ操作できます。サムネイル画面では操作できません。

ピクチャープロファイルを登録する

- 電源スイッチ（14ページ）をONにして、本機を起動する。**
- PICTURE PROFILEボタン（17ページ）を押す。**
PICTURE PROFILEメニューが表示されます。
- 上下/左/右ボタンまたはジョグダイヤルでSELを選択し、SEL/SETボタンまたはジョグダイヤルを押す。**
- リストから登録するピクチャープロファイルの番号を選択し、SEL/SETボタンまたはジョグダイヤルを押す。**

- 5 上/下ボタンまたはジョグダイヤルでSETを選択し、SEL/SETボタンまたはジョグダイヤルを押す。
- 6 各設定（56ページ）を変更する。
- 7 設定が終わったら、PICTURE PROFILEボタンを押す。

登録したピクチャープロファイルを呼び出す

ピクチャープロファイルを登録しておくと、呼び出すだけで登録された画質に調整することができます。

- 1 記録待機中にPICTURE PROFILEボタン（17ページ）を押す。
PICTURE PROFILEメニューが表示されます。
- 2 上/下/左/右ボタンまたはジョグダイヤルでSELを選択し、SEL/SETボタンまたはジョグダイヤルを押す。
- 3 リストから使用するピクチャープロファイルの番号を選択し、SEL/SETボタンまたはジョグダイヤルを押す。
OFFを選択した場合は、画質は標準設定になり、調整はできません。
- 4 PICTURE PROFILEボタンを押す。

DISPLAYボタンを押すと、現在選択されているピクチャープロファイルが画面に表示されます（20ページ）。

ダイレクトメニュー（21ページ）でピクチャープロファイルを選択できます。

ピクチャープロファイル項目

PICTURE PROFILEメニューのSELでOffを選択したときの設定値を、太文字（例：Standard）で表示します。

PICTURE PROFILE SET		
項目	細目と設定値	内容
Profile Name ピクチャープロファイル名の変更	プロファイル名 Standard	最大8文字のプロファイル名を設定する。 アルファベットの小文字a～z、大文字A～Z、数字0～9、-（ハイフン）、_（アンダーバー）、およびスペースから選択。
Matrix マトリックス演算による映像全域の色相の調整	Setting On / Off	Onにすると、マトリクス演算による映像全域の色相調整機能が有効になる。
ご注意		
		<ul style="list-style-type: none">MatrixのSetting をOffにすると、Multi Matrix機能もOffになります。一部の青色LED照明など青色成分が極端に多い照明下等で色飽和をおこしてしまう場合はMatrixのSettingをoffにすることで色飽和が軽減されます。
Select 1 / 2 / 3 / 4 / 5 / 6	マトリクス演算に使用する内蔵プリセットマトリックスを選択する。 1 : SMPTE-240M相当 / 2 : ITU-709相当 / 3 : SMPTE WIDE相当 / 4 : NTSC相当 / 5 : EBU相当 / 6 : PAL相当	
Level -99～+99 (±0)	映像全域の色の濃さ（Saturation）を調整する。	
Phase -99～+99 (±0)	映像全域の色合い（Hue）を調整する。	
R-G, R-B, G-R, G-B, B-R, B-G -99～+99 (±0)	それぞれ対応する係数を個別に設定し、映像全域の色相を微調整する。	
Multi Matrix マルチマトリックス補正の設定	Setting On / Off	16軸の色相（Hue）空間で飽和度（Saturation）を設定するマルチマトリックス補正をON/OFFする。
Area Indication ¹⁾ On / Off	Onにすると、画面上のMulti Matrixの調整対象となる色の部分にゼブラパターンを表示する。	
Color Detection ²⁾ Execute/Cancel	実行すると、マルチマトリックス補正の対象となる色を検出する。	
Axis B / B+ / MG- / MG / MG+ / R / R+ / YL- / YL / YL+ / G- / G / G+ / CY / CY+ / B-	マルチマトリックス補正の対象となる色（16軸モード）を設定する。	
Hue -99～+99 (±0)	マルチマトリックス補正の対象となる色の色相（ヒュー）を16軸モードごとに設定する。	
Saturation -99～+99 (±0)	マルチマトリックス補正の対象となる色の飽和度（サチュレーション）を16軸モードごとに設定する。	

PICTURE PROFILE SET

項目	細目と設定値	内容
White ホワイトバランスのオフセット、プリセットホワイトの色温度の設定	Offset White On / Off Offset<A> -99～+99 (±0) Offset -99～+99 (±0) Offset<ATW> -99～+99 (±0)	Onにすると、ホワイトモードがメモリーAまたはメモリーBのときのオートホワイトバランス収束値、およびATWのときのATW動作の収束値を、色温度低めあるいは色温度高めにシフトさせる。 それぞれホワイトモードがメモリーA、メモリーB、ATWのときのATWに対するオフセットホワイト量の設定（収束値のシフト量）を調整する。
Preset White 2100～10000 (3200)		ホワイトバランスモードでプリセットが選択されているときのプリセット色温度を100Kステップで調整する。
HD Detail HDモードの映像に付加するディテールの調整	Setting On / Off Level -99～+99 (±0) Frequency -99～+99 (±0) Crispening -99～+99 (±0) H/V Ratio -99～+99 (±0) White Limiter -99～+99 (±0) Black Limiter -99～+99 (±0) V DTL Creation NAM / Y / G / G+R Knee APT Level -99～+99 (±0)	Onにすると、HD映像にディテールが付加される。 HD映像に付加するディテールの大きさを調整する。 ディテールの中心周波数（ディテールの太さ）を設定する。 中心周波数を高くするとディテールは細くなり、中心周波数を低くするとディテールは太くなる。 ノイズ成分を抑制するレベルを調整する。大きくすると、微小なディテール成分がなくなりレベルの大きいディテール成分のみ残るため、ノイズ感が少なくなる。小さくすると、微小なディテール成分も映像に付加されるが、ノイズも多くなる。 ディテール成分の水平と垂直の比率を調整する。 大きくすると垂直のディテール成分が水平に対し大きくなる。 白側に付くディテールの大きさを制限する。 黒側に付くディテールの大きさを制限する。 垂直ディテールを生成するための元とする信号を、NAM（GとRのどちらか大きい方）、Y、G、G+Rのいずれかから選択する。 ニーアパートナー（ニーポイントより上の部分に付けるディテール量）を調整する。

備考

ご注意

- ホワイトバランスがメモリーA、BモードになっているかATWが起動しているとき以外は、Offset Whiteの設定やOffsetの設定を変更しても、その変化を画面で確認することはできません。
- ホワイトバランスモードでプリセットが選択されているとき以外は、Preset Whiteの設定を変更してもその変化を画面で確認することはできません。

PICTURE PROFILE SET

項目	細目と設定値	内容
SD Detail SDモードの映像に付加するディテールの調整	Setting On / Off Level -99～+99 (±0)	Onにすると、SD映像にディテールが付加される。 SD映像に付加するディテールの大きさを調整する。
	Frequency -99～+99 (±0)	ディテールの中心周波数（ディテールの太さ）を設定する。 中心周波数を高くするとディテールは細くなり、中心周波数を低くするとディテールは太くなる。
	Crispening -99～+99 (±0)	ノイズ成分を抑制するレベルを調整する。大きくすると、微小なディテール成分がなくなりレベルの大きいディテール成分のみ残るため、ノイズ感が少なくなる。小さくすると、微小なディテール成分も映像に付加されるが、ノイズも多くなる。
	H/V Ratio -99～+99 (±0)	ディテール成分の水平と垂直の比率を調整する。 大きくすると垂直のディテール成分が水平に対し大きくなる。
	White Limiter -99～+99 (±0)	白側に付くディテールの大きさを制限する。
	Black Limiter -99～+99 (±0)	黒側に付くディテールの大きさを制限する。
	V DTL Creation NAM / Y / G / G+R	垂直ディテールを生成するための元とする信号を、NAM (GとRのどちらか大きい方)、Y、G、G+Rのいずれかから選択する。
	Knee APT Level -99～+99 (±0)	ニーアパー・チャー（ニーポイントより上の部分に付けるディテール量）を調整する。
Skin Tone Detail 映像の特定の色相の部分に付加するディテールの大きさの調整	Setting On / Off Level -99～+99 (±0)	Onにすると、映像の特定の色相の部分に付加するディテールレベルの調整が可能になる。Offにするとディテールの大きさは映像の全域で同一になる。 映像の特定の色相の部分に付加するディテールレベルを調整する。
	Area Detection ²⁾ Execute/Cancel	Executeを選択すると画面中央部の色を検出し、その色を中心に幅を持たせた色の範囲をSkin Tone Detailでの調整対象にする。
	Area Indication ¹⁾ On / Off	Onにすると、画面上のSkin Tone Detailの調整対象エリアに含まれる色の部分に対しひびき/パターンが表示される。
	Saturation -99～+99 (±0)	Skin Tone Detailを効かせる色の彩度（色の濃さ）の範囲を調整する。
	Phase 0～359 (130)	Area Detectionを実行すると、自動的に0に戻ります。 Skin Tone Detailの調整対象エリアの色合い方向の中心値を調整する。
ご注意		
Area Detectionを実行すると、自動的に0に戻ります。		
ご注意		
Area Detectionを実行すると、検出結果で得られた色の色合い相当の値に自動的に変更されます。		

PICTURE PROFILE SET

項目	細目と設定値	内容
	Width 0～90 (40)	Phaseで設定された色を中心にSkin Tone Detailの調整対象エリアに幅を持たせるときの色合い方向の幅を調整する。
		ご注意 Area Detectionを実行すると、自動的に40に戻ります。
Aperture アパー チャー補正の設定	Setting On / Off	Onにすると、アパー チャー補正（ビデオ信号に、高周波数のアパー チャー信号を加えて周波数特性による劣化を補正し、解像度を高める処理）が有効になる。
	Level -99～+99 (±0)	アパー チャー補正のレベルを設定する。
Knee ニー（高輝度部分に圧縮をかける機能）の調整	Setting On / Off	Onにすると、映像の高輝度部分に圧縮がかかる。
		ご注意 <ul style="list-style-type: none"> 以下のときは、Kneeは固定され、変更できません。 <ul style="list-style-type: none"> Gamma設定がHG1～4のとき 電子シャッターがスローワンターモードのとき EX SLSが動作しているとき
	Auto Knee On / Off	Onにすると、ニーをかけるレベルを、撮影している映像の輝度レベルから常に自動で最適に計算して動かす。Offにすると、撮影している映像のレベルに依存せず、ニーをかけるレベルを手動で調整できる。
	Point 50～109 (90)	Auto Kneeの設定がOffのとき、ニーポイントを設定する。
	Slope -99～+99 (±0)	Auto Kneeの設定がOffのとき、ニーの傾き（圧縮度合い）を調整する。
	Knee SAT On/Off	Onにすると、ニーサチュレーション（ニーポイントより上の部分の色つき具合）の調整が有効になる。
	Knee SAT Level -99～+99 (±0)	ニーポイントより上の部分の色つき具合（ニーサチュレーション）を調整する。
White Clip	Setting On / Off	ホワイトクリップ調整機能をオン／オフする
	Level Countryの設定がPAL Area以外の場合 90.0%～109.0% (108.0%)	ホワイトクリップレベルを設定する
	Countryの設定がPAL Areaの場合 90.0%～109.0% (105.0%)	
Gamma ガンマ補正のレベルの調整と、ガンマカーブの切り換え	Level -99～+99 (±0)	ガンマ補正のレベルを調整する。
	Select ³⁾ STD1～STD6 / HG1～HG4 (HD : STD5、SD : STD4)	ガンマ補正の基準カーブの種類を選択する。

PICTURE PROFILE SET		
項目	細目と設定値	内容
Black ブラックの調整	-99～+99 (±0)	マスター・ブラックのレベルを調整する。
Black Gamma ブラック・ガンマレベルの調整	-99～+99 (HD : ± 0 , SD : -16)	映像の暗い部分のみを立てて階調をはっきりさせたり、逆に潰してノイズを抑えるブラック・ガンマ機能のレベルを調整する。
Low Key SAT ローキーサチュレーションの調整	-99～+99 (±0)	映像の暗い部分のみの色を濃くしたり、逆に薄くしてノイズを抑えるローキーサチュレーションのレベルを調整する。
Copy ピクチャープロファイルのコピー	Execute / Cancel	Executeを選択するとコピーを実行する。
PP Data ピクチャープロファイルの保存と読み出し	Store Execute / Cancel Recall Execute / Cancel	Executeを選択するとピクチャープロファイルをSxSメモリーカードに保存する。 Executeを選択するとピクチャープロファイルをSxSメモリーカードから読み出す。
Reset ピクチャープロファイルのリセット	Execute / Cancel	Executeを選択すると標準設定に戻る。

1) Area IndicationのON/OFFは、PP1～PP6で連動して切り換わります。

2) Multi MatrixのColor Detection / Skin Tone DetailのArea Detectionを実行するには

1. Color DetectionまたはArea Detectionを選択する。

画面中央に検出領域を示す四角のマークーが表示され、画面下にExecute/Cancelが表示されます。

2. Executeを選択する。

マークー領域の色相検出を実行します。検出に成功すると完了メッセージが表示され、元の画面に戻ります。Multi Matrixの場合は、調整対象となる色がColor Detectionで検出された色に変更され、その色の部分にArea Indication（ゼブラパターン）が表示されます。

Skin Tone Detailの場合は、調整対象エリアはArea Detectionで検出された色を中心とするエリアに変更され、Area Indication（ゼブラパターン）が表示されます。

検出に失敗した場合は、エラーメッセージが表示され、元の画面に戻ります。

3) GammaのSelectで選択できるガンマカーブ (STD : スタンダード・ガンマ、HG : ハイパーガンマ)

STD1 : SDカムコーダー相当のガンマテーブル
STD2 : x4.5ゲインのガンマテーブル
STD3 : x3.5ゲインのガンマテーブル
STD4 : SMPTE-240M規格相当のガンマテーブル
STD5 : ITU-R709規格相当のガンマテーブル
STD6 : x5.0ゲインのガンマテーブル
HG1 : 325%のDレンジの入力を100%の出力にするガンマテーブル
HG2 : 460%のDレンジの入力を100%の出力にするガンマテーブル
HG3 : 325%のDレンジの入力を109%の出力にするガンマテーブル
HG4 : 460%のDレンジの入力を109%の出力にするガンマテーブル

クリップの削除

記録待機中は、直前に記録したクリップの削除（Last Clip DEL）およびSxSメモリーカードに記録されたクリップの一括削除（All Clips DEL）が可能です。

- ◆サムネイル画面でのクリップ削除については、「クリップを削除する」（74ページ）をご覧ください。

アサイナブルボタンで削除する

あらかじめアサイナブルボタンのいずれかにLast Clip DEL機能を割り当ててください（49ページ）。

Last Clip DEL機能を割り当てたアサイナブルボタンを押して、Executeを選択すると、最後に記録されたクリップがSxSメモリーカードから削除されます。

セットアップメニューで削除する

OTHERSメニューのClip（101ページ）からLast Clip DELを選択してExecuteを選択し、再度Executeを選択すると、最後に記録されたクリップがSxSメモリーカードから削除されます。

ご注意

クリップコンティニュアスレックがOnのときは、Last Clip DELを選択できません。

クリップを一括削除する

OTHERSメニューのClip（101ページ）からAll Clips DELを選択してExecuteを選択し、再度Executeを選択すると、すべてのクリップがSxSメモリーカードから削除されます。

ご注意

- HDモードとSDモードのクリップが混在記録されているSxSメモリーカードでは、現在選択されているモードのクリップのみ削除されます。
- ファイルシステムでFATを選択している場合は、OKマーク（49ページ）が付加されたクリップは削除されません。UDFを選択している場合は、Lock Clip（71ページ）が設定されているクリップは削除されません。

設定データの保存と呼び出し

本機では、メニューの全設定データ（ピクチャープロファイルを含む）を、セットアップファイルとしてSxSメモリーカードまたはUSBメモリーに保存することができます。

保存したセットアップファイルを呼び出すことによって、適切なセットアップ状態をすばやく再現することができます。

ご注意

OTHERSメニューのClock SetとHours Meterの値は保存されません。

セットアップファイルを保存する

SxSメモリーカードを使うときは

セットアップファイルは「SETUP.SUF」というファイル名で、1枚のSxSメモリーカードに1ファイルのみ保存できます。

- 1 **セットアップファイルを保存するSxSメモリーカードをカードスロットに入れる。**

入れたスロットに対応するSxSメモリーカードアイコンが画面に表示されることを確認してください。

もう1枚のSxSメモリーカードが選択されている場合は、SLOT SELECTボタンで切り換えてください。

- 2 **OTHERSメニューのCamera Data（97ページ）のStoreを選び、Executeを選択する。**

書き込み中は、画面に実行中メッセージが表示され、終了すると完了メッセージに変わりります。

ご注意

- 手順1で指定したSxSメモリーカードにすでにセットアップファイルが保存されている場合は、上書きを許可かどうかの確認メッセージが表示されます。
- SxSメモリーカードの容量が足りない場合はエラーメッセージが表示されます。

USBメモリーを使うときは（UDFのみ）

外部機器接続端子にフォーマット済みのUSBメモリーを接続します（30ページ）。

手順2でAll Save(USB) >Executeを選択します。

セットアップファイルを呼び出す

SxS メモリーカードを使うときは
SxSメモリーカードに保存したセットアップファイルを呼び出すと、本機は保存された状態に設定されます。

1 セットアップファイルを保存したSxS メモリーカードをカードスロットに入れる。

画面にアイコンが表示されることを確認してください。もう1枚のSxSメモリーカードが選択されている場合は、SLOT SELECTボタンで切り換えてください。

2 OTHERSメニューのCamera Data (97ページ) のRecallを選択し、 Executeを選択する。

読み出し中は、画面に実行中メッセージが表示され、終了すると完了メッセージに変わり、セットアップファイルに従って本機の設定が変更されます。

USB メモリーを使うときは（UDFのみ）

外部機器接続端子にフォーマット済みのUSBメモリーを接続します（30ページ）。
手順2でAll Load(USB) >Executeを選択します。

標準設定値に戻す

OTHERSメニューでAll Resetを実行すると、メニュー やボタン操作で変更した本機の状態を、すべて標準設定値（工場出荷時の設定）に戻すことができます。

プランニングメタデータ

プランニングメタデータとは、撮影・記録の計画情報が記述されているXMLファイルです。

プランニングメタデータファイルの例

```
<?xml version='1.0' encoding='UTF-8'?>

<PlanningMetadata
  xmlns="http://mhns.sony.net/pro/metadata/planningmetadata"
  assignId="P0001" creationDate="2011-08-20T17:00:00+09:00"
  lastUpdate="2011-09-28T10:30:00+09:00" load="false" version="1.00">

  <Properties>
    <Property id="assignment" update="2011-08-20T09:00:00+09:00"
      modifiedBy="Chris">
      <Title>русский язык</Title>
    </Property>
  </Properties>

</PlanningMetadata>
```

プランニングメタデータファイルで、あらかじめ定義したクリップ名やショットマーク名を使用して、撮影できます。

本機では、以下の言語で定義されたクリップ名やショットマーク名を表示することができます。

- 英語
- 中国語
- ドイツ語
- フランス語
- イタリア語
- スペイン語
- オランダ語
- ポルトガル語
- スウェーデン語
- ノルウェー語
- デンマーク語
- フィンランド語

ご注意

- 上記以外の言語でクリップ名やショットマーク名を定義した場合、EVF画面およびLCDモニター画面に表示されない場合があります。
- フランス語、オランダ語、フィンランド語でクリップ名やショットマーク名を定義した場合、一部の文字が他の類似のフォントで表示されます。
- 日本語でクリップ名やショットマーク名を定義すると、一部の文字が他のフォントに置き換えられ、EVF画面に正しく表示されないことがあります。

プランニングメタデータファイルを読み込む

クリップの記録時にプランニングメタデータファイルと一緒に記録するには、撮影前にプランニングメタデータファイルを本機のメモリーに読み込んでおく必要があります。

SxS メモリーカードを使うときは
 以下のディレクトリーにプランニングメタデータファイル (.xml) を保存したSxSメモリーカードを本機のカードスロットに挿入し、OTHERSメニューのPlan.Metadata (103ページ) でLoad / Slot(A)またはLoad / Slot(B)を選択して読み込むファイルを選びます。

UDF : General/Sony/Planning
 FAT : BPAV/General/Sony/Planning

USB メモリーを使うときは (UDF のみ)

- FAT32ファイルシステムでフォーマット済みのUSBメモリーを、外部機器接続端子に接続する (30ページ)。
 ファイルリストが表示されます。

ご注意

ファイルリストには、ファイルは64個まで表示されます。
 プランニングメタデータファイルの総数が64個以下であっても、USBメモリー内のプランニングメタデータファイルと同じディレクトリー (General/Sony/Planning) に512個以上のファイルがあると、すべてのプランニングメタデータファイルが表示されないことがあります。

- 上下/左/右ボタンまたはジョグダイヤルでファイルリストから読みたいファイルを選択し、SEL/SETボタンまたはジョグダイヤルを押す。

プランニングメタデータの詳細情報を確認する

本機のメモリーに読み込んだプランニングメタデータのファイル名や作成日時、タイトルなどの詳細情報を確認することができます。

OTHERSメニューのPlan.Metadata (103ページ) でPropertiesを選択し、Executeを選びます。

Wi-Fi 機能を使うときは

本機とコンピューターをWi-Fi接続している場合は、コンピューターから本機のWebメニューにアクセスしてファイルを送信します。

- コンピューターでブラウザを起動し、ブラウザのアドレスバーに「[http://本機のIPアドレス \(104ページ\)](http://本機のIPアドレス (104ページ))」を入力する。

例: IPアドレスが「192.168.1.10」の場合アドレスバーに「<http://192.168.1.10/>」と入力します。

- ユーザー名とパスワードを入力して、OKをクリックする。

User name: admin

Password: pmw-160 (機種名を小文字で入力)

読み込んだプランニングメタデータを消去する

本機のメモリーに読み込んだプランニングメタデータをメモリーから消去します。OTHERSメニューのPlan.Metadata (103ページ) でClearを選択し、Executeを選択します。

プランニングメタデータでクリップ名を設定する

プランニングメタデータには、次の2種類のクリップ名文字列を記述することができます。

- EVF画面上に表示できるASCII形式の名称
- 実際にクリップ名として登録されるUTF-8形式の名称

OTHERSメニューのPlan.Metadata (103ページ) でClip Name Dispを選択し、どちらのクリップ名を表示するか選びます。

プランニングメタデータでクリップ名を設定すると、EVF画面の動作状態表示の下にクリップ名が表示されます。

クリップ名文字列の記述例

テキストエディターを使用して、プランニングメタデータの<Title>タグの内容を変更します。

網掛け部分がクリップ名文字列です。「Typhoon」はASCII形式 (44文字以下) で記述しています。「台風東京上陸」はUTF-8形式 (44バイト以下) で記述しています。「_sp」はスペース、←は改行を表します。

```
<?xml_spversion="1.0"_spencoding="UTF-8"?>←
```

```
<PlanningMetadata_sp xmlns="http://
xmlns.sony.net/pro/metadata/
planningmetadata" sp:assignId="P0001" sp:creationDate="2011-08-20T17:00:00+09:00" sp:lastUpdate="2011-09-28T10:30:00+09:00" sp:version="1.00">←
  <Properties_sp:propertyId="assignment" sp:update="2011-09-28T10:30:00+09:00" sp:modifiedBy="Chris">←
    <Title_sp:usAscii="Typhoon" sp:xml:lang="ja">台風東京上陸</Title>←
  </Properties>←
</PlanningMetadata>←
```

ご注意

- 実際にファイルを作成する場合は、改行位置でのみ改行し、「sp」が表示されていない位置にはスペースは入れずに1つの文として記述してください。
- クリップ名に使用できる有効文字数は44バイト（または44文字）です。UTF-8形式で44バイトを超えるクリップ名を定義すると、44バイトまでの文字列がクリップ名に使用されます。ASCII形式のクリップ名のみ定義している場合は、ASCII形式の44文字までの文字列がクリップ名に使用されます。
- ASCII形式で記述した文字列、UTF-8形式で記述した文字列が、いずれもクリップ名として使用できない場合、クリップ名は標準形式となります。

プランニングメタデータで記述したクリップ名をつける

クリップ名を記述したプランニングメタデータファイルを本機のメモリーに読み込み、OTHERSメニューのClip（101ページ）でAuto Namingを選択し、Planを選びます。記録を行ったびに、プランニングメタデータファイルに記述したクリップ名が、アンダーバー（_）と5桁の通し番号（00001～99999）が付加された形式で自動生成されます。

例：台風東京上陸_00001、台風東京上陸_00002、…

ご注意

- 通し番号が99999に達したら、次の記録操作で00001に戻ります。
- 他のプランニングメタデータを読み込むと、5桁の通し番号は00001に戻ります。
- 日本語のクリップ名は、一部の文字が他のフォントで表示されることがあります。

プランニングメタデータでショットマーク名を設定する

ショットマーク1、2を記録するとき、プランニングメタデータで定義した文字列でショットマーク名を記録することができます。

ショットマーク名文字列の記述形式

テキストエディターを使用して、プランニングメタデータの<Meta name>タグの内容を変更します。

網掛け部分がショットマーク名文字列です。ASCII形式（32文字以下）、またはUTF-8形式（16文字以下）で記述します。「sp」はスペース、←は改行を表します。

ご注意

ASCII形式以外の文字が1文字以上含まれていれば、その文字列の最大長は16文字になります。

```
<?xml_sp:version="1.0" sp:encoding="UTF-8"?>←
<PlanningMetadata xmlns="http://
xmlns.sony.net/pro/metadata/
planningmetadata" sp:assignId="H00123" sp:creationDate="2011-04-15T08:00:00Z" sp:lastUpdate="2011-04-15T15:00:00Z" sp:version="1.00">←
  <Properties_sp:propertyId="assignment" sp:class="original" sp:update="2011-04-15T15:00:00Z" sp:modifiedBy="Chris">←
    <Title_sp:usAscii="Football Game" sp:xml:lang="ja">Football Game 15/04/2011</Title>←
    <Meta_sp:name="_ShotMark1" sp:content="Goal"/>←
    <Meta_sp:name="_ShotMark2" sp:content="Shoot"/>←
```

```
</Properties>↔  
</PlanningMetadata>↔
```

ご注意

実際にファイルを作成する場合は、改行位置でのみ改行し、ショットマーク名文字列以外では「_{sp}」が表示されていない位置にはスペースは入れずに1つの文として記述してください。

プランニングメタデータを一括コピーする

1枚のSxSメモリーカードのGeneralフォルダに記録されているプランニングメタデータを、別のSxSメモリーカードにまとめてコピーすることができます。

OTHERSメニューのCopy All (102ページ) からGeneral Filesを選択します。

サムネイル画面

THUMBNAILボタン（16ページ）を押すと、SxSメモリーカードに収録されているクリップが、サムネイル（縮小画）画面に表示されます。クリップが記録されていないカードを入れた場合は、メッセージが表示されます。

サムネイル画面で選択したクリップから再生を開始することができます。再生画像は、LCDモニター/EVF、外部ビデオモニターに表示できます。

STOP/CAMボタン（16ページ）を押すと、サムネイル画面を終了し、撮影画面に戻ります。

ご注意

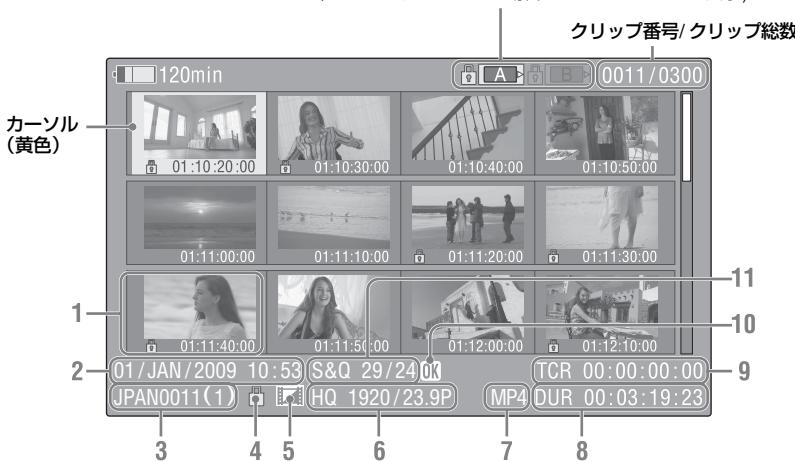
通常のサムネイル画面では、同じSxSメモリーカードにHD/SDのクリップが混在して記録されている場合でも、OTHERSメニューのSystem（100ページ）のHD/SDで選択されているモードのクリップのみ表示されます。

HD/SDモードにかかわらず記録されている全クリップを表示したい場合は、オールクリップサムネイル画面（68ページ）に切り換えます。

サムネイル画面の構成

画面下部には、カーソル位置のクリップの情報が表示されます。

現在選択されているSxSメモリーカードをハイライト表示
(プロテクトされている場合は左にロックマーク表示)



1. サムネイル（縮小画）

UDF、FAT/HDモード：表示されるサムネイルは、各クリップの代表画像です。記録時にはクリップの先頭フレームが自動的に代表画に設定されます。任意のフレームに変更することもできます（77ページ）。クリップがロックされている、またはOK

マークが付加されている場合はロックマーク が表示されます。

FAT/SDモード：表示されるサムネイルは、各クリップの先頭フレームです。ファイルサイズが2GBを超えて分割保存されたクリップの場合はテイクマーク が表示されます。それぞれの分割ファイルは、ク

リップエクスパンド画面（74ページ）で見ることができます。

2. 収録年月日と録画開始時刻

3. クリップ名

FAT/SDモードでファイルサイズが2GBを超えて分割保存されたクリップの場合のみ、クリップ名の後に/（スラッシュ）で区切ってクリップの分割数が表示されます。

4. ロックマーク（UDF、FAT/HDモードのみ）

UDF：選択しているクリップがロックされている場合にロックマークが表示されます。

FAT/HDモード：選択しているクリップにOKマークが付加されている場合にロックマークが表示されます。

5. AV単独ファイルアイコン（UDF、FAT/HDモードのみ）

選択したクリップがAV単独ファイルの場合のみ表示されます。コンピューターでSxSメモリーカードに直接追加したファイルなど正規の管理ファイルがない場合で、すべての操作と表示ができない可能性があることを示します。

6. 記録時のビデオフォーマット

7. ファイルフォーマット

選択したクリップのファイルフォーマット（MXF、MP4、AVI）が表示されます。（UDF/HDモード時は表示されません。）

8. クリップの収録時間（Duration）

9. タイムコード

代表画のタイムコードが表示されます。

10. OK/NG/KPマーク（UDF、FAT/HDモードのみ）

UDF：選択したクリップにOK/NG/KPフラグが付加されている場合は、そのマークが表示されます。

FAT/HDモード：選択したクリップにOKマークが付加されている場合は、OKマークが表示されます。

11. 特殊記録撮影情報（UDF、FAT/HDモードのみ）

特殊記録モード（スロー＆クイックモーション、インターバルレック、フレーム

レック）で記録されたクリップの場合のみ、そのモードが表示されます。

スロー＆クイックモーション記録されたクリップの場合は、右側に「撮影フレームレート/再生フレームレート」が表示されます。

サムネイル画面の種類を変更する

THUMBNAILボタン（16ページ）を押すごとに、以下のとおりサムネイル画面の種類を切り換えることができます。

UDF

通常のサムネイル画面、OK/NG/KP/Noneクリップサムネイル画面、オールクリップサムネイル画面が切り換わります。

FAT/HD モード

通常のサムネイル画面、OKクリップサムネイル画面、オールクリップサムネイル画面が切り換わります。

FAT/SD モード

通常のサムネイル画面とオールクリップサムネイル画面が切り換わります。

OK/NG/KP/Noneクリップサムネイル画面

選択されているSxSメモリーカードに記録されたクリップの中で、OK/NG/KPフラグのいずれかのフラグが付加されたクリップ、またはフラグが付加されていないクリップ（None）のみが表示されます。

OTHERSメニューのClip（101ページ）のFilter Clipsで、表示するフラグを選択できます。

OKクリップサムネイル画面

選択されているSxSメモリーカードに記録されたクリップの中で、OKマークが付加されたクリップのみが表示されます。

オールクリップサムネイル画面

HD/SDモードにかかわらず、記録されているすべてのクリップが表示され、選択されているSxSメモリーカードに他のモードのクリップも記録されているかどうかを確認することができます。

ご注意

オールクリップサムネイル画面から再生を開始することはできません。

もう一度THUMBNAILボタンを押すと通常のサムネイル画面に戻り、再生やクリップ操作が可能になります。

SxSメモリーカードを切り換える

SxSメモリーカードが2枚装着されているときは、SLOT SELECTボタン（17ページ）を押して切り替えます。

ご注意

サムネイル画面が表示されているとき、またはSTOP/CAMボタンを押して外部入力画像が表示されているときのみ、切り替え可能です。

再生中にSxSメモリーカードを切り換えることはできません。
またスロットAからスロットBへの連続再生はできません。

クリップの再生

再生にはハンドル面操作パネル（16ページ）の再生コントロールボタンを使用します。赤外線リモコンを有効にしたときは、リモコンのボタンでも操作できます（25ページ）。

選択したクリップ以降のクリップを連続再生する

1 上/下/左/右ボタンまたはジョグダイヤルで、再生を開始したいクリップのサムネイルにカーソルを合わせる。

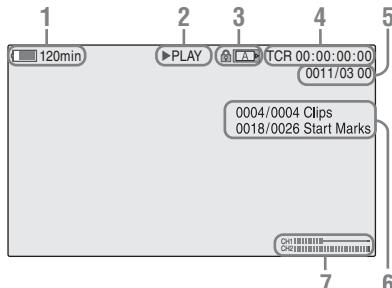
2 PLAY/PAUSEボタンを押す。
選択したクリップの先頭から再生が始まります。

ご注意

- クリップとクリップの境界では、一時的に画像が乱れたり、静止画になる場合があります。またこの間は、再生コントロールボタンやTHUMBNAILボタンは操作できません。
- サムネイル画面でクリップを選択して再生を開始すると、クリップの先頭部分の再生映像が乱れる場合があります。クリップの先頭から乱れのない映像で再生するには、一度再生モードにした後で一時停止にし、PREVボタンを押してクリップの先頭に戻して再生を行ってください。

再生中の画像に表示される情報

再生画像には、次のような情報が重ねて表示されます。



1. バッテリー残量/DC IN電圧表示
2. 再生モード表示
3. SxSメモリーカード表示
SxSメモリーカードがプロテクトされている場合は、左にマークが表示されます。
4. タイムデータ表示
再生画像のタイムデータが表示されます。DURATION/TC/U-BITボタンを押すたびに、タイムコード（TCR）表示とユーザー・ビット（UB表示）が切り換わります。
5. クリップ番号/クリップ総数
FATの場合に表示されます。また、UDFでOTHERSメニューのClip（101ページ）のFind ModeがClipの場合に表示されます。
6. クリップ番号/クリップ総数、エッセンスマーク番号/エッセンスマーク総数
UDFでOTHERSメニューのClip（101ページ）のFind ModeがRec Startの場合に表示されます。
7. オーディオレベル表示
記録時のオーディオレベルを表示します。

音声を聞く

標準再生モードでは、記録されている音声を内蔵スピーカー（15ページ）またはヘッドホンでモニターできます。ヘッドホン端子（14ページ）にヘッドホンをつなぐと、内蔵スピーカーはオフになります。VOLUMEボタン（16ページ）を押して音量を調整します。モニターするチャンネルは、AUDIO SETメニューのAudio Output（90ページ）で選択できます。

頭出しする

最初のクリップの先頭から再生するにはPREVボタンとF REVボタンを同時に押すと、SxSメモリーカードの最初に記録されたクリップの先頭にジャンプします。

最後のクリップの先頭から再生するにはF FWDボタンとNEXTボタンを同時に押すと、SxSメモリーカードの最後に記録されたクリップの先頭にジャンプします。

再生中にショットマークを追加する（UDF、FAT/HDモード）

記録時と同様に、ボタンを押すことによって再生中のクリップに、ショットマークを追加することができます。

ショットマークを入れたい部分で、**Shot Mark1**または**Shot Mark2**の記録機能を割り当てたアサイナブルボタン、またはリモコンの**SHOTMARK 1**または**2**ボタンを押す。

ご注意

- SxSメモリーカードがプロテクトされている場合にはショットマークは記録できません。
- クリップの先頭と末尾にはショットマークは記録できません。

クリップ操作

サムネイル画面などの再生モードでは、クリップ操作メニューを使用してクリップの操作、詳細情報の確認、付随データの変更などが可能です。下記の画面でSEL/SETボタンまたはジョグダイヤルを押すと、それぞれ対応するクリップ操作メニューを表示できます。

クリップ操作メニュー構成

サムネイル画面（70ページ）

- CANCEL
- DISP CLIP INFO
- OK MARK ADD (FATのみ)
- OK MARK DELETE (FATのみ)
- OK FLAG ADD (UDFのみ)
- NG FLAG ADD (UDFのみ)
- KEEP FLAG ADD (UDFのみ)
- CLIP FLAG DELETE (UDFのみ)
- LOCK CLIP (UDFのみ)
- UNLOCK CLIP (UDFのみ)
- COPY CLIP
- DELETE CLIP
- ALL MARKS
- SHOT MARK1
- SHOT MARK2
- REC START MARK (UDFのみ)
- EXPAND CLIP

クリップエクスパンド画面（75ページ）

- CANCEL
- EXPAND(COARSE)
- EXPAND(FINE)
- PAUSE
- SET INDEX PIC
- SHOT MARK1 ADD
- SHOT MARK2 ADD

- SHOT MARK1 DEL
- SHOT MARK2 DEL
- DIVIDE CLIP (FATのみ)

ショットマーク画面（76ページ）

- CANCEL
- PAUSE
- SET INDEX PIC
- SHOT MARK1 DEL
- SHOT MARK2 DEL
- DIVIDE CLIP (FATのみ)

ご注意

SDモードでは選択できるメニューが制限されます。

クリップ操作メニューの基本操作

上/下/左/右ボタンまたはジョグダイヤルで機能を選択し、SEL/SETボタンまたはジョグダイヤルを押してください。
CANCELボタンを押すと、操作前の画面に戻ります。

クリップ操作メニューでCANCELを選択すると、クリップ操作メニューが消えます。

ご注意

- SxSメモリーカードがプロテクトされているときは、操作できない項目があります。
- メニューを表示させたときの状態によって選択できない項目があります。

サムネイル画面のクリップ操作メニュー

サムネイル画面（66ページ）でSEL/SETボタンまたはジョグダイヤルを押すと、カーソル位置のクリップの操作メニューが表示されます。

項目	機能
DISP CLIP INFO	クリップの詳細情報画面を表示する（72ページ）。
OK MARK ADD ¹⁾	OKマークを付加する（73ページ）。
OK MARK DELETE ¹⁾	OKマークを削除する（73ページ）。

項目	機能
OK FLAG ADD ²⁾	OKフラグを付加する（73ページ）。
NG FLAG ADD ²⁾	NGフラグを付加する（73ページ）。
KEEP FLAG ADD ²⁾	KPフラグを付加する（73ページ）。
CLIP FLAG DELETE ²⁾	クリップを削除する（73ページ）。
LOCK CLIP ²⁾	クリップをロックして保護する（73ページ）。
UNLOCK CLIP ²⁾	保護されたクリップのロックを解除する（73ページ）。
COPY CLIP	クリップを別のSxSメモリーカードにコピーする（73ページ）。
DELETE CLIP	クリップを削除する（74ページ）。
ALL MARKS ³⁾	エッセンスマークが記録されているすべてのフレームをサムネイル表示する（75ページ）。
SHOT MARK1 ³⁾	ショットマーク1が記録されているフレームのみをサムネイル表示する（75ページ）。
SHOT MARK2 ³⁾	ショットマーク2が記録されているフレームのみをサムネイル表示する（75ページ）。
REC START MARK ²⁾	レックスタートマークが付加されているフレームおよび先頭フレームにレックスタートマークが付加されていないクリップの先頭フレームをサムネイル表示する（75ページ）。
EXPAND CLIP	クリップエクスパンド画面に切り換える（74ページ）。

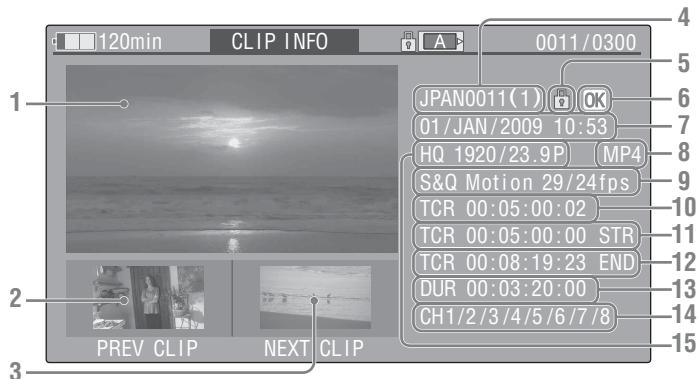
1)FAT/HDモードのみ有効

2)UDFのみ有効

3)UDF、FAT/HDモードで有効

クリップの詳細情報を表示する

クリップ操作メニューでDISP CLIP INFOを選択します。



1. 現在のクリップの画像

2. 前のクリップの画像

PREVボタンを押すと、ひとつの前のクリップの詳細情報画面になります。

FAT/SDモードで分割保存されたクリップの場合は、ひとつの前の分割クリップの詳細情報画面になります。

3. 次のクリップの画像

NEXTボタンを押すと、次のクリップの詳細情報画面になります。

FAT/SDモードで分割保存されたクリップの場合は、次の分割クリップの詳細情報画面になります。

4. クリップ名

12文字以上のクリップ名の場合、最初の5文字と最後の5文字のみ表示されます。省略された部分を確認したいときは、ジョグダイヤルまたはSEL/SETボタンを押すと、クリップ名全体が表示されます（ロング表示モード）。もう一度ジョグダイヤルまたはSEL/SETボタンを押すとロング表示モードは解除されます。PREV/NEXTで前または次のクリップに切り換えた場合にも、ロング表示モードは解除されます。

FAT/SDモードでファイルサイズが2GBを超えて分割保存されたクリップの場合のみ、クリップ名の後に/（スラッシュ）で

区切ってクリップの分割数が表示されます。

5. ロックマーク (UDF、FAT/HDモードのみ)

UDF：選択しているクリップがロックされている場合にロックマークが表示されます。

FAT/HDモード：選択しているクリップにOKマークが付加されている場合にロックマークが表示されます。

6. OK/NG/KPマーク (UDF、FAT/HDモードのみ)

UDF：選択したクリップにOK/NG/KPフラグが付加されている場合は、そのマークが表示されます。

FAT/HDモード：選択したクリップにOKマークが付加されている場合は、OKマークが表示されます。

7. 収録日と録画開始時刻

8. ファイルフォーマット

選択したクリップのファイルフォーマット（MXF、MP4、AVI）が表示されます。

9. 特殊記録撮影情報 (UDF、FAT/HDモードのみ)

特殊記録モード（スロー＆クイックモーション、インターバルレック、フレーム

レック)で記録されたクリップの場合のみ、そのモードが表示されます。スロー＆クイックモーション記録されたクリップの場合は、右側に「撮影フレームレート/再生フレームレートfps」が表示されます。

10. 表示されている画像のタイムコード
11. 記録開始点のタイムコード
12. 記録終了点のタイムコード
13. 収録時間
14. 記録音声チャンネル
15. 記録時のビデオフォーマット

フラグを付ける/フラグを削除する(UDFのみ)

UDFで記録したクリップは、OK/NG/KPフラグを付加することができます。フラグを付加することによって、必要なクリップのみサムネイル画面(OK/NG/KP/Noneクリップサムネイル画面)(67ページ)に表示させることができます。

フラグを付加するときは、サムネイル画面のクリップ操作メニュー(70ページ)でOK FLAG ADD、NG FLAG ADD、KEEP FLAG ADDを選択します。フラグを削除するときは、CLIP FLAG DELETE選択します。

ご注意

フラグを付加してもクリップは保護されません。クリップの削除を禁止する場合は、サムネイル画面のクリップ操作メニュー(70ページ)でLOCK CLIPを選択します。保護を解除する場合は、UNLOCK CLIPを選択します。

OKマークを付ける/OKマークを削除する(FAT/HDモードのみ)

FAT/HDモードで記録したクリップは、OKマークを付加することによって、必要なクリップのみサムネイル画面(OKクリップサムネイル画面)(67ページ)に表示させることができます。OKマークを付加したクリップは削除・分割が禁止されます。削除・分割したいときは、OKマークを削除してから操作してください。

サムネイル画面のクリップ操作メニュー(70ページ)から、OKマークを付加するときはOK MARK ADDを、削除するときはOK MARK DELETEを選びます。

クリップをコピーする

クリップを別のSxSメモリーカードにコピーすることができます。

コピー先のSxSメモリーカードには同じクリップ名でコピーされます。

ご注意

- コピー先のSxSメモリーカードに同名のクリップが存在している場合は、オリジナルのクリップ名に1桁の括弧数字を付加したクリップ名でコピーされます。
括弧数字は、コピー先に存在しない最小値になります。
例: ABCD0002→ABCD0002(1)
ABCD0002(1)→ABCD0002(2)
ABCD0005(3)→ABCD0005(4)
- FATの場合、コピー回数が10回を超えた場合など、括弧数字(1)～(9)がすでに存在するカードにはそれ以上コピーできません。
- UDFの場合、コピー回数が1000回を超えた場合など、括弧数字(1)～(999)がすでに存在するカードにはそれ以上コピーできません。
- コピー先のSxSメモリーカードの残量が不足しているときはメッセージが表示されますので、コピー先のSxSメモリーカードを交換してください。
- 複数のクリップが記録されたSxSメモリーカードをコピーする場合は、容量が同じSxSメモリーカードであっても、使用条件やメモリーの特性などにより、すべてのクリップを最後までコピーできない場合があります。

クリップを指定してコピーする

サムネイル画面で選択したクリップをコピーします。

クリップ操作メニューからCOPY CLIPを選びます。

クリップを一括コピーする

セットアップメニューを使用すると、同じSxSメモリーカードに記録されているクリップを、別のSxSメモリーカードにまとめてコピーすることができます。

HDモードとSDモードのクリップが混在記録されているSxSメモリーカードでは、現在

選択されているモードのクリップのみコピーされますので、同一モードのクリップのみ抽出したいときにも便利です。OTHERSメニューのCopy All (102ページ)からClipsを選択します。

クリップを削除する

SxSメモリーカードからクリップを削除することができます。

クリップ操作メニューからDELETE CLIPを選びます。

ご注意

OKマークやLOCK CLIPの設定されたフラグが付加されたクリップは削除できません。

削除したいときは、先にOKマークやLOCK CLIPを解除してください。

クリップを一括削除する

セットアップメニューを使用すると、同じSxSメモリーカードに記録されているクリップをまとめて削除することができます。

OTHERSメニューのClip (101ページ)からAll Clips DELを選択します。

ご注意

- HDモードとSDモードのクリップが混在記録されているSxSメモリーカードでは、現在選択されているモードのクリップのみ削除されます。
- OKマークやLOCK CLIPの設定されたフラグが付加されたクリップは削除できません。

クリップエクスパンド画面を表示する

UDF、FAT/HDモードでは、選択したクリップを時間で12分割し、各ブロックの先頭フレームをサムネイルとして表示することができます。

FAT/SDモードでは、ファイルサイズが2GBを超えて分割保存されたクリップの場合のみ、分割されたファイルの先頭のフレームをサムネイルとして表示することができます。

記録時間の長いクリップで、目的のシーンにすばやくキュアップしたい場合などに有効です。

クリップエクスパンド画面は、サムネイル画面で選択したクリップから選択できます。

1 サムネイル画面でクリップを選び、SEL/SETボタンまたはジョグダイヤルを押す。

対応するクリップ操作メニューが表示されます。

2 EXPAND CLIPを選択する。

サムネイル画面で選択したクリップのエクスパンド画面が表示されます。

UDF、FAT/HDモードのクリップエクスパンド画面



画面下部にクリップの詳細情報が表示されます。

下記の項目以外は、通常のサムネイル画面 (66ページ) で表示される項目と共通です。

1. フレーム情報

選択したフレームの情報をアイコンで表示します。



代表画



ショットマーク1が付加されたフレーム



ショットマーク2が付加されたフレーム

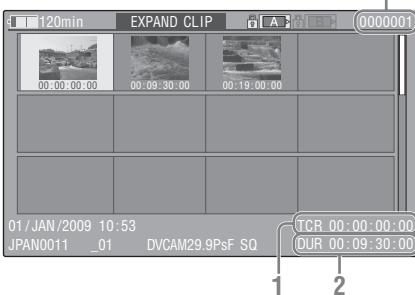
それぞれのサムネイル画像の下にも同じアイコンが表示されます。ただし、同じフレームに複数の情報が付加されている場合には、代表画→ショットマーク1→ショットマーク2の優先順位で表示されます。

2. タイムコード表示

エクスパンド画面で選択したフレームのタイムコードを表示します。

FAT/SDモードのクリップエクスパンド画面

選択されているフレームの番号



画面下部にクリップの詳細情報が表示されます。

下記の項目以外は、通常のサムネイル画面(66ページ)で表示される項目と共通です。

1. タイムコード表示

選択されている分割されたファイルのタイムコードを表示します。

2. 収録時間 (Duration)

選択されている分割されたファイルの収録時間を表示します。

クリップエクスパンド画面のクリップ操作メニュー

UDF、FAT/HD モード

クリップエクスパンド画面でフレームを選択して、SEL/SETボタンまたはジョグダイヤルを押すと、クリップ操作メニューがポップアップ表示され、さらに細かく分割表示したり、選択したフレーム以降を別のクリップとして保存するなどの操作が可能です。

項目	機能
EXPAND (COARSE)	クリップの分割数を減らす。
EXPAND (FINE)	クリップの分割数を増やす。
PAUSE	選択したフレームで再生一時停止モードにする。
SET INDEX PIC	選択したフレームを代表画に設定する(77ページ)。
SHOT MARK1 ADD	選択したフレームにショットマーク1を付加する(76ページ)。
SHOT MARK2 ADD	選択したフレームにショットマーク2を付加する(76ページ)。
SHOT MARK1 DEL	選択したフレームに付加されているショットマーク1を削除する(76ページ)。
SHOT MARK2 DEL	選択したフレームに付加されているショットマーク2を削除する(76ページ)。
DIVIDE CLIP	選択したフレーム位置で2つのクリップに分割する(77ページ)。(FAT/HDモードのみ)

FAT/SD モード

FAT/SDモードのクリップエクスパンド画面からは、PAUSEのみ選択できます。

ショットマーク画面を表示する(UDF、FAT/HDモード)

クリップにひとつ以上のショットマークやレックスタートマークが記録されている場合、それらのマークが付加されているフレームだけをサムネイル形式で表示することができます。

- 1 サムネイル画面でクリップを選び、SEL/SETボタンまたはジョグダイヤルを押す。
- 2 クリップ操作メニュー(70ページ)から、ALL MARKS、SHOT MARK1、SHOT MARK2、REC START MARKのいずれかを選択する。

ショットマーク画面例（ALL MARKS 選択時）



1

画面下部にクリップの詳細情報が表示されます。

以下の項目以外は、UDF、FAT/HDモードのクリップエクスパンド画面（74ページ）で表示される項目と共に通です。

1. タイムコード表示

ショットマーク画面で選択されているフレームのタイムコード

先頭 / 最後のフレームにカーソルを移動する

カーソルが任意の場所にある状態で F REV ボタンと PREV ボタンと一緒に押すと、カーソルが先頭のフレームに移動します。

F FWD ボタンと NEXT ボタンと一緒に押すと、カーソルが最後のフレームに移動します。

他のクリップのショットマーク画面に切り換える

カーソルが先頭のフレームにある状態で PREV ボタンまたは上ボタンを押すか、ジョグダイヤルを上に回すと、表示可能なひとつ前のクリップのショットマーク画面に切り換わります。

カーソルが最後のフレームにある状態で NEXT ボタンまたは下ボタンを押すか、ジョグダイヤルを下に回すと、表示可能な次のクリップのショットマーク画面に切り換わります。

ショットマーク画面でのクリップ操作メニュー

ショットマーク画面でフレームを選択して SEL/SET ボタンまたはジョグダイヤルを押すと、クリップ操作メニューがポップアップ表示され、ショットマークを削除するなどの操作が可能です。

項目	機能
PAUSE	選択したフレームで再生の一時停止モードにする。
SET INDEX PIC	選択したフレームを代表画面に設定する（77ページ）。
SHOT MARK1 DEL	選択したフレームに付加されているショットマーク1を削除する（76ページ）。
SHOT MARK2 DEL	選択したフレームに付加されているショットマーク2を削除する（76ページ）。
DIVIDE CLIP	選択したフレーム位置で2つのクリップに分割する（77ページ）。（FAT/HDモードのみ）

ショットマークを追加・削除する（UDF、FAT/HDモード）

一時停止中にショットマークを追加する

クリップ操作メニューから SHOT MARK1 ADD または SHOT MARK2 ADD を選びます。

クリップエクスパンド画面でショットマークを追加する

クリップ操作メニューから SHOT MARK1 ADD または SHOT MARK2 ADD を選びます。

ショットマークを削除する

クリップエクスパンド画面（74ページ）またはショットマーク画面（75ページ）で削除できます。

クリップ操作メニューから SHOT MARK1 DEL または SHOT MARK2 DEL を選びます。

クリップの代表画を変更する (UDF、FAT/HDモード)

クリップエクスパンド画面（74ページ）やショットマーク画面（75ページ）で選択したフレームを代表画に設定することができます。

クリップ操作メニューからSET INDEX PICを選びます。

ご注意

先頭以外のフレームを代表画に設定しても、サムネイル画面で再生を開始した場合は、常に先頭フレームから再生されます。

クリップを分割する (FAT/HD モードのみ)

FAT/HDモードのクリップは、クリップエクスパンド画面（74ページ）やショットマーク画面（75ページ）で選択したフレーム位置で2つのクリップに分割することができます。

クリップ操作メニューからDIVIDE CLIPを選びます。

クリップ名の前半4文字は元のクリップの名前を引き継ぎ、後半4文字は最新の連続番号になります。

例：新たに記録した場合にEFGH0100とい

うクリップが作られる状態で、
ABCD0002という名前のクリップを分割した場合、ABCD0100とABCD0101の2つのクリップが作成されます。

ご注意

SxSメモリーカードの残量が、クリップ分割に必要な容量に満たない場合は、残量不足を知らせるメッセージが表示されます。

ステータス画面

ステータス画面を表示する

STATUSボタン（16ページ）を押すと、LCDモニター/EVF、外部ビデオモニターにステータス画面を表示できます。上/下ボタン（16ページ）またはジョグダイヤル（17ページ）を操作すると順次切り替わります。

STATUSボタンをもう一度押すと、ステータス画面が消えます。

- ◆外部ビデオモニターの接続については、「外部モニターや記録装置を接続する」（107ページ）をご覧ください。

カメラステータス画面

White Bal: ホワイトバランスの状態

表示	内容
B	ホワイトメモリー Bに保存されている色温度を表示します。
A	ホワイトメモリー Aに保存されている色温度を表示します。
PRST	プリセットホワイトに設定されている色温度を表示します。プリセットホワイトの色温度は、PICTURE PROFILEメニューで設定します。

Gain: GAIN スイッチの設定

CAMERA SETメニューでGAINスイッチのL、M、Hの3ポジションのそれぞれに登録されたゲイン値を表示します。

Handle Zoom Speed: ハンドルズームスピードの設定表示

CAMERA SETメニューのZoom Speed（85ページ）で、ズームスピード切り替えスイッチ（16ページ）の各ポジションに設定されたズームスピードを表示します。

表示	内容
H	ズームスピードスイッチのH側に割り当てられているスピード

表示	内容
L	ズームスピードスイッチのL側に割り当てられているスピード

Zebra: ゼブラの状態

表示	内容
1	LCD/VF SETメニューのZebraのZebra Selectで1またはBothが選択されているとき、ゼブラをOnにするとOn表示になり、右側にLCD/VF SETメニューのZebraのZebra1 Levelの設定値が表示されます。ゼブラがOffのとき、またはZebra Selectで2が選択されているときはOffが表示されます。
2	LCD/VF SETメニューのZebraのZebra Selectで2またはBothが選択されているとき、ゼブラをOnにするとOn表示になります。ゼブラがOffのとき、またはZebra Selectで1が選択されているときはOffが表示されます。

Skin Tone Detail: スキントーンディテールの状態

PICTURE PROFILEメニューで、Skin Tone DetailのSettingの状態（OnまたはOff）を表示します。

Picture Profile: ピクチャープロファイルの選択状態

現在選択されているピクチャーファイル番号とピクチャーファイル名を表示します（ピクチャーファイルがOffのときはOffを表示）。

オーディオステータス画面

Output CH：外部出力 / ヘッドホン出力

AUDIO SETメニューのAudio OutputのOutput CHとMonitor CHの設定に応じて、外部出力およびヘッドホンに出力される音声チャンネルを以下のように表示します。

- CH-1：左右ともCH-1の場合
- CH-2：左右ともCH-2の場合
- CH-3：左右ともCH-3の場合
- CH-4：左右ともCH-4の場合
- CH-1/CH-2：左CH-1、右CH-2のステレオの場合
- CH-3/CH-4：左CH-3、右CH-4のステレオの場合
- CH-1+CH-2：左右ともCH-1+CH-2のモノラルの場合
- CH-3+CH-4：左右ともCH-3+CH-4のモノラルの場合

Speaker：スピーカー出力

内蔵スピーカーに出力される音声チャンネルを表示します。

スピーカーはモノラル出力のため、Monitor CHがステレオ設定の場合、CH-1+CH-2またはCH-3+CH-4と表示します。ステレオ以外のときは、AUDIO SETメニューのAudio OutputのMonitor CHの設定をそのまま表示します。

CH-1/CH-2/CH-3/CH-4：オーディオレベルメーター

4チャンネル（2チャンネル時は2チャンネル分）のオーディオレベルメーターと入力ソースを表示します。

撮影中（記録中/記録待機中）は入力されているオーディオのレベル（EE音声のレベル）を表示します。再生中はAUDIO SETメニューのAudio OutputのOutput CHの設定に応じて、再生音声レベルを表示します。

サムネイル表示、再生停止状態、または外部入力信号を記録中に、i.LINK (HDV/DV) 端子から音声の入力がある場合は、入力音声レベルを表示します。FATモードの場合は、AUDIO SETメニューのAudio OutputのOutput CHの設定にかかわらず、左端の

チャンネル表示はCH-1、CH-2になります。UDF/SDモードの場合は、CH-3、CH-4は無音記録のためレベルメーターは振れません。

Wind Filter：風音低減フィルター

入力ソースの右側に、Wind FilterのON/OFFが表示されます。Wind FilterはAUDIO SETメニューのAudio InputのWind Filter CH1～CH4で設定します。

ビデオステータス画面

Video Format：ビデオフォーマット

OTHERSメニューのSystemのFormatで設定されているビデオフォーマットの垂直ライン数、フレームレート、スキャン方式 (i/P)、ファイルシステム (UDF/FAT) を表示します。

Rec Mode：記録ビットレート (HDモードのみ)

OTHERSメニューのSystemのFormatで設定されているビデオフォーマットの記録ビットレートを表示します。

SDI Output：SDI 出力

VIDEO SETメニューのSDI/HDMI/i.LINK I/O SelectのSDIの設定を表示します。

HDMI Output：HDMI 出力

VIDEO SETメニューのSDI/HDMI/i.LINK I/O SelectのHDMIの設定を表示します。

i.LINK I/O : i.LINK 入出力

VIDEO SETメニューのSDI/HDMI/i.LINK I/O Selectのi.LINKの設定を表示します。

Down Converter：SD 出力のダウンコンバーター設定

HDモード時は、VIDEO SETメニューのDown Converterの設定 (Squeeze、Letterbox、Edge Crop) を表示します。

SDモード時は、OTHERSメニューのSystemのFormatで、EC (エッジクロップ) のビデオフォーマットが選択されている場合は「Edge Crop」、SQ (スクイーズ) のビデオフォーマットが選択されている場合は「Squeeze」と表示します。

23.98P Output : 23.98P 出力モード
VIDEO SETメニューの23.98P Outputの設定（23.98PsF、59.94i（2-3 Pull Down））を表示します。

ボタン/リモートステータス画面

Assign Button: ボタンアサイン状態

OTHERSメニューのAssign Buttonの設定で各アサインブルボタンに割り当てられている機能名を表示します。

IR Remote: 赤外線リモコンの有効 / 無効

OTHERSメニューのIR Remoteの設定を表示します。

バッテリー/メディアステータス画面

Battery: バッテリーパック残量

装着されているバッテリーパックの残量を表示します。

Charge Count: 充電繰り返し回数

装着されているバッテリーパックの累積充電繰り返し回数を表示します。

HDD A/HDD B: PHU-220R のバッテリー残量

プロフェッショナルハードディスクユニットが装着されている場合は、それに対応するスロットに接続されているハードディスクユニットのバッテリーの残量を表示します。

Media A/Media B: メディアの残量、残記録可能時間、書き換え寿命目安

それぞれ対応するスロットに挿入されているSxSメモリーカードの空き記録容量をメーター表示します。

メーターの右には、現在の記録ビットレートで撮影を行った場合に記録可能な残り時間を計算して分単位で表示します。対応するスロットにSxSメモリーカードが挿入されていないときや使用できないメモリーカードが挿入されているときは、「--min」と

表示します。メモリーカードが書き込み防止の場合は、マークを表示します。寿命表示に対応したカードが装着されている場合のみ、Lifeの値（未使用状態を100%としたときのそれぞれのメモリーカードの残り寿命の目安）を示します。

セットアップメニューの構成と階層

MENUボタンを押すと、撮影や再生に必要な各種設定を行うセットアップメニューがLCDモニター/EVF画面に表示されます（外部ビデオモニターに表示させることもできます）。下記のメニューから選択して設定します。

CAMERA SET メニュー：画質以外の撮影に関する設定（画質に関する設定は

PICTURE PROFILE メニュー（56ページ））

AUDIO SET メニュー：音声に関する設定

VIDEO SET メニュー：映像出力に関する設定

LCD/VF SET メニュー：LCDモニターとEVF表示に関する設定

TC/UB SET メニュー：タイムコードとユーザービットに関する設定

OTHERS メニュー：その他の設定

セットアップメニューの階層

MENU

- CAMERA SET
 - Gain Setup
 - Shutter
 - SLS/EX SLS
 - MF Assist
 - Color Bars
 - Flicker Reduce
 - Zoom Speed
 - Zoom Transition
 - Interval Rec
 - Frame Rec
 - Clip Cont.Rec
 - P.Cache Rec
 - S&Q Motion
 - Rec Review
 - TLCS
 - Shockless White
 - White Switch
 - ATW Speed
 - ATW Mode
 - Wide Conversion
 - Steady Shot
 - Image Inversion

- AUDIO SET
 - Macro
 - Auto Black Bal.
 - Audio Input
 - Audio Output
- VIDEO SET
 - Input Source Select
 - SDI/HDMI/i.LINK I/O Select
 - SDI/HDMI/Video Out Super
 - Down Converter
 - 23.98P Output
 - SDI Rec Control
 - Match Clip Name
- LCD/VF SET
 - LCD
 - EVF
 - Peaking
 - Marker
 - Zebra
 - Display On/Off
- TC/UB SET
 - Timecode
 - Users Bit
 - TC Format
- OTHERS
 - All Reset
 - Camera Data
 - Time Zone
 - Clock Set
 - Language
 - Assign Button
 - Tally
 - Hours Meter
 - IR Remote
 - Battery Alarm
 - Battery INFO
 - Genlock
 - Direct Menu
 - Trigger Mode
 - System
 - Clip
 - Copy All
 - Format Media
 - Plan.Metadata
 - Network

- Wi-Fi
- Version
- Version (Lens)
- Version Up
- Menu Scroll

セットアップメニュー の基本操作

メニュー操作部

MENU ボタン（16、17 ページ）

セットアップメニューを操作するメニュー
モードをON/OFFします。

上/下/左/右ボタン、SEL/SET ボタン (16 ページ)

上/下/左/右ボタンを押すと、カーソルが上
下左右に移動して、メニュー項目や設定値
を選択できます。

SEL/SETボタンを押すと、選択している項
目を決定します。

ジョグダイヤル（SEL/SET ダイヤル） (17 ページ)

回すとカーソルが上下に移動して、メ
ニュー項目や設定値を選択できます。

ジョグダイヤルを押すと、選択している項
目を決定します。

CANCEL ボタン（16、17 ページ）

一つ前の階層に戻ります。確定前の変更は
キャンセルされます。

ご注意

エクスパンドフォーカスマード（45ページ）に
なっていると、セットアップメニューは操作でき
ません。EXPANDED FOCUSボタンを押して解除
してください。

メニューを設定する

ジョグダイヤルまたは上/下/左/右ボタンで
設定したい項目にカーソルを合わせ、ジョ
グダイヤルまたはSEL/SETボタンを押して
決定します。

- 選択項目が表示される選択肢エリアは最
大7行表示です。選択肢が1度に表示でき
ない場合は、カーソルを上下に移動する
と表示がスクロールします。選択肢エリ
アの右上隅または右下隅に、スクロール
可能なことを示す三角マークが表示され
ます。

- 選択肢の範囲が大きい項目の場合（例：
-99～+99）は、選択肢エリアは表示されません。文字がハイライト表示になり設定変更が可能な状態であることを示します。
- 実行項目でExecuteを選択した場合は、対応する機能が実行されます。
- 実行前に確認が必要な項目を選択すると、いったんメニューが消え、確認メッセージが表示されます。メッセージに従って、実行するかキャンセルするかを選択してください。

文字列を入力する

タイムデータやファイル名など、文字列を設定する項目を選択した場合は、文字列の入力エリアがハイライト表示になり、右端にSETが表示されます。

- 上/下/左/右ボタンまたはジョグダイヤルで文字を選択し、SEL/SETボタンまたはジョグダイヤルを押して決定する。
カーソルが次の欄に移動します。
前の欄に戻りたいときは、左ボタンを押します。
- 同様に最後の桁・欄まで設定する。
カーソルがSETに移動します。
- ジョグダイヤルかSEL/SETボタンを押す。
設定が完了します。

セットアップメニュー一覧

各メニュー項目の機能および設定値は以下のとおりです。

出荷時の初期設定値は、太文字（例：**Speed**）で示します。メニュー項目欄に■が表示されている項目は、サムネイル画面表示中や再生操作中は設定できません。

CAMERA SETメニュー

CAMERA SET		
メニュー項目	細目と設定値	内容
Gain Setup	Low GAINスイッチの各ポジションへのゲインレベル割り当て	スイッチをLにしたとき反映されるゲインレベルを設定する。 Mid -3 / 0 / 3 / 6 / 9 / 12 / 18 dB
		スイッチをMにしたとき反映されるゲインレベルを設定する。
	High -3 / 0 / 3 / 6 / 9 / 12 / 18 dB	スイッチをHにしたとき反映されるゲインレベルを設定する。
Shutter	Mode 電子シャッターの動作条件の設定（SLS/EX SLSが設定されているときは選択不可）	電子シャッターのモードを選択する。 Speed / Angle / ECS
		Speed/Angle（標準モード）：動きの速い被写体を鮮明に撮影したい場合などに使用する。秒数でシャッター速度を設定するSpeed（スピード）モードと開角度でシャッター速度を設定するAngle（角度）モードを選択する。 ECS（拡張クリアスキャンモード）：モニター画面を、水平方向の縞模様が出ないように撮影したい場合などに使用する。
	Shutter Speed 1/32, 1/33, 1/40, 1/48, 1/50, 1/60, 1/96, 1/100 , 1/120, 1/125, 1/250, 1/500, 1/1000, 1/2000	Speed モード選択時、シャッタースピードを設定する。設定値は、選択されているビデオフォーマットのフレーム周波数によって異なる。
	Shutter Angle 11.25° / 22.5° / 45° / 72° / 86.4° / 90° / 144° / 150° / 172.8° / 180° / 216°	Angleモード選択時、開角度を設定する。S&Qモードでフレームレートが1~16に設定されているときは、72°、86.4°、144°、150°、172.8°、216°は選択できない。
	ECS Frequency 60.00	ECS モード選択時、ECS周波数を設定する。設定値は、選択されているビデオフォーマットのフレーム周波数によって異なる。
SLS/EX SLS スローシャッターモード/超高感度スローライドの設定	OFF / 2 / 3 / 4 / 5 / 6 / 7 / 8 / 16 / 32 / 64	蓄積フレーム数を設定する。

ご注意

- 記録中、サムネイル画面表示中、再生中は設定できません。
- スロー＆クイックモーションモード、キャッシュレックモードのときは設定できません。
- ビデオフォーマットがHQ 1280×720/23.98P（UDF）、SP 1440×1080/23.98P（FAT）のときは設定できません。

CAMERA SET		
メニュー項目	細目と設定値	内容
MF Assist	On / Off	Onにすると、手動でラフにフォーカス合わせをした後、最後に自動で正確にフォーカスを合わせ直す。
MFアシスト機能のON/OFF		
Color Bars カラーバーの設定	Camera/Bars Camera / Bars Bars Type Multi / 75% / 100% / SMPTE	カラーバーを出力するときはBarsを選択する。 Barsを選択したときに出力されるカラーバーの種類を選択する。 Multi : マルチフォーマットカラーバーを出力する。 75% : 75%カラーバーを出力する。 100% : 100%カラーバーを出力する。 SMPTE : SMPTEカラーバーを出力する。
Flicker Reduce フリッカー補正 機能の設定	Mode Auto / On / Off	フリッカー補正機能の動作を設定する。 On : 常に動作させる。 Auto : フリッカーを検出すると自動で動作する。 Off : 動作させない。
ご注意		
• 屋外など、フリッカーが発生しない照明下ではOffに設定することを推奨します。(このような環境ではAuto設定も有効ですが、正しい補正が行われない場合があります。)		
• 屋内など、フリッckerが発生する照明下ではAutoに設定することを推奨します。(フリッckerがある照明下で定点撮影する場合はOn設定も有効です。)		
Zoom Speed ズームスピード の設定	Frequency 50Hz / 60Hz High 1~99 (70) Low 1~99 (30)	フリッckerの原因となっている照明の電源周波数に合わせる。 ズームスピードスイッチをH側にしてハンドルZOOMボタンを押したときのズームスピードを設定する。 ズームスピードスイッチをL側にしてハンドルZOOMボタンを押したときのズームスピードを設定する。
ご注意		
ズームスピードが低速時はズーミングにむらが出ることがあります。		
Remote	1~99 (50)	赤外線リモコンのZOOMボタンを押したときのズームスピードを設定する。
ご注意		
赤外線リモコンの受光が正しくできないと、ズームがスムーズに動作しない場合があります。		
Zoom Transition ズーム動作の設定	Linear / Soft	ハンドルZOOMボタンを使用したズームの開始・終了時の動作モードを設定する。 Linear : ZOOMボタンを押すとすぐに設定速度でズームを開始し、ボタンを放すと同時に終了する。 Soft : ZOOMボタンを押すと徐々に設定値までズーム速度をあげ、ボタンを放すと徐々に速度を落としてズームを終了する。(ボタンを放してから動作終了まで最大1秒)

CAMERA SET		
メニュー項目	細目と設定値	内容
Interval Rec インターバルレック機能の設定	Setting On / Off Interval Time 1~10/15/20/30/40/50 sec 1~10/15/20/30/40/50 min 1~4/6/12/24 hour Number of Frames 1 / 3 / 6 / 9 または 2 / 6 / 12 (720/59.94P、 720/50Pのとき)	インターバルレック機能をON/OFFする。 インターバルレックによる録画間隔を設定する。
Frame Rec フレームレック機能の設定	Setting On / Off Number of Frames 1 / 3 / 6 / 9 または 2 / 6 / 12 (720/59.94P、 720/50Pのとき)	フレームレック機能をON/OFFする。 フレームレックでの1回の録画フレーム数を設定する。
Clip Cont. Rec クリップコンティニュアスレック機能の設定	Setting On / Off	クリップコンティニュアスレック機能をON/OFFする。
P.Cache Rec ピクチャーキャッシュレック機能の設定	Setting On / Off Rec Time 0-2sec / 2-4sec / 4-6sec / 6-8sec / 8-10sec / 13-15sec	ピクチャーキャッシュレック機能をON/OFFする。 ピクチャーキャッシュメモリーに画像を蓄積する時間 (ピクチャーキャッシュレック開始時にさかのばる時間) を設定する。
S&Q Motion スロー＆クイックモーション機能の設定	Setting On / Off Frame Rate 1~60 (FATモード時かつ 720p設定時。 UDFモード時 かつ720 59.94p/720 29.97p/720 23.98p設定時。) 1~50 (UDFモード時かつ 720 50p/720 25p設定時。) 1~30 (FATモード時かつ 1080p設定時。 UDFモード 時かつ1080 29.97p/1080 23.98p設定時。) 1~25 (UDFモード時かつ 1080 25p設定時。) (NTSC : 30, PAL : 25)	スロー＆クイックモーション機能をON/OFFする。 スロー＆クイックモーションモードでの撮影フレーム レートを設定する。 設定値の範囲は、選択されている 地域やビデオフォーマットによって異なる。
Rec Review レックレビューによる再生時間の設定	3 sec / 10 sec / Clip	レックレビューで直前に記録したクリップを再生する 時間を設定する。 3 sec: 最後の3秒 10 sec: 最後の10秒 Clip: クリップ全体

CAMERA SET		
メニュー項目	細目と設定値	内容
TLCS トータルレベル コントロール (ゲイン、アイリス、シャッターの自動調整) システムの設定	Level +1.0 / +0.5 / ±0 / -0.5 / -1.0	TLCS制御におけるオートアイリスの制御目標レベル(明るめ/暗め)を設定する(AGCにおけるゲインの制御、オートシャッターにおけるシャッタースピードの制御にも連動)。 +1.0: 1絞り相当開いた状態 +0.5: 0.5絞り相当開いた状態 ±0: 標準 -0.5: 0.5絞り相当閉じた状態 -1.0: 1絞り相当閉じた状態
Mode Backlight / Standard / Spotlight		TLCS制御におけるオートアイリスの制御モードを設定する。 Backlight: バックライトモード(中心となる被写体が逆光のとき、黒沈みを軽減するモード) Standard: 標準モード Spotlight: スポットライトモード(中心となる被写体にスポットライトがあたっているとき、白潰れを軽減するモード)
Speed -99~+99 (+50)		TLCS制御の追従スピードを設定する。
AGC On / Off		AGC(オートゲインコントロール)機能をON/OFFする。
AGC Limit 3 / 6 / 9 / 12 / 18 dB		AGC制御における最大ゲインを設定する。
AGC Point F1.8 / F2 / F2.8		AGC機能がOnのときのオートアイリス制御とAGC制御の切り替えアイリスピントを設定する。
Auto Shutter On / Off		オートシャッターコントロール機能をON/OFFする。
A.SHT Limit 1/250 1/500 1/1000 1/2000		オートシャッター制御における最速シャッタースピードを設定する。
A.SHT Point F2.8 / F3.4 / F4 / F5.6		オートシャッター機能がOnのときのオートアイリス制御とオートシャッター制御の切り替えアイリスピントを設定する。
Shockless White ショックレスホワイトバランスの設定	Off / 1 / 2 / 3	ホワイトバランスのモード切り換え時の変化のスピードを選択する。Offにすると瞬時に切り換わり、数字が大きいほど、ゆっくりとホワイトバランスを補間しながら切り換える。
White Switch WHITE BALスイッチの設定	ATW / MEM	WHITE BALスイッチをBに設定したときに選択されるホワイトバランス調整モードを選択する。
ATW Speed 自動追尾ホワイトバランスの設定	1 / 2 / 3 / 4 / 5	ATWの追従スピードを設定する。数字が大きいほど速くなる。

CAMERA SET		
メニュー項目	細目と設定値	内容
ATW Mode ATW動作の設定	Natural / Pure	Natural : シーンの明るさに応じて、自然な雰囲気になるように自動調整する。 Pure : 青みや赤みの色を残さずに、より原色に近づけるように自動調整する。
Wide Conversion ワイドコンバージョンレンズの設定	On / Off	ワイドコンバージョンレンズの装着(On)/非装着(Off)を設定する。
Steady Shot 手ぶれ補正機能の設定	On / Off	手ぶれ補正機能をON/OFFする。
Image Inversion 画像反転機能の設定	Normal / H INV / V INV / H+V	Normal: 通常 H INV: 水平方向の反転 V INV: 垂直方向の反転 H+V: 水平方向、垂直方向共反転
ご注意		
<ul style="list-style-type: none"> 記録中、カラーバー表示中、レックレビュー中は設定できません。 オートブラックバランス機能設定時は設定できません。 		
Macro Macro機能の設定	On / Off	Macro機能をON/OFFする。
Auto Black Bal. オートブラックバランスの設定	Execute / Cancel	オートブラックバランス機能をON/OFFする。
ご注意		
<ul style="list-style-type: none"> 記録中、カラーバー表示中は設定できません。 ピクチャーキャッシュレックモード、インターバルレックモード、フレームレックモード、スロー＆クイックモーションモード、スローシャッターモード、超高感度スローシャッターモードのときは設定できません。 		

AUDIO SETメニュー

AUDIO SET		
メニュー項目	細目と設定値	内容
Audio Input 音声の入力関係 の設定 	CH3 Input Source Internal / External	4チャンネル記録可能なフォーマットの場合に、CH3として記録する音声信号のソースを設定する。 Internal : 内蔵マイクのL側をCH3に記録する。 External : AUDIO IN CH1の信号をCH3に記録する。
	CH4 Input Source Internal / External	4チャンネル記録可能なフォーマットの場合に、CH4として記録する音声信号のソースを設定する。 Internal : 内蔵マイクのR側をCH4に記録する。 External : AUDIO IN CH2の信号をCH4に記録する。
EXT MIC CH1 Ref -70dB / -60dB / -50dB / -40dB / -30dB		AUDIO IN CH1端子に外部マイクを接続して、CH1またはCH3の音声信号ソースにしているときの基準入力レベルを選択する。AUDIO SELECTスイッチの設定に関わらず選択できる。
	ご注意	
		AUDIO IN CH-1スイッチがINTかつCH3 Input SourceがInternalの場合は選択できません。また、CH-1の入力切り換え（LINE/MIC/MIC+48V）スイッチがLINEの場合も選択できません。
EXT MIC CH2 Ref -70dB / -60dB / -50dB / -40dB / -30dB		AUDIO IN CH2端子に外部マイクを接続して、CH2またはCH4の音声信号ソースにしているときの基準入力レベルを選択する。AUDIO SELECTスイッチの設定に関わらず選択できる。
	ご注意	
		AUDIO IN CH-2スイッチがINTかつCH4 Input SourceがInternalの場合は選択できません。また、CH-2の入力切り換え（LINE/MIC/MIC+48V）スイッチがLINEの場合も選択できません。
INT MIC Level -12dB / -6dB / 0dB / +6dB / +12dB		内蔵マイクレベルを選択する。AUDIO SELECTスイッチの設定に関わらず選択できる。
Line Input Ref +4dB / 0dB / -3dB / EBUL		AUDIO IN CH-1/CH-2端子がLINEに設定されているときの基準入力レベルを選択する。
Reference Level -20dB / -18dB / -16dB / -12dB / EBUL		1kHzテスト信号の出力レベルを選択する。
Limiter Mode Off / -6dB / -9dB / -12dB / -15dB / -17dB		AUDIO SELECTスイッチをMANU（手動）に設定している場合に、大きな入力信号に対するリミッター特性を選択する。
AGC Spec -6dB / -9dB / -12dB / -15dB / -17dB		音声入力レベルのAGCの特性を選択する。
CH1&2 AGC Mode Mono / Stereo		CH-1、2に記録するアナログオーディオ信号の入力レベルの自動調整を選択する。 Mono : 各チャンネルで独立して行う。 Stereo : ステレオモードで行う。

AUDIO SET		
メニュー項目	細目と設定値	内容
	CH3&4 AGC Mode Mono / Stereo / Off	CH-3、4に記録するアナログオーディオ信号の入力レベルの自動調整を選択する。 Mono：各チャンネルで独立して行う。 Stereo：ステレオモードで行う。 Off：自動調整しない。Limiter Modeの設定が反映される。
	1KHz Tone On / Off	1KHzの基準音声信号をON/OFFする。
	Wind Filter CH-1 On / Off	CH1の風音低減フィルターをON/OFFする。
	Wind Filter CH-2 On / Off	CH2の風音低減フィルターをON/OFFする。
	Wind Filter CH-3 On / Off	CH3の風音低減フィルターをON/OFFする。
	Wind Filter CH-4 On / Off	CH4の風音低減フィルターをON/OFFする。
	EXT CH Select CH-1 CH-1/CH-2	CH-1 : CH1の外部入力信号を、CH1とCH2の両方に記録する (CH-2のAUDIO INスイッチがEXTの場合)。 CH4 Input SourceがExternalのときは、CH4にも記録する。 CH-1/CH-2 : それぞれ対応するチャンネルの外部入力信号を記録する。
Audio Output 音声の出力関係 の設定	Monitor CH CH-1/CH-2 (CH-3/CH-4) CH-1+CH-2 (CH-3+CH-4) CH-1 (CH-3) CH-2 (CH-4)	ヘッドホンおよびスピーカーに出力する音声チャンネルを選択する。 CH-1/CH-2 (CH-3/CH-4): ステレオ CH-1+CH-2 (CH-3+CH-4): ミックス CH-1 (CH-3): チャンネル1 (チャンネル3)のみ CH-2 (CH-4): チャンネル2 (チャンネル4)のみ ()は、Output CHでCH-3/CH-4を選択した場合
	Output CH CH-1/CH-2 CH-3/CH-4	音声出力をチャンネル1と2にするか、チャンネル3と4にするかを選択する。
	Alarm Level 0~7 (4)	アラーム音量を設定する。
	Beep On / Off	操作音を出す/出さないを選択する。

VIDEO SETメニュー

VIDEO SET		
メニュー項目	設定値	内容
Input Source Select 入力の選択	Camera / i.LINK	映像・音声信号の入力ソースを選択する。 Camera : カメラの撮影入力 i.LINK : i.LINK (HDV/DV) 端子からのHDV/DVCAM入力

ご注意

UDF/HDモードではi.LINKを選択できません。

VIDEO SET		
メニュー項目	設定値	内容
SDI/HDMI/ i.LINK I/O Select 各端子の入出力 信号の選択	UDF/HDモードのとき HD SDI & HD HDMI SD SDI & SD HDMI i SD HDMI P Off FAT/HDモード (HQ) のとき HD SDI & HD HDMI SD SDI & SD HDMI i SD HDMI i & DVCAM SD HDMI P Off FAT/HDモード (SP) のとき HD SDI & HD HDMI SD SDI & SD HDMI i HD HDMI & HDV SD HDMI i & HDV SD HDMI P & HDV SD HDMI i & DVCAM Off UDF/SDモードのとき SD SDI & SD HDMI i SD HDMI i & DVCAM Off FAT/SDモードのとき SD SDI & SD HDMI i SD HDMI i & DVCAM Off	HD SDI & HD HDMI : SDI OUT端子からHD SDI信号、 HDMI OUT端子からHD HDMI信号を出力する。 SD SDI & SD HDMI i : SDI OUT端子からSD SDI信号、 HDMI OUT端子からSD HDMIインターレース信号 を出力する。 HD HDMI & HDV : HDMI OUT端子からHD HDMI信号 を出力し、i.LINK (HDV/DV) 端子でHDVスト リームを入出力する。 SD HDMI i & HDV : HDMI OUT端子からSD HDMIイン ターレース信号を出力、i.LINK (HDV/DV) 端子 でHDVストリームを入出力する。 SD HDMI P & HDV : HDMI OUT端子からSD HDMIブ ログレッシブ信号を出力、i.LINK (HDV/DV) 端 子でHDVストリームを入出力する。 SD HDMI i & DVCAM : HDMI OUT端子からSD HDMI インターレース信号を出力し、i.LINK (HDV/DV) 端子でDVCAMストリームを入出力する。 SD HDMI P : HDMI OUT端子からSD HDMIプログレッ シブ信号を出力する。 Off : SDI/HDMI/i.LINKの各端子からは出力されない。
	ご注意	
	<ul style="list-style-type: none"> • HD SDI、SD SDI以外に設定したときは、SDI OUT 端子からは信号が出力されません。 • DVCAMストリームを入出力する設定では、スロー& クイックモーションモードは使用できません。 	
SDI/HDMI/ Video Out Super 各出力への文字 情報の設定	On / Off	SDI OUT端子、HDMI OUT端子、VIDEO OUT端子、A/ V OUT端子からの出力信号に、LCDモニター/EVF画面 に表示されるメニューやステータスを加えるかどうか を選択する。
	ご注意	
	この項目の設定にかかわらず、サムネイル画面、ク リップエクスパンド画面、ショットマーク画面では、 常にLCDモニター/EVF画面に表示されるメニューやス テータスを加えて表示します。	
Down Converter ダウコンバー タの動作モー ドの選択	Squeeze / Letterbox / Edge Crop	SD信号の出力モード (アスペクト) を設定する。 Squeeze : 16:9画像を左右方向に縮小して4:3画像とし て出力する。 Letterbox : 4:3画像の上下をマスクして、画面中央に 16:9映像を表示する。 Edge Crop : 16:9画像の両端をカットして4:3画像とし て出力する。
23.98P Output 23.98P出力の設 定	59.94i (2-3 Pull Down) / 23.98PsF	ビデオフォーマットが、UDF/HDモードではHD422 50/1080/23.98P、HQ 1920×1080/23.98P、HD422 50/720/23.98P、HQ 1280×720/23.98Pのとき、FAT/ HDモードではHQ 1920×1080/23.98P、HQ 1440× 1080/23.98Pのときの出力フォーマットを選択する。

VIDEO SET		
メニュー項目	設定値	内容
SDI Rec	Off / HD SDI Remote I/F / Parallel Rec	本機と同期した記録を可能にする機能を設定する。
Control		HD SDI Remote I/F : SDI OUT端子に接続したレコーダーにRECトリガー信号を出力する。
同期記録の設定		Parallel Rec : 本機と同期した記録制御を行う。
Match Clip Name	On / Off	SIDI出力にクリップ名を重畠して出力するかどうかを設定する。

LCD/VF SETメニュー

LCD/VF SET		
メニュー項目	細目と設定値	内容
LCD	Color -99～+99 (±0)	LCD映像の色の濃さを調整する。
LCDモニターに関する設定	Contrast -99～+99 (±0)	LCD映像のコントラスト(明暗の差)を調整する。
	Brightness -99～+99 (±0)	LCD映像の明るさを調整する。
EVF	Backlight High / Low	EVFのバックライトの明るさを選択する。
ビューファインダーに関する設定	Mode Color / B&W	撮影中(記録中/記録待機中)のEVFの表示モードを選択する。 Color: カラーモード B&W: モノクロモード
	Contrast -99～+99 (±0)	EVF映像のコントラスト(明暗の差)を調整する。
	Brightness -99～+99 (+30)	EVF映像の明るさを調整する。
	Power Auto / On	EVFをONにする条件を設定する。 Auto: LCDモニターを閉じたときと開いて反転させたときにONにする。 On: LCDモニターの開閉にかかわらずONにする。
Peaking	Setting On / Off	ピーキング機能をON/OFFする。
LCDモニター、EVFのピーキング(輪郭強調)に関する設定	Color White / Red / Yellow / Blue	ピーキング信号の色を選択する。 White: 白 Red: 赤 Yellow: 黄色 Blue: 青
[M]	Level High / Mid / Low	ピーキング信号の大きさを設定する。

LCD/VF SET	メニュー項目	細目と設定値	内容
LCDモニター、EVF映像に附加するマーカー類の設定	Marker	Setting On / Off	すべてのマーカー表示をまとめてON/OFFする。
		Safety Zone On / Off	セーフティゾーンマーカーをON/OFFする。
		Safety Area 80% / 90% / 92.5% / 95%	セーフティゾーンマーカーの大きさ（画面全体に対する比率）を選択する。
		Center Marker On / Off	センターマーカーをON/OFFする。
		Aspect Marker Line / Mask / Off	アスペクトマーカーを選択する。 Line: 白線で表示する。 Mask: マーカー範囲外のビデオ信号レベルを下げて表示する。 Off: 表示しない。
	ご注意		
	SDモードでEC（エッジクロップ）のビデオフォーマットが選択されているときは、アスペクトマーカーは表示されません。		
ゼブラパターンに関する設定	Aspect Select	4:3 / 13:9 / 14:9 / 15:9 / 1.66:1 / 1.85:1 / 2.35:1 / 2.4:1	アスペクトマーカーの比を選択する。
		Aspect Mask 90% / 80% / 70% / 60% / 50% / 40% / 30% / 20% / 10% / 0%	Aspect MarkerがMaskのとき、アスペクトマーカーの外側の映像の明るさを選択する。
		Guide Frame On / Off	ガイドフレームマーカーをON/OFFする。
		Setting On / Off	ゼブラ機能をON/OFFする。
		Zebra Select 1 / 2 / Both	ゼブラパターン表示を選択する。 1: Zebra1 Levelで設定した映像レベルを中心に±10% のエリアに対してゼブラ1（初期値70%）のみを表示する。 2: 100%以上の映像レベルに対してゼブラ2（初期値100%）のみを表示する。 Both: ゼブラ1、ゼブラ2共に表示する。
LCDモニター/EVF画面に表示する項目の選択	Zebra1 Level 50~107 (70)	ゼブラパターン1の表示レベルを設定する。	
		Video Level Warnings On / Off	映像が明るすぎるときや暗すぎるときの警告表示をON/OFFする。
		Sending Clip Info On / Off	ワイヤレスアダプター CBK-WA100接続時、クリップの転送状態を表示する。
		Brightness Display On / Off	映像の明るさを表す数値表示をON/OFFする。
		Histogram Display On / Off	映像のレベル分布を示すヒストグラム表示をON/OFFする。

LCD/VF SET	メニュー項目	細目と設定値	内容
	Lens Info	Meter / Feet / Off	被写界深度表示を選択する。 Meter: メートルで表示する。 Feet: フィートで表示する。 Off: 表示しない。
	Zoom Position	Number / Bar / Off	レンズのズームのポジション表示を選択する。 Number: 数値で表示する。 Bar: バーで表示する。 Off: 表示しない。
	Audio Level Meter	On / Off	オーディオレベルメーター表示をON/OFFする。
	Timecode	On / Off	タイムデータ（タイムコード、ユーザービット、デュレーション）表示をON/OFFする。
	Battery Remain	On / Off	バッテリー残量/DC入力電圧表示をON/OFFする。
	Media Remain	On / Off	メディア残量表示をON/OFFする。
	TLCS Mode	On / Off	TLCS動作モード表示をON/OFFする。
	Steady Shot	On / Off	手ぶれ補正モード表示をON/OFFする。
	Focus Mode	On / Off	フォーカス動作モード表示をON/OFFする。
	White Balance Mode	On / Off	ホワイトバランスモード表示をON/OFFする。
	Picture Profile	On / Off	ピクチャープロファイル表示をON/OFFする。
	Filter Position	On / Off	NDフィルター設定表示をON/OFFする。
	Iris Position	On / Off	アイリス（レンズ絞り）位置表示をON/OFFする。
	Gain Setting	On / Off	ゲイン設定表示をON/OFFする。
	Shutter Setting	On / Off	シャッターモードとスピード表示をON/OFFする。
	Rec Mode	On / Off	特殊録画モード（Frame Rec、Interval Rec、S&Q Motion）の状態表示をON/OFFする。
	Video Format	On / Off	ビデオフォーマット表示をON/OFFする。
	Clip Name	On / Off	クリップ名表示をON/OFFする。
	ClipNumber (PB)	On / Off	クリップ名に付加される番号表示をON/OFFする。
	Macro	On / Off	Macroモード表示をON/OFFする。
	SDI Rec Control	On / Off	同期記録表示（Rec2表示）をON/OFFする。
	Wide Conversion	On / Off	ワイドコンバージョンレンズ設定表示をON/OFFする。
	Wireless Status	On / Off	ワイヤレスアダプター CBK-WA100（別売り）の電波状態表示をON/OFFする。

LCD/VF SET		
メニュー項目	細目と設定値	内容
	Ext Media Remain On / Off	ワイヤレスアダプター CBK-WA100（別売り）メディア残量表示をON/OFFする。

TC/UB SETメニュー

TC/UB SET		
メニュー項目	細目と設定値	内容
Timecode タイムコードに関する設定	Mode Preset / Regen / Clock	<p>タイムコードの歩進モードを設定する。</p> <p>Preset（プリセットモード）：設定された状態から歩進する。</p> <p>Regen（リジェネモード）：タイムコードは記録時に歩進する。SxSメモリーカードを入れ換えた場合、そのカードに記録されている最後のタイムコードを読み出して、タイムコードが連続するようにタイムコードを設定して記録する。</p> <p>Clock（クロックモード）：現在時刻をタイムコードとして使用する。</p>
Run	Rec Run / Free Run	<p>タイムコードの歩進モードがプリセットのとき、歩進方法を設定する。</p> <p>Rec Run：タイムコードは記録時に歩進する。SxSメモリーカードを入れ換えない限り、タイムコードは記録されたクリップの順で連続する。SxSメモリーカードを取り出して別のカードで記録を行うと、再び元のカードを入れてもタイムコードは連続しない。</p> <p>Free Run：SxSメモリーカードへの記録状態に関係なく常に歩進する。</p>
Setting		タイムコードを任意の値に設定する。
Reset Execute/Cancel		Executeを選択するとタイムコードを00:00:00:00にリセットする。
TC Out Auto / Generator		<p>タイムコード出力を選択する。</p> <p>Auto：記録時はタイムコードジェネレーターの値、再生時はタイムコードリーダーの値を出力する。</p> <p>Generator：記録時、再生時ともタイムコードジェネレーターの値を出力する。</p>

TC/UB SET		
メニュー項目	細目と設定値	内容
Users Bit ユーザー ビット に関する設定	Mode Fix / Date	ユーザー ビットのモードを設定する。 Fix : ユーザービットに任意の固定値を使用する。 Date : ユーザービットに現在年月日を使用する。
	Setting	ユーザー ビットを任意の値に設定する。
TC Format タイムコードの フォーマットの 設定	DF / NDF	タイムコードのフォーマットを設定する。 DF: ドロップフレーム NDF: ノンドロップフレーム
		ご注意 選択されているビデオフォーマットやフレーム周波数 によっては、TC Formatの設定にかかわらず、下記の とおりDF/NDFのいずれかに固定されます。
フォーマット設定	フレーム 設定	TC Format
59.94i	00~29	DF/NDF切り換え可 (Clockモード時は DF固定)
59.94P		
29.97P		
23.98P ¹⁾		
SP 1440×		
1080/23.98P		
HQ 1280×		
720/23.98P		
23.98P	00~23 ²⁾	NDF固定 ³⁾
HQ 1920×		
1080/23.98P		
HQ1440×		
1080/23.98P		
HQ 1280×		
720/23.98P		
HD422 50/		
1080/23.98P		
HD422 50/		
720/23.98P		
50i	00~24	NDF固定
50P		
25P		

1) DFのときは、フレームの桁は00~29の間で自由に設定可能です。

NDFのときは、記録開始のフレームは00、05、10、15、20、25に限定されます。

2) Settingの際にフレームの桁は、00、04、08、12、16、20に限定されます。

記録開始のフレームは00、04、08、12、16、20に限定されます。

HQ 1920×1080/23.98Pで撮影中（記録中/記録待機中）で、VIDEO SETメニューの23.98P Output (91ページ) が23.98PsFの場合を除き、2-3ブレダウンされた59.94iとなるため、SDI OUT端子からの出力に重畳するタイムコードのフレームは00~29に振り直されます。

3) TC ModeがClockのときも、NDFでカウントするため徐々に実時刻からタイムコードがずれます。

HQ 1920×1080/23.98Pで撮影中（記録中/記録待機中）で、VIDEO SETメニューの23.98P Output (91ページ) が23.98PsFの場合を除き、SDI OUT端子からの出力は2-3ブレダウンされた映像になるため、画面に表示されるタイムコードが重複するフィールドが発生します。

OTHERSメニュー

OTHERS		
メニュー項目	細目と設定値	内容
All Reset 工場出荷状態へのリセット	Execute/Cancel	Executeを選択するとリセットを実行する。
Camera Data 全メニュー設定 値のSxSメモリーカードまたはUSBメモリーへの保存と呼び出し	Store Execute/Cancel	Executeを選択するとSxSメモリーカードへ保存を実行し、セットアップファイルを下記のディレクトリに保存する。 UDFの場合 : /General/Sony/PRO/CAMERA/XDCAM/ PMW_160/ FATの場合 : /SONY/PRO/CAMERA/XDCAM_EX/ PMW_160/
	Recall Execute/Cancel	Executeを選択するとSxSメモリーカードから呼び出しを実行する。
	All Save(USB) Execute/Cancel	Executeを選択するとUSBメモリーへ保存を実行し、セットアップファイルを下記のディレクトリに保存する。 /MSSONY/SONY/PRO/CAMERA/XDCAM/PMW_160/
	All Load(USB) Execute/Cancel	Executeを選択するとUSBメモリーから呼び出しを実行する。
Time Zone 時差の設定	UTC -12:00 ~ +13:30	UTCからの時差を30分単位で設定する。
Clock Set 内蔵時計に関する設定	Date/Time 12H/24H 12H / 24H	現在日時を設定する。 時刻の表示形式を選択する。 12H: 12時間表示 24H: 24時間表示
	Date Mode YYMMDD / MMDDYY / DDMMYY	年月日の表示方式を選択する。 YYMMDD: 年月日の順 MMDDYY: 月日の順 DDMMYY: 日年の順
Language メニューとメッセージ表示言語の切り換え	English / Japanese / Chinese	English: 英語表示 Japanese: 日本語表示 Chinese: 中国語表示
ご注意		
日本語表示は警告や注意メッセージのみです。 メニューとステータス表示の言語は切り換わりません。		

OTHERS

メニュー項目	細目と設定値	内容
Assign Button アサインブルボ タンへの機能割 り当て設定	<1>～<5> Off / Zebra / Peaking / Marker / Last Clip DEL / ATW / ATW Hold / Rec Review / Rec / Picture Cache / Freeze Mix / Expanded Focus / Spotlight / Backlight / IR Remote / Shot Mark1 / Shot Mark2 / VF Mode / BRT Disp / Histogram / Lens Info / OK Mark / Clip Flag OK / Clip Flag NG / Clip Flag Keep / Clip Continuous Rec / LCD/ VF Adjust / Color Bars / Macro / One Push Auto Iris / Steady Shot <1> Zebra <2> Peaking <3> Off <4> Off <5> Off	ASSIGNボタン1/2/3/4/5に機能を割り当てる（選択で きる機能は共通）。 Off : 無効 Zebra : ゼブラ機能のON/OFF切り換え Peaking : ピーキング機能のON/OFF切り換え Marker : セーフティーゾーン、センターマーカー、ア スベクトマーク、ガイドフレーム機能をまとめて ON/OFF切り換え Last Clip DEL : ラストクリップディリート（リテイク） 機能の実行 ATW : ATW機能のON/OFF切り換え ATW Hold : ATW Hold機能のON/OFF切り換え Rec Review : レックレビュー機能の実行 Rec : 録画スタート/ストップの実行 Picture Cache : ピクチャーキャッシュ機能の ON/OFF切り換え Freeze Mix : フリーズミックス機能の実行 Expanded Focus : 拡大フォーカス機能のON/OFF切り換え Spotlight : TLCsモードのスポットライト補正モードへ の切り換えと解除 Backlight : TLCsモードのバックライト補正モードへ の切り換えと解除 IR Remote : 赤外線リモコンの有効/無効の切り換え Shot Mark1 : ショットマーク1の付加（HDモードのみ） Shot Mark2 : ショットマーク2の付加（HDモードのみ） VF Mode : EVF画面のカラー/モノクロ切り換え BRT Disp : 輝度レベル表示機能のON/OFF切り換え Histogram : ヒストグラム表示機能のON/OFF切り換え Lens Info : 被写界深度表示のOff/Meter/Feet切り換え OK Mark : OKマークの付加、削除の実行（HDモード のみ、サムネイル画面では不可） Clip Flag OK : 記録中または再生中のクリップにOKフ ラグを設定、解除（UDFのみ） Clip Flag NG : 記録中または再生中のクリップにNGフ ラグを設定、解除（UDFのみ） Clip Flag Keep : 記録中または再生中のクリップに Keepフラグを設定、解除（UDFのみ） Clip Continuous Rec : クリップ kontinuasレッ ク機能のON/OFF切り換え LCD/VF Adjust : LCD/VF Adjust機能のレベルバー表示 切り換え（LCDのブライトネス調整用→LCDのコン トラスト調整用→VFのブライトネス調整用→VFの コントラスト調整用→Off） Color Bars : カラーバー/カメラ信号の切り換え Macro : マクロ機能のON/OFF切り換え One Push Auto Iris : ワンプッシュアイリス機能の実行 Steady Shot : 手ぶれ補正機能のON/OFF切り換え

OTHERS		
メニュー項目	細目と設定値	内容
Tally タリーに関する設定	Front High / Low / Off	タリーランプの明るさを設定する。 High: 明るく点灯 Low: 暗く点灯 Off: 点灯しない
Hours Meter 積算時間計の表示	Hours (Sys) Hours (Reset) Reset Execute/Cancel	積算使用時間を表示する (リセット不可)。 積算使用時間を表示する (リセット可)。 Executeを選択するとHours (Reset)表示を0にリセットする。
IR Remote リモコンのON/OFF	On / Off	付属の赤外線リモコンを使用するときOnにする。 ご注意 本体の電源を切ると自動的にOffに戻ります。
Battery Alarm 電圧低下警告の設定	Low BATT 5% / 10% / 15% / ... / 45% / 50% BATT Empty 3% ~7% (3%) DC Low Volt1 11.5 V ~ 17.0 V (11.5 V) DC Low Volt2 11.0 V ~ 14.0 V (11.0 V)	バッテリー電圧低下警告を表示する残量を設定する (5%刻み)。 バッテリー切れ警告を表示する残量を設定する。 DC INへの入力電圧の低下警告を表示する電圧を設定する。 DC INへの入力電圧の不足警告を表示する電圧を設定する。
Battery INFO バッテリーパックに関する情報の表示(表示のみ)	Type MFG Date Charge Count Capacity Voltage Remaining	タイプ(製品名)を表示する。 製造年月日を表示する。 累積充放電回数を表示する。 満充電時の推定全容量を表示する。 現在の出力電圧を表示する。 現在の残容量を表示する。
Genlock ゲンロックの設定	H Phase (HD) -999~+999 (±0) H Phase (SD) -99~+99 (±0)	ゲンロック時のHD信号のH位相(水平同期信号の位相)を設定する。 ゲンロック時のSD信号のH位相(水平同期信号の位相)を設定する。
Direct Menu ダイレクトメニュー機能の設定	All / Part / Off	All: ダイレクトメニューがすべて可能 Part: 一部の機能に関してのみダイレクトメニュー操作が可能 (GAIN、SHUTTER、WHITE BALスイッチの設定によって操作が制限される)。 Off: ダイレクトメニュー操作は不可
Trigger Mode iLINK端子に接続した外部記録機器に対する操作の設定 (FATのみ) [M]	Internal / Both / External	Internal: 録画開始/停止の操作を内蔵スロットのSxSメモリーカードに対してのみ行う。 Both: 録画開始/停止の操作を内蔵スロットのSxSメモリーカードとiLINK端子に接続した外部記録機器の両方に対して行う。 External: 録画開始/停止の操作をiLINK端子に接続した外部記録機器に対してのみ行う。

OTHERS			
メニュー項目	細目と設定値	内容	
System	Country NTSC Area / NTSC(J) Area / PAL Area	使用する地域とセットアップのON/OFFを選択する。 NTSC Area : セットアップON NTSC(J) Area : セットアップOFF PAL Area : セットアップOFF	
	UDF/FAT UDF / FAT	ファイルシステムUDF/FATを切り換える。	
HD/SD	HD / SD	HDモード/SDモードを切り換える。	
Format		ビデオフォーマットを設定する。	
	• UDF/HDモード CountryがNTSC AreaまたはNTSC (J) Areaのとき HD422 50/1080/59.94i HD422 50/1080/29.97P HD422 50/1080/23.98P HD422 50/720/59.94P HD422 50/720/29.97P HD422 50/720/23.98P HQ 1920x1080/59.94i HQ 1920x1080/29.97P HQ 1920x1080/23.98P HQ 1440x1080/59.94i HQ 1440x1080/29.97P HQ 1440x1080/23.98P HQ 1280x720/59.94P HQ 1280x720/23.98P CountryがPAL Areaのとき HD422 50/1080/50i HD422 50/1080/25P HD422 50/720/50P HD422 50/720/25P HQ 1920x1080/50i HQ 1920x1080/25P HQ 1440x1080/50i HQ 1440x1080/25P HQ 1280x720/50P • UDF/SDモード CountryがNTSC AreaまたはNTSC (J) Areaのとき DVCAM59.94i SQ DVCAM59.94i EC DVCAM29.97P SQ DVCAM29.97P EC CountryがPAL Areaのとき DVCAM50i SQ DVCAM50i EC DVCAM25P SQ DVCAM25P EC	• FAT/HDモード CountryがNTSC AreaまたはNTSC (J) Areaのとき HQ 1920x1080/59.94i HQ 1440x1080/59.94i SP 1440x1080/59.94i HQ 1920x1080/29.97P HQ 1440x1080/29.97P HQ 1920x1080/23.98P HQ 1440x1080/23.98P SP 1440x1080/23.98P HQ 1280x720/59.94P HQ 1280x720/29.97P HQ 1280x720/23.98P CountryがPAL Areaのとき HQ 1920x1080/50i HQ 1440x1080/50i SP 1440x1080/50i HQ 1920x1080/25P HQ 1440x1080/25P HQ 1280x720/50P HQ 1280x720/25P • FAT/SDモード CountryがNTSC AreaまたはNTSC (J) Areaのとき DVCAM59.94i SQ DVCAM59.94i EC DVCAM29.97P SQ DVCAM29.97P EC CountryがPAL Areaのとき DVCAM50i SQ DVCAM50i EC DVCAM25P SQ DVCAM25P EC	HDモード • ビットレート UDF : HD422 50またはHD420 HQ FAT : HQまたはSP • 水平画素数 1920、1440、1280のいずれか • フレームレート 23.98、25、29.97、50、59.94のいずれか • スキャン方式 i (インターレース)またはP (プログレッシブ) SDモード • フレームレート 25、29.97、50、59.94のいずれか • スキャン方式 i (インターレース)またはP (プログレッシブ) • アスペクト SQ (スクイーズ)またはEC (エッジクロップ)

OTHERS	メニュー項目	細目と設定値	内容
	Clip クリップの名称 や削除に関する 設定	Auto Naming C**** / Title / Plan	クリップ名の設定方法を選択する。 C**** : (UDFのみ) Title: Title Prefixで任意に設定する。 Plan: プランニングメタデータで設定したクリップ名がある場合はその名称にする。ない場合はTitle Prefixで設定した名称にする。
	Title Prefix nnn_ (nnnはシリアルNo. 下3桁) (最大7文字表示)		クリップ名のタイトル部分(4~46文字)を設定する Character Set画面を呼び出す。 Character Set画面の構成 文字選択エリア(3行): Title Prefixエリアのカーソル位置に挿入する文字を選択する。 !#\$%()+-.;=@[]^_~0123456789 abcdefghijklmnopqrstuvwxyz ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ カーソル操作エリア(1行): Space: カーソル位置の文字をスペースに変更する。 INS: カーソル位置にスペースを挿入する。 DEL: カーソル位置の文字を削除する。 ←: カーソルを左に移動する。 →: カーソルを右に移動する。 ESC: 変更をキャンセルしてCharacter Set画面を閉じる。 END: 変更を実行してCharacter Set画面を閉じる。 Title Prefixエリア(1行): タイトルを入力するエリア。
	タイトルを設定するには		<p>1 上/下/左/右ボタンを使って、文字選択エリアからTitle Prefixエリアのカーソル位置に入れる文字を選択(ハイライト表示)し、SEL/SETボタンまたはジョグダイヤルを押す。(選択した文字が入り、カーソルが右に移動する。)</p> <p>2 手順1を繰り返し、タイトルを設定する。(必要に応じて、Space、INS、DELを使用する。)</p> <p>3 タイトル名の設定が終わったら、ENDを選択してCharacter Set画面を閉じる。</p>
	Number Set 0001~9999		クリップ名の最後の番号部分(4桁)を設定する。 プランニングメタデータを使用する場合は、5桁になります。
	Update Media(A) / Media(B)		選択したスロットのSxSメモリーカード内の管理ファイルを更新する。 ¹⁾
	Last Clip DEL Execute/Cancel		Executeを選択すると最後に記録したクリップを削除する。
	All Clips DEL Execute/Cancel		Executeを選択するとSxSメモリーカード内のすべてのクリップを削除する。
	ご注意		
	OKマークが付加されたクリップや、ロックされたクリップは削除できません。		

OTHERS		
メニュー項目	細目と設定値	内容
	Filter Clips OK / NG / KP / None	クリップを表示するときのフィルターを、OK (OKフラグ)、NG (NGフラグ)、KP (Keepフラグ)、None (フラグなし) から選択する。(UDFのみ)
	Lock All Clips Execute/Cancel	Executeを選択するとすべてのクリップを保護する。(UDFのみ)
	Unlock All Clips Execute/Cancel	Executeを選択するとすべてのクリップの保護を解除する。(UDFのみ)
	Index Picture Pos 0sec ~ 10sec (0sec)	クリップをサムネイル表示するときの画像を設定する。先頭からの時間を選択する。
	Find Mode Clip / Rec Start	PREVボタン/NEXTボタンを押したときの動作を設定する。(UDFのみ) Clip : 現在のクリップ/次のクリップの先頭に移動する(クリップの先頭でPREVボタンを押したときはひとつ前のクリップの先頭に移動する)。 Rec Start : ひとつ前のRec Start Essence Mark /次のRec Start Essence Markに移動する。
Copy All²⁾ クリップや Generalフォルダのファイルの一括コピーに関する設定	Clips	SxSメモリーカード内のすべてのクリップをコピーする。
	General Files	SxSメモリーカード内のGeneralフォルダにあるすべてのファイルをコピーする。
	Clips&General	SxSメモリーカード内のすべてのクリップとGeneralフォルダにあるすべてのファイルをコピーする。
Format Media SxSメモリーカードの初期化	Media(A) Execute/Cancel	Executeを選択すると、設定されているファイルシステム (UDF/FAT) に従ってスロットAのSxSメモリーカードを初期化する。
	Media(B) Execute/Cancel	Executeを選択すると、設定されているファイルシステム (UDF/FAT) に従ってスロットBのSxSメモリーカードBを初期化する。

OTHERS	メニュー項目	細目と設定値	内容
Plan.Metadata プランニングメタデータの操作に関する設定	Load / Slot(A) または Load / Slot(B) Execute/Cancel	スロットAまたはBのSxSメモリーカードからプランニングメタデータを読み込む。 Executeを選択するとスロットAまたはBのSxSメモリーカードに保存されているプランニングメタデータのファイルリストが表示される。ファイルを選択し、Load → Executeで読み込み実行。	
			<p>ご注意</p> <ul style="list-style-type: none"> ファイルリストには、ファイルは64個まで表示されます。プランニングメタデータファイルの総数が64個以下であっても、SxSメモリーカード内のプランニングメタデータファイルと同じディレクトリー(General/Sony/Planning)に512個以上のファイルがあると、すべてのプランニングメタデータファイルが表示されないことがあります。 読み込みを開始した後は、完了メッセージが表示されるまで、SxSメモリーカードを抜かないでください。
	Load/USB Execute/Cancel	外部機器接続端子に接続したUSBメモリーからプランニングメタデータをロードする。(UDFのみ) 「Execute」を選択すると、USBメモリーに保存されているプランニングメタデータのファイルリストが表示され、ファイルを選択してロードを実行する。	
	Properties Execute/Cancel	Executeを選択すると本機のメモリーに読み込まれているプランニングメタデータの内容を表示する。 File Name : ファイル名 Assign ID : アサインID Created : ファイルの生成日時 Modified : ファイルの最終更新日時 Modified by : ファイルの更新者 Title1 : ファイルで指定されたTitle1の内容（ASCII形式のクリップ名） Title2 : ファイルで指定されたTitle2の内容（UTF-8形式のクリップ名） Material Gp : マテリアルグループ（同じプランニングメタデータを使用して収録したクリップ群）の数 Shot Mark1 : ショットマーク1の名前 Shot Mark2 : ショットマーク2の名前 プランニングメタデータ詳細情報画面でFile NameまたはAssign ID、Title1、Title2を選択し、SEL/SETボタンまたはジョグダイヤルを押すと、選択した項目が全画面表示され、長いファイル名やクリップ名も全体を表示することができます。	
			<p>ご注意</p> <p>Shot Mark1またはShot Mark2を選んでも、ショットマーク名の全画面表示はできません。</p>
	Clear Execute/Cancel	Executeを選択すると本機のメモリーに読み込まれているプランニングメタデータの内容を消去する。	

OTHERS		
メニュー項目	細目と設定値	内容
	Clip Name Disp Title1 (ASCII) / Title2 (UTF-8)	プランニングメタデータでクリップ名を設定する場合の表示形式を設定する。 ご注意 プランニングメタデータでクリップ名を設定するときに、ASCII形式の名称とUTF-8形式の名称が両方とも定義されている場合はUTF-8形式の名称がクリップ名となります。プランニングメタデータで、ASCII形式の名称またはUTF-8形式の名称のどちらか一方しか定義していない場合は、メニューの設定にかかわらず定義されているクリップ名が表示されます。
Network ネットワークの設定	DHCP Enable / Disable	DHCPサーバーからIPアドレスを自動取得するか(Enable)しないか(Disable)を選択する。
	IP Address 0.0.0~255.255.255.255 (192.168.1.10)	DHCPがDisableの場合に、IPアドレスを設定する。
	Subnet Mask 0.0.0~255.255.255.255 (255.255.255.0)	DHCPがDisableの場合に、サブネットマスクを設定する。
	Default Gateway 0.0.0~255.255.255.255 (0.0.0)	DHCPがDisableの場合に、デフォルトゲートウェイを設定する
	User Name (admin)	任意のユーザー名を設定する(英数字で1~31文字)。
	Password (pmw-160)	パスワードを設定する(英数字で0~31文字)。 ご注意 パスワードは“*”で表示されます。
	Set Execute/Cancel	ネットワーク設定を確定する。(Executeで実行)
	MAC Address	MACアドレスを表示する。
	Net Config Reset Execute/Cancel	ネットワーク設定を初期値に戻す。(Executeで実行)

OTHERS		
メニュー項目	細目と設定値	内容
Wi-Fi Wi-Fi接続に関する設定	Scan Networks Execute/Cancel	Wi-FiがEnableのときに、接続先を自動検出する。
	SSID (SSID名表示) Reset	ネットワーク名を初期値にリセットする。
ご注意		
Wi-Fiアダプター CBK-WA01または はUSB無線LAN モジュールIFU- WLM3が必要で す。 ワイヤレスアダ プターCBK- WA100使用時 は、このメ ニューは使用し ません。	Network Type Infra / Adhoc	接続モードを選択する。 Infra : インフラストラクチャモード Adhoc : アドホックモード
	Ch 1~11	ご注意 IFU-WLM3使用時は、初期設定値がInfraとなります。
	Authentication	ネットワーク認証方法を選択する。 Open : オープンシステム認証 Shared : 共有キー認証 WPA : WPA (Wi-Fi Protected Access) 認証 WPA2 : WPA2 (Wi-Fi Protected Access2) 認証
	Network TypeがAdhocのとき Open / Shared	
	Encryption	データの暗号化方式を選択する。 Disable : 暗号化しない WEP : WEP (Wired Equivalent Privacy) 方式で暗号化 TKIP : TKIP (Temporal Key Integrity Protocol) 方式で暗号化 AES : AES (Advanced Encryption Standard) 方式で暗号化
	AuthenticationがOpenまたは Sharedのとき Disable / WEP	
	AuthenticationがWPAまたは WPA2のとき Disable / TKIP / AES	
	WEP Key Index 1 / 2 / 3 / 4	EncryptionがWEPのときに、キーのインデックスを選択する。
	Input Select	ネットワークキー（またはセキュリティキー）に応じて入力形式を選択する。 ASCII5 : ASCII形式で5文字 ASCII13 : ASCII形式で13文字 HEX10 : 16進数形式で10桁（文字） HEX26 : 16進数形式で26桁（文字） ASCII8-63 : ASCII8ビット形式で8~63文字 HEX64 : 16進数形式で64桁（文字）
	EncryptionがWEPのとき ASCII5 / ASCII13 / HEX10 / HEX26	
	EncryptionがTKIPまたはAES のとき ASCII8-63 / HEX64	
	Key (ネットワークキー)	ネットワークキー（またはセキュリティキー）を設定する
	Set Execute/Cancel	Wi-FiがEnableのときに、Wi-Fiで行った設定を有効にする。 (Executeで実行)
	Wi-Fi Status (CBK-WA01使用 時のみ) ■ ■ ■ Connecting (表示のみ)	接続の実行中には「Connecting」を表示し、通信中には接続状態を■の数で表示する。
	Wireless Mode 802.11b / 802.11g / 802.11n	IEEE802.11の規格を表示する。

OTHERS		
メニュー項目	細目と設定値	内容
	Wi-Fi Enable / Disable	Wi-Fi接続を有効にするか（Enable）無効にするか（Disable）を選択する。
	Wi-Fi Remote On / Off	Wi-Fiリモコンを使用するときOnにする。
		ご注意 Wi-Fiの設定が無効（Disable）のときは選択できません。
Version	Vx.xx 本機のバージョンを表示	本機のソフトウェアバージョンを表示する。
Version (Lens)	Vx.xx レンズのバージョンを表示	レンズのバージョンを表示する
Version Up	Execute/Cancel 本機のバージョンアップ	Executeを選択すると本機のバージョンアップを実行する。 バージョンアップが必要になったときに使用する。
		ご注意 SxSメモリーカードが挿入されていないときは選択できません。
Menu Scroll	Normal / Loop メニューのスクロール方法の設定	メニューのスクロール方法を選択する。 Normal: カーソルは一番上、または一番下までスクロールして止まる Loop: カーソルは一番上までスクロールすると、一番下へ移動してスクロールを続ける。一番下までスクロールすると一番上へ移動する

1)本機以外の機器で操作されたカードが記録・再生できない状態になったときなど、管理ファイルを更新することによって、症状が改善される場合があります。

2)複数のクリップやファイルが記録されたSxSメモリーカードをコピーする場合は、カードの容量が同じであっても使用条件やメモリーの特性により、全クリップやファイルを最後までコピーできない場合があります。

外部機器を接続する

外部モニターや記録装置を接続する

記録・再生画像を外部モニターに表示させるとときは、本機の出力信号を選択し、接続するモニターに応じた接続ケーブルを使用してください。

VTRなどの記録装置を接続して、本機の出力信号を記録することもできます。

HD信号、SD信号を問わず、外部モニターにLCDモニター/ビューファインダーと同様の各種ステータス情報やメニューなどを表示させることができます。

モニターに出力する信号に応じて、VIDEO SETメニューのSDI/HDMI/Video Out Super (91ページ) をOnに設定してください。HDモードでSD信号を出力するときは、あらかじめVIDEO SETメニューのDown Converter (91ページ) で出力モード (Squeeze / Letterbox / Edge Crop) を選択してください。

ご注意

ダウンコンバートされて出力されるSD信号には、次のような制約があります。

50P/50i/25Pの映像はPAL信号、59.94P/59.94i/29.97Pの映像はNTSC信号、23.98Pの映像は2-3フレームダウン処理されたNTSC信号として出力されます。

SDI OUT端子 (BNC型)

工場出荷時は、HD SDI信号を出力するよう設定されています。

本機をSDモードに設定するとSD SDI信号を出力します。

VIDEO SETメニューのSDI/HDMI/i.LINK I/O Select (91ページ) をSD SDI & SD HDMI iに設定することによって、HDモードでもダウンコンバートされたモニター用SD SDI信号を出力するように変更することができます。

接続には市販の75Ω同軸ケーブルを使用してください。

本機と同時に外部機器で記録を開始するには

HD SDI信号出力時は、VIDEO SETメニューのSDI Rec Control (92ページ) をHD SDI Remote I/Fに設定すると、SDI OUT端子に接続した外部機器にRECトリガー信号を出力することによって、本機と同期した記録が可能になります。

ご注意

- VIDEO SETメニューのSDI/HDMI/i.LINK I/O SelectをHD SDI & HD HDMI、SD SDI & SD HDMI i以外に設定して、HDMI OUT端子およびi.LINK (HDV/DV) 端子を使用するときは、SDI OUT端子からは信号が出力されません。
- 接続した外部機器がRECトリガー信号に対応していない場合は動作しません。

HDMI OUT端子 (Type Aコネクター)

VIDEO SETメニューのSDI/HDMI/i.LINK I/O Select (91ページ) の設定を変更することによって、信号を出力することができます。HDモードでは、HD HDMI、SD HDMIインターレース、SD HDMI プログレッシブから選択して出力します。

SDモードではSD HDMIインターレース信号を出力します。

接続には、市販のHDMI接続ケーブルを使用します。

VIDEO OUT端子 (BNC型)

VIDEO SETメニューのSDI/HDMI/i.LINK I/O Select (91ページ) の設定を変更することによって、HD-Y信号 (HDモード時) またはダウンコンバートされたモニター用SDアナログコンポジット信号 (SDモード時) を出力することができます。

接続には市販のBNCケーブルを使用してください。

i.LINK (HDV/DV) 端子 (IEEE1394、4ピン)

VIDEO SETメニューのSDI/HDMI/i.LINK I/O Select (91ページ) の設定を変更することによって、HDVまたはDVストリームを出入力することができます。

入力設定をする場合は、VIDEO SETメニューのInput Source Select (90ページ) でi.LINKを選択してください。

i.LINK対応のモニターやVTRを接続することができます。

- ◆ i.LINK端子の接続について詳しくは、「i.LINKで接続する」(110ページ)をご覧ください。

A/V OUT端子 (音声/映像複合マルチコネクター)

VIDEO SETメニューのSDI/HDMI/i.LINK I/O Select (91ページ) の設定を変更することによって、2チャンネルの音声信号とダウンコンバートされたモニター用SDアナログコンポジット信号を出力することができます。

接続には、付属のAV接続ケーブルを使用します。

コンピューターでクリップを管理・編集する

コンピューターのExpressCardスロットを使う

ExpressCard/34またはExpressCard/54スロットがあるコンピューターの場合には、本機でクリップを記録したSxSメモリーカードを直接挿入して、ファイルにアクセスすることができます。

ご注意

- SxSデバイスドライバーソフトウェアおよびUDFドライバーソフトウェアをダウンロードしてインストールする必要があります。ソフトウェアのダウンロードについては、「ソフトウェアのダウンロードについて」(140ページ)をご覧ください。
 - すべてのパソコンについて、動作を保証するものではありません。
- ◆ SxSデバイスドライバーソフトウェアのサポート関連情報については、下記URLをご覧ください。

<http://www.sony.net/SxS-Support/>

Windowsコンピューターでは、マイコンピュータにリムーバブルディスクが追加されていることを確認してください。追加されれば正常に動作しています。

Macintoshコンピューターでは、メニューバーにアイコンが表示されます。

USBケーブルを使って接続する

本機またはSxSメモリーカードUSBリーダー/ライター SBAC-US20 (別売り) を、それぞれに付属のUSBケーブルを使って接続すると、スロットに装着されたメモリーカードがコンピューターの拡張ドライブとして認識されます。

本機の場合、2枚のメモリーカードが挿入されているときは、コンピューターでは2つのドライブとして認識されます。

ご注意

本機はコンピューターからのバスパワーでは動作しません。

本機への接続の確認**1 本機の電源スイッチをONにする。**

LCDモニター/EVF画面にUSBの接続を有効にするかどうかを確認するメッセージが表示されます。

ご注意

SxSメモリーカードのフォーマットや修復など、実行を確認するメッセージや実行中のメッセージが表示されている間は、USB接続確認メッセージは表示されません。フォーマットや修復などの実行が終了後に表示されます。またクリップの詳細情報表示中もUSB接続確認メッセージは表示されません。処理が終了するか、サムネイル画面に戻ると表示されます。

2 上/下/左/右ボタンまたはジョグダイヤルで「Execute」を選択する。**3 Windowsの場合、「マイコンピュータ」にリムーバブルディスクとして追加されていることを確認する。**

Macintoshの場合、デスクトップにNO NAMEまたはUntitledフォルダ（フォルダ名は任意に変更可）が作成されていることを確認する。

ご注意

- アクセスマランプが赤く点灯しているときは、次の操作をしないでください。
—電源を切る。電源コードを抜く。
—SxSメモリーカードを抜く。
—USBケーブルを抜く。
- すべてのパソコンについて、動作を保証するものではありません。
- 接続には本機に付属のUSBケーブルを使用してください。

SxSメモリーカードを取りはずす**Windowsの場合****1 コンピューターのタスクバーに表示されている「ハードウェアの取り外しました取り出し」アイコンをクリックする。****2 表示されたメニューから「SxS Memory Card – ドライブ (X:) を安全に取り外します」を選択する。****3 安全に取り外すことができるることを知らせるメッセージが表示されたら、カードを抜く。****Macintoshの場合**

デスクトップにあるSxSメモリーカードのアイコンを「ゴミ箱」(イジェクトアイコン)にドラッグします。ファインダ上にSxSメモリーカードのアイコンがある場合は、横のイジェクトアイコンをクリックしてください。

ご注意

メニューbaruに表示されているSxSメモリーカードのアイコンから「カード電源 切」を選択しないでください。

アプリケーションソフトウェアを使う

コンピューターのローカルディスクにクリップをコピーする場合などは、専用のアプリケーションソフトウェアをダウンロードし、インストールして使用します。ソフトウェアのダウンロードについては、「ソフトウェアのダウンロードについて」(140ページ)をご覧ください。

記録した素材は、情報が複数のファイル、複数のフォルダーにまたがって置かれていますが、専用アプリケーションソフトウェアでは、これらの情報やディレクトリ構造を、ユーザーが意識することなく、容易に扱えるようになっています。

ご注意

Explorer (Windows環境) やFinder (Mac環境) を使用して、SxSメモリーカード内のクリップのコピーなどを行うと、クリップが持つ情報を保持できなくなることがあります。

ノンリニア編集システムを使う

ノンリニア編集システムには、本機で記録したフォーマットに対応した編集ソフトウェア(別売り)が必要です。専用アプリケーションソフトウェアを使って、あらかじめコンピューターのHDDに編集したいクリップを保存しておきます。

i.LINKで接続する

HDV互換のビデオフォーマット（SP 1440×1080/59.94i、SP 1440×1080/50i、SP 1440×1080/23.98P）またはDVCAIM互換のビデオフォーマット（SDモードのフォーマット）が選択されているときは、VIDEO SETメニューのSDI/HDMI/i.LINK I/O Select（91ページ）をHDVまたはDVCAIMに設定することによって、i.LINK（HDV/DV）端子を介した信号の入出力が可能です。

i.LINK（HDV/DV）端子に接続した外部機器で本機のメモリーカードに記録されるのと同じ画像を記録したり、外部機器の再生画像を本機で記録することができます。

DVCAIMストリームのオーディオは、ロックオーディオ48kHz16ビット2チャンネルのみに対応します。

ご注意

- i.LINK接続は1対1で使用してください。
- i.LINK接続中にOTHERSメニューのSystem、VIDEO SETメニューのSDI/HDMI/i.LINK I/O Select、Down Converterなど、i.LINK（HDV/DV）端子から出力される信号に影響がある設定を変更するときは、i.LINKケーブルを抜いてから変更してください。i.LINK接続中に設定を変更した場合、接続されたi.LINK機器が正常に動作できなくなることがあります。

i.LINKとTMは商標です。

本機の画像を外部機器で記録する (FATのみ)

撮影中（記録中/記録待機中）は、本機で撮影している画像がi.LINK（HDV/DV）端子を介してHDVまたはDVCAIMストリームとして出力されます。本機のREC START/STOP操作に連動して、接続したHDVレコーダー やDVCAIMレコーダーで記録することもできます。

1 本機で事前に必要な設定を行う。

- VIDEO SETメニューのSDI/HDMI/i.LINK I/O Select（91ページ）

- OTHERSメニューのTrigger Mode（99ページ）

2 外部機器を録画スタンバイ状態にする。

3 本機で記録を開始する。

同期して外部機器が記録モードになります。

本機のLCDモニター/EVFのi.LINK状態表示部（20ページ）に外部機器の状態が表示されます。

表示	外部機器の状態
STBY i.HDV	HDV録画待機中
●REC i.HDV	HDV録画中
STBY i.DV	DV録画待機中
●REC i.DV	DV録画中

ご注意

- 外部機器の種類によっては、動作が異なる場合があります。
- 本機で記録を開始してから、i.LINK状態表示が切り替わるまでタイムラグがあります。Trigger ModeがBothに設定されていても、接続されているi.LINK機器では同期がかかるまで記録が開始されません。
- メモリーカードには撮影中にショットマークを記録することができますが、外部機器で記録される画像には付加されません。

ノンリニア編集する (FATのみ)

本機がサムネイル表示/再生モードのときは、i.LINK（HDV/DV）端子に接続したノンリニア編集システムにストリーム転送することができます。

ご注意

- 本機のi.LINK（HDV/DV）端子は4ピンです。接続するコンピューターのi.LINK端子のピン数をご確認のうえ、適切なi.LINKケーブルをお使いください。
- コンピューター上で本機の画像を検索するとき、画像の表示がコンピューター画面に反映されるまでに時間がかかる場合があります。
- クリップが短い場合や再生開始点からクリップ終端までが短い場合、クリップの境界でi.LINK信号が途切れることができます。また、このような信号をノンリニア編集機でキャプチャしよ

- うとした場合、アプリケーションによっては誤動作することがあります。
- ・ノンリニア編集機で×4倍、×15倍、×24倍以外のサーチ速度を指定すると、i.LINK信号は出力されません。またこの場合LCDモニター画面は静止画のままになります。
- ・ノンリニア編集ソフトウェアによっては、高速再生画がコンピューター上に出ない場合があります。

本機の設定

VIDEO SETメニューのSDI/HDMI/i.LINK I/O Select (91ページ) をHDVまたはDVCA Mに設定してください。

外部入力信号を記録する

i.LINK (HDV/DV) 端子に接続した機器からの入力を、本機に装着したSxSメモリーカードに記録することができます。タイムコードは、本機の設定にかかわらず、i.LINK入力に重畳されているタイムコードが記録されます。

1 外部信号を本機で記録できるフォーマットに設定する。

本機のビデオフォーマット (100ページ) の設定により、記録できる入力信号は次のようになります。

•FAT/HDモード

SP 1440×1080/59.94iまたはSP 1440×1080/23.98P : 1440×1080/59.94iのHDVストリーム信号
SP 1440×1080/50i : 1440×1080/50iのHDVストリーム信号

•FAT/SDモード

DVCAM59.94i、29.97P SQ/EC : 720×480/59.94iのDVCAMストリーム信号

•UDF/SDモード

DVCAM59.94i、29.97P SQ/EC : 720×480/59.94iのDVCAMストリーム信号
DVCAM50i、25P SQ/EC : 720×576/50iのDVCAMストリーム信号

上記以外のビデオフォーマットと入力信号の組み合わせでは記録できません。

2 VIDEO SETメニューのSDI/HDMI/i.LINK I/O Select (91ページ) を HDVに設定する。

3 VIDEO SETメニューのInput Source Select (90ページ) を i.LINKに設定する。

入力映像が、LCDモニター/EVF画面、VIDEO OUT端子に接続したモニターに表示されます。

音声信号は、内蔵スピーカー、ヘッドホン端子に接続したヘッドホン、AUDIO OUT端子に接続したモニターのスピーカーから出力されます。

4 REC START/STOPボタン (16ページ) またはREC STARTボタン (18ページ) を押す。

記録が始まります。

ご注意

- 次のような場合、エラー表示になります。エラー表示になった場合は、REC START/STOPボタンを押して、記録モードを解除してください。
一本機で設定されているビデオフォーマットと異なる信号が入力されている。
—コピー禁止ストリームが入力されている。
- 記録中に本機への入力が無信号となった場合はタリーランプおよびLCDモニター/EVF画面のi.LINK状態表示の「●REC」が点滅し、SxSメモリーカードに何も記録されていないことを表示します。
再び信号が入力されると記録が再開しますが、本機でのクリップ番号が繰り上がりります。

外部同期

本機を複数台使用して撮影するときなど、特定の基準信号に同期させたり、タイムコードを合わせることができます。

映像信号の位相を合わせる（ゲンロック）

本機のGENLOCK IN端子（18ページ）に基準信号を入力することによって、ゲンロックが可能です。

入力できる基準信号は、設定されているビデオフォーマットによって異なります。ビデオフォーマットが、UDFではHD422 50/1080/23.98P、HQ 1920×1080/23.98Pのとき、FATではHQ 1920×1080/23.98P、HQ 1440×1080/23.98Pのときは、VIDEO SETメニューの23.98P Output（91ページ）で23.98PsFか59.94i(2-3 Pull Down)を選択してください。

TSC/NTSC(J) Area の場合

UDF

ビデオフォーマット	入力可能な基準信号
HD422 50/1080/59.94i	1080/59.94i NTSC
HD422 50/1080/ 29.97P	
HD422 50/1080/ 23.98P (23.98P Output : 59.94i (2-3 Pull Down))	
HD422 50/1080/ 23.98P (23.98P Output : 23.98PsF)	1080/23.98PsF NTSC
HD422 50/720/59.94P	1080/59.94i 720/59.94P NTSC
HD422 50/720/29.97P	
HD422 50/720/23.98P	
DVCAM 59.94i SQ/EC	1080/59.94i NTSC
DVCAM 29.97P SQ/ EC	

FAT

ビデオフォーマット	入力可能な基準信号
HQ 1920x1080/59.94i	1080/59.94i NTSC
HQ 1920x1080/ 29.97P	
HQ 1920x1080/ 23.98P (23.98P Output: 59.94i (2-3 Pull Down))	
HQ 1920x1080/ 23.98P (23.98P Output: 23.98PsF)	1080/23.98PsF NTSC
HQ 1440x1080/59.94i	1080/59.94i NTSC
HQ 1440x1080/ 29.97P	
HQ 1440x1080/ 23.98P (23.98P Output: 59.94i (2-3 Pull Down))	
HQ 1440x1080/ 23.98P (23.98P Output: 23.98PsF)	1080/23.98PsF NTSC
SP 1440x1080/59.94i	1080/59.94i NTSC
SP 1440x1080/23.98P	
HQ 1280x720/59.94P	1080/59.94i 720/59.94P NTSC
HQ 1280x720/29.97P	
HQ 1280x720/23.98P	
DVCAM59.94i SQ/EC	1080/59.94i NTSC
DVCAM29.97P SQ/EC	

PAL Area の場合

UDF

ビデオフォーマット	入力可能な基準信号
HD422 50/1080/50i	1080/50i PAL
HD422 50/1080/25P	
HD422 50/720/50P	1080/50i 720/50P PAL
HD422 50/720/25P	
DVCAM50i SQ/EC	1080/50i PAL
DVCAM25P SQ/EC	

ビデオフォーマット	入力可能な基準信号
HQ 1920x1080/50i	1080/50i
HQ 1920x1080/25P	PAL
HQ 1440x1080/50i	
HQ 1440x1080/25P	
SP 1440x1080/50i	
HQ 1280x720/50P	1080/50i
HQ 1280x720/25P	720/50P PAL
DVCAM50i SQ/EC	1080/50i
DVCAM25P SQ/EC	PAL

同期信号の位相の調整は、OTHERSメニューのGenlock（99ページ）で行います。

ご注意

- 以下のビデオフォーマットのときに出力フォーマットがSDモードの場合は、ゲンロックできません。出力フォーマットをHDモードに設定してください。
UDF：HD422 50/720/59.94P、HQ 1280×720/59.94P、HD422 50/720/50P、HQ 1280×720/50P
FAT：HQ 1280×720/59.94P、HQ 1280×720/50P
- 基準信号が不安定な場合は、ゲンロックできません。
- サブキャリアは同期しません。

他機のタイムコードにロックさせる

タイムコード供給源となる機器は、タイムコード出力が更新されるモード（Free Run やClock）に設定してください。

- TC/UB SETメニューのTimecodeを次のように設定する。
Mode : Preset
Run : Free Run
- DURATION/TC/U-BITボタン（16ページ）を押して、画面にタイムコードを表示させる。
- IN/OUTスイッチ（18ページ）がIN側になっていることを確認し、GENLOCK IN 端子とTC IN端子に、それぞれHDまたはSDのリファレンスピデオ信号およびそれに同期した基準タイムコードを供給する。

これで本機のタイムコードジェネレーターが基準タイムコードにロックし、画面に「EXT-LK」と表示されます。

ロックしてから約10秒経過した後は、外部からの基準タイムコードの接続を外しても、外部ロック状態は保たれます。

ご注意

- 供給する基準タイムコードとリファレンスピデオ信号が、SMPTEタイムコードの規格を満たした位相関係にあることを確認してください。
- 外部ロックの操作をすると、タイムコードは瞬時に外部のタイムコードにロックし、外部タイムコードの値と同じ値がタイムデータ表示部に出ますが、タイムコードジェネレーターが安定するまでの数秒間は、記録を開始しないでください。
- リファレンスピデオ信号の周波数と本機のフレーム周波数が同じでないと、正しくロックできず、本機が正常に動作できません。この場合、タイムコードも外部のタイムコードに正しくロックできません。
- 接続をはずした場合、基準タイムコードに対し1時間で1フレームずれる場合があります。

外部ロックを解除するには

TC/UB SETメニューのTimecodeの設定を変更するか、本機の電源をOFFにしてください。

特殊記録モード（スロー＆クイックモーション、フレームレック、インターバルレック）での記録を開始した場合も、外部ロックは解除されます。

本機のタイムコードに他機のタイムコードを合わせる

- 1 TC/UB SETメニューのTimecodeおよびTC Formatで本機のタイムコードを設定する（46ページ）。
- 2 IN/OUTスイッチ（18ページ）がOUT側になっていることを確認し、TC OUT端子とVIDEO OUT端子（18ページ）を、同期させたい機器のタイムコード入力端子、リファレンス信号入力端子に接続する。

TC OUT端子から出力されるタイムコードは、TC/UB SETメニューのTimecodeのTC Outの設定により異なります。TC OutをGeneratorに設定したときは、記録時、再生時とも本機のタイムコードジェネレーターが生成するタイムコードが出力されます。Autoに設定したときは、記録時はタイムコードジェネレーターが生成するタイムコード、再生時は映像に付加されているタイムコードが出力されます。

使用上のご注意

安全にご使用いただくために、「安全のため」(2ページ)、「**△警告**」(8ページ)、「**△注意**」(9ページ)、「電池についての安全上のご注意」(10ページ)と併せてご覧ください。

取り扱い・保管上のご注意

強い衝撃を与えない

- 内部構造や外観の変形などの損傷を受けることがあります。
- アクセサリーシュートに装着した部品に強い衝撃が与えられた場合、アクセサリーシュートが損傷する場合があります。この場合は使用を中止し、お買い上げ店またはソニーのサービス窓口にご相談ください。

動作中は布などで包まないでください
内部の温度が上がり、好ましくありません。

使い終わったら

電源スイッチをOFFにしてください。

長時間使わないときは

バッテリーを抜いておいてください。

運搬するときは、ハンドルを持つ

フロントマイク部、LCDモニター部など、ハンドル以外の場所を持って運搬すると、本機が落下してけがの原因になることがあります。

レンズを太陽光に向けて放置しない

太陽光がレンズを通して内部に焦点を結び、火災の原因となることがあります。

輸送

- メモリーカードは必ず取り出しておいてください。
- トラック、船、航空機など、本機を貨物として扱う輸送では、お買い上げ時の梱包材をご使用ください。

お手入れ

レンズの表面に付着したゴミやほこりは、プロアードで吹き払いします。
外装の汚れは、乾いた柔らかい布で拭き取ります。ひどい汚れは、中性洗剤液を少し含ませた布で拭いた後、カラ拭きします。
アルコール、ベンジン、シンナーなどの薬品類は、表面が変質したり、塗料がはげることがありますので、使わないでください。

万一、異常が生じたときは

お買い上げ店かソニーのサービス窓口にご相談ください。

バッテリー端子に関するご注意

機器に搭載されているバッテリー端子（バッテリーパックやACアダプターとの接点部分）は消耗品です。

振動や衝撃によって端子が変形したり、曲がったり、あるいは長期の屋外での使用などによって表面が腐食したりすると、本体に電源が供給されなくなります。
長期間機器を使用していただくために、定期点検を実施することをお願いします。点検につきましては、ソニーのサービス担当者または営業担当者にご相談ください。

使用場所・保管場所

水平な場所、空調のある場所に保管してください。

次のような場所での使用・保管は避けてください。

- 極端に寒い所、暑い所（使用温度は0°C～40°C）。
真夏、窓を閉め切った自動車内は50°Cを越えることがあります。
- 湿気・ほこりの多い所。
- 雨がある所。
- 激しく振動する所。
- 強い磁気を発生するものの近く。
- 強力な電波を発生するテレビやラジオの送信所の近く。
- 直射日光が長時間当たる場所や暖房器具の近く。

携帯電話などによる電波障害を防止するため

携帯電話などを本機の近くで使用すると、誤動作を引き起こしたり、映像、音声などに影響を与えることがあります。
本機の近くでは、携帯電話などの電源はできるだけ切ってください。

レーザービームについてのご注意

レーザービームはCMOSイメージセンサーに損傷を与えることがあります。レーザービームを使用した撮影環境では、CMOSイメージセンサー表面にレーザービームが照射されないように充分注意してください。

画面について

- 画面を太陽にむけたままにすると、画面を傷めます。屋外でご使用のときは、太陽に向けて放置しないでください。
- 画面を強く押したり、ひっかいたり、上に物を置いたりしないでください。画面にムラが出たり、パネルの故障の原因になります。
- 使用中に画面があたたかくなることがありますが、故障ではありません。

液晶画面の輝点・減点について

本機の液晶パネルは有効画素99.99%以上の非常に精密度の高い技術で作られていますが、画面上に黒い点が現れたり（画素欠け）、常時点灯している輝点（赤、青、緑など）や減点がある場合があります。また、液晶パネルの特性上、長期間ご使用の間に

画素欠けが生じることもあります。これらの現象は故障ではありませんので、ご了承の上本機をお使いください。なお、これらの点が記録されることはありません。

CMOSイメージセンサー特有の現象

撮影画面に出る下記の現象は、CMOSイメージセンサー特有の現象で、故障ではありません。

白点

CMOSイメージセンサーは非常に精密な技術で作られていますが、宇宙線などの影響により、まれに画面上に微小白点が発生する場合があります。これは撮像素子の原理に起因するもので故障ではありません。

また、以下の場合、白点が見えやすくなります。

- 高温の環境で使用するとき
- マスターイン(感度)を上げたとき
- スローシャッターモードのとき

折り返しひずみ

細かい模様、線などを撮影すると、ぎざぎざやちらつきが見えることがあります。

フリッカー

蛍光灯、ナトリウム灯、水銀灯などの放電管による照明下で撮影すると、画面が明滅したり、色が変化したり、横縞が流れるように見えることがあります。



このようなときは、フリッカー補正機能をAutoにしてください（46ページ）。

条件によってはフリッカー補正機能で低減しない場合があります。

電子シャッタースピードを、50Hzの地域では1/100に、60Hzの地域では1/60に設定することをお勧めします。

フォーカルプレーン

撮像素子（CMOSセンサー）の映像信号を読み出す方法の性質により、撮像条件によっては、画面をすばやく横切る被写体が少しうがんで見えることがあります。

フラッシュバンド

フラッシュ光や、すばやく点滅する光源を撮影したときに、画面の上下で輝度が変化することがあります。

画面表示に関するご注意

- 次のような場合、LCDモニターやEVFの映像が乱れることがあります。
 - フォーマットを切り換えたとき
 - レックレビュー時
 - サムネイル画面から再生を開始したとき
 - LCDモニターを反転したとき
 - エクスバンドフォーカス表示切り換え時
- EVF内で視線を動かした場合などに、赤、緑、青の原色が見えることがあります。故障ではありません。また、これらの原色が実際にメディアに記録されることはありません。

ファイルの断片化について

画像が正しく記録・再生されないとときは記録メディアをフォーマット（初期化）してください。長期間、映像の記録・クリップの消去を繰り返していると、記録メディア内のファイルが断片化（フラグメンテーション）して、映像が正しく記録・保存できなくなる場合があります。このような場合は、クリップのバックアップを取ったあと、OTHERSメニューのFormat Media（102ページ）で記録メディアのフォーマット（初期化）を行ってください。

出力のフォーマットと制限

ビデオフォーマットと出力信号

SDI OUT端子の出力フォーマット

SDI OUT端子からのシリアルデジタル信号は、セットアップメニューの設定や再生するクリップのフォーマットに応じて出力されます。

下表に示す設定の場合は、出力フォーマットが変換されます。

ご注意

- フォーマットがUDF/HDモードまたはFAT/HDモードの場合、VIDEO SETメニューのSDI/HDMI/i.LINK I/O SelectがSD SDI & SD HDMI iに設定されていると、SDIにダウンコンバートされた信号が出力されます。
- VIDEO SETメニューのSDI/HDMI/i.LINK I/O SelectがHD SDI & HD HDMI、SD SDI & SD HDMI i以外に設定されているときは、SDI OUT端子からは信号は出力されません。

撮影時（記録中/記録待機中）/クリップ再生時

撮影時：OTHERSメニュー のSystemのFormat 再生時：再生するクリップ のビデオフォーマット	出力フォーマット	
	VIDEO SETメニューのSDI/HDMI/i.LINK I/O Select	HD SDI & HD HDMI
HD422 50/1080/23.98P HQ 1920x1080/23.98P HQ 1440x1080/23.98P (23.98P Output : 59.94i (2-3 Pull Down))	1920×1080/59.94i ¹⁾	SD/59.94i ¹⁾
SP 1440/23.98P	1920×1080/59.94i ¹⁾	SD/59.94i ¹⁾
HD422 50/720/59.94P HQ 1280x720/59.94P	1280×720/59.94P	SD/59.94i ²⁾
HD422 50/720/29.97P HQ 1280x720/29.97P	1280×720/59.94P ³⁾	SD/29.97PsF
HD422 50/720/23.98P HQ 1280x720/23.98P	1280×720/59.94P ⁴⁾	SD/59.94i ¹⁾
HD422 50/720/50P HQ 1280x720/50P	1280×720/50P	SD/50i ⁵⁾
HD422 50/720/25P HQ 1280x720/25P	1280×720/50P ⁶⁾	SD/25PsF

1)23.98Pを2-3フレームで59.94iに変換したもの

2)59.94Pから59.94iに変換したもの

3)29.97Pを2フレームずつ同じ絵を出して59.94Pとしたもの

4)23.98Pを、2フレーム～3フレームと同じ絵を繰り返して59.94Pとしたもの

5)50Pから50iに変換したもの

6)25Pを2フレームずつ同じ絵を出して50Pとしたもの

サムネイル画面表示時

OTHERSメニュー SystemのFormat	出力フォーマット	
	VIDEO SETメニューのSDI/HDMI/i.LINK I/O Select	
	HD SDI & HD HDMI	SD SDI & SD HDMI i
HD422 50/1080/23.98P HQ 1920x1080/23.98P HQ 1440x1080/23.98P (23.98P Output : 59.94i (2-3 Pull Down))	1920×1080/59.94i ¹⁾	SD/59.94i
HD422 50/720/50P HQ 1280x720/50P	1280×720/50P	SD/50i ²⁾

1)23.98Pを2-3フレームで59.94iに変換したもの

2)50Pから50iに変換したもの

HDMI OUT端子の出力フォーマット

HDMI OUT端子からのシリアルデジタル信号は、セットアップメニュー再生するクリップのフォーマットに応じて出力されます。

下表に示す設定の場合は、出力フォーマットが変換されます。

ご注意

フォーマットがUDF/HDモードまたはFAT/HDモードの場合、VIDEO SETメニューのSDI/HDMI/i.LINK I/O SelectがSD SDI & SD HDMI iに設定されていると、SDにダウンコンバートされた信号が出力されます。

撮影時（記録中/記録待機中）/クリップ再生時

撮影時：OTHERSメニュー のSystemのFormat 再生時：再生するクリップ のビデオフォーマット	出力フォーマット		
	VIDEO SETメニューのSDI/HDMI/i.LINK I/O Select		
	HD SDI & HD HDMI HD HDMI & HDV	SD SDI & SD HDMI i SD HDMI i & HDV SD HDMI i & DVCA	SD HDMI P & HDV SD HDMI P
HD422 50/1080/23.98P HQ 1920x1080/23.98P HQ 1440x1080/23.98P (23.98P Output : 59.94i (2-3 Pull Down))	1920×1080/59.94i ¹⁾	SD/59.94i ¹⁾	SD/59.94P
SP 1440/23.98P ²⁾	1920×1080/59.94i ¹⁾	SD/59.94i ¹⁾	
HD422 50/720/59.94P HQ 1280x720/59.94P	1280×720/59.94P	SD/59.94i ³⁾	
HD422 50/720/29.97P HQ 1280x720/29.97P	1280×720/59.94P ⁴⁾	SD/29.97PsF	
HD422 50/720/23.98P HQ 1280x720/23.98P	1280×720/59.94P ⁵⁾	SD/59.94i ¹⁾	
HD422 50/720/50P HQ 1280x720/50P	1280×720/50P	SD/50i ⁶⁾	SD/50P
HD422 50/720/25P HQ 1280x720/25P	1280×720/50P ⁷⁾	SD/25PsF	

1)23.98Pを2-3フレームで59.94iに変換したもの

2)撮影時（記録中/記録待機中）のみ

3)59.94Pから59.94iに変換したもの

4)29.97Pを2フレームずつ同じ絵を出して59.94Pに変換したもの

5)23.98Pを、2フレーム～3フレームと同じ絵を繰り返して59.94Pに変換したもの

6)50Pから50iに変換したもの

7)25Pを2フレームずつ同じ絵を出して50Pとしたもの

サムネイル画面表示時

OTHERSメニュー SystemのFormat	出力フォーマット		
	VIDEO SETメニューのSDI/HDMI/i.LINK I/O Select		
	HD SDI & HD HDMI HD HDMI & HDV	SD SDI & SD HDMI i SD HDMI i & HDV SD HDMI i & DVCA	SD HDMI P & HDV SD HDMI P
HD422 50/1080/23.98P HQ 1920x1080/23.98P HQ 1440x1080/23.98P (23.98P Output : 59.94i (2-3 Pull Down))	1920×1080/59.94i ¹⁾	SD/59.94i	SD/59.94P

1)23.98Pを2-3プレダウンして59.94iとしたもの

VIDEO OUT端子の出力フォーマット

VIDEO OUT端子からは、SDI OUT端子またはHDMI OUT端子から出力されている信号と同じフォーマットのHD-Y信号（SDI OUT端子またはHDMI OUT端子の出力がHDのとき）またはアナログコンポジット信号（SDI OUT端子またはHDMI OUT端子の出力がSDのとき）が出力されます。

OTHERSメニューのSystemのCountryの設定と異なるシステムで記録されたクリップを再生する場合は、下表のとおりフレームレート変換された簡易再生信号が出力されます。

Country の設定が NTSC Area/NTSC(J) Area のときに PAL システムで記録されたクリップを再生する場合

フレームレート変換のため、同じ絵が繰り返しとなるフレームがあります。

再生するクリップのビデオ フォーマット	VIDEO OUT出力フォーマット	
	HD-Y	アナログコンポジット
HD422 50/1080/50i HQ 1920x1080/50i HQ 1440x1080/50i SP 1440x1080/50i	1920×1080/60i	SD/59.94i
HD422 50/1080/25P HQ 1920x1080/25P HQ 1440x1080/25P	1920×1080/30PsF	SD/29.97PsF
HD422 50/720/50P HQ 1280x720/50P	1280×720/60P	SD/59.94i
HD422 50/720/25P HQ 1280x720/25P		SD/29.97PsF
DVCAM50i SQ/EC	再生不可	再生不可
DVCAM25P SQ/EC		

Country の設定が PAL Area のときに NTSC システムで記録されたクリップを再生する場合

フレームレート変換のため、間引かれるフレームがあります。

再生するクリップのビデオ フォーマット	VIDEO OUT出力フォーマット	
	HD-Y	アナログコンポジット
HD422 50/1080/59.94i HQ 1920x1080/59.94i HQ 1440x1080/59.94i SP 1440x1080/59.94i	1920×1080/49.95i	SD/50i
HD422 50/1080/29.97P HQ 1920x1080/29.97P HQ 1440x1080/29.97P	1920×1080/24.97PsF	SD/25PsF
HD422 50/1080/23.98P HQ 1920x1080/23.98P HQ 1440x1080/23.98P SP 1440x1080/23.98P		
HD422 50/720/59.94P HQ 1280x720/59.94P	1280×720/49.95P	SD/50i
HD422 50/720/29.97P HQ 1280x720/29.97P		SD/25PsF
HD422 50/720/23.98P HQ 1280x720/23.98P		

再生するクリップのビデオ フォーマット	VIDEO OUT出力フォーマット	
	HD-Y	アナログコンポジット
DVCAM59.94i SQ/EC	再生不可	再生不可
DVCAM29.97P SQ/EC		

i.LINK I/O端子の出力フォーマット

i.LINK I/O端子からのシリアルデジタル信号は、セットアップメニューで再生するクリップのフォーマットの設定に応じて、下表に示すフォーマットで出力されます。

ご注意

VIDEO SETメニューのSDI/HDMI/i.LINK I/O SelectがHD SDI & HD HDMI、SD SDI & SD HDMI i、SD HDMI Pに設定されているときは、i.LINK I/O端子からは信号は出力されません。

撮影時（記録中／記録待機中）／クリップ再生時

撮影時：OTHERSメニュー のSystemのFormat 再生時：再生するクリップ のビデオフォーマット	出力フォーマット	
	VIDEO SETメニューのSDI/HDMI/i.LINK I/O Select	
	HD HDMI & HDV SD HDMI i & HDV SD HDMI P & HDV	SD HDMI i & DVCAM
HQ 1920x1080/59.94i HQ 1440x1080/59.94i	無信号	SD/59.94i
HQ 1920x1080/29.97P HQ 1440x1080/29.97P		SD/29.97PsF
HQ 1920x1080/23.98P HQ 1440x1080/23.98P		無信号
SP 1440x1080/59.94i	1440×1080/59.94i	SD/59.94i
SP 1440x1080/23.98P	1440×1080/59.94i ¹⁾	SD/59.94i ¹⁾
HQ 1280x720/59.94P	無信号	SD/59.94i ²⁾
HQ 1280x720/29.97P		SD/29.97PsF
HQ 1280x720/23.98P		無信号
DVCAM59.94i SQ/EC		SD/59.94i
DVCAM29.97P SQ/EC		SD/29.97PsF
HQ 1920x1080/50i HQ 1440x1080/50i	無信号	SD/50i
HQ 1920x1080/25P HQ 1440x1080/25P		SD/25PsF
SP 1440x1080/50i	1440×1080/50i	SD/50i
HQ 1280x720/50P	無信号	SD/50i ³⁾
HQ 1280x720/25P		SD/25PsF
DVCAM50i SQ/EC		SD/50i
DVCAM25P SQ/EC		SD/25PsF

1)23.98Pを2-3倍ダウンして59.94iとしたもの

2)59.94Pから59.94iに変換したもの

3)50Pから50iに変換したもの

入出力制限

メニューの設定によって、下表のとおり入出力が制限されます。

×：無信号

メニュー設定		出力						入力
System		SDI/HDMI/ i.LINK I/O Select	SDI OUT	HDMI OUT	i.LINK	VIDEO OUT	A/V Out	i.LINK
UDF	HD	HD SDI & HD HDMI	HD	HD	×	HD-Y	×	×
		SD SDI & SD HDMI i	SD	SD	×	Composite	Composite	×
		SD HDMI P	×	SD-P	×	×	×	×
		Off	×	×	×	Composite	Composite	×
FAT	HD/HQ	HD SDI & HD HDMI	HD	HD	×	HD-Y	×	×
		SD SDI & SD HDMI i	SD	SD	×	Composite	Composite	×
		SD HDMI i & DVCAM	×	SD	DVCAM	Composite	Composite	DVCAM
		SD HDMI P	×	SD-P	×	×	×	×
		Off	×	×	×	Composite	Composite	×
	HD/SP	HD SDI & HD HDMI	HD	HD	×	HD-Y	×	×
		SD SDI & SD HDMI i	SD	SD	×	Composite	Composite	×
		HD HDMI & HDV	×	HD	HDV	HD-Y	×	HDV
		SD HDMI i & HDV	×	SD	HDV	Composite	Composite	HDV
		SD HDMI P & HDV	×	SD-P	HDV	×	×	HDV
UDF	SD	SD SDI & SD HDMI i	SD	SD	×	Composite	Composite	×
		SD HDMI i & DVCAM	×	SD	DVCAM*	Composite	Composite	DVCAM
		Off	×	×	×	Composite	Composite	×
		SD SDI & SD HDMI i	SD	SD	×	Composite	Composite	×
		SD HDMI i & DVCAM	×	SD	DVCAM	Composite	Composite	DVCAM
		Off	×	×	×	Composite	Composite	×

* クリップ再生時のみ出力されます。

バックアップ電池の交換

本機はバックアップ電池によって各種データを保持します。

工場出荷時に、バックアップ用リチウム電池CR2032が装着されています。

バッテリーパックやACアダプターをはずした状態でも、バックアップ電池によって日付・時刻、およびFree Runモードのタイムコードを保持し歩進させます。

警告

直射日光の下や火気の近くなど、高温のところにバッテリーを置かないでください。

バックアップ電池の交換時期

バックアップ電池の電圧が低下すると、LCDモニター/EVF画面に警告メッセージが表示されます。

できるだけ早く新しい電池と交換してください。

ご注意

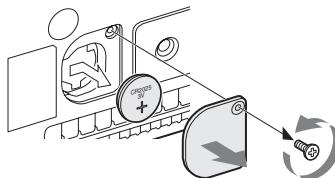
- 市販のCR2032リチウム電池を使用してください。指定以外の電池に交換すると、破裂する危険があります。必ず指定の電池に交換してください。
- CR2032が入手できない場合は、お買い上げ店またはソニーのサービス窓口にご相談ください。
- 使用済みの電池は、国または地域の法令に従って処理してください。

バックアップ電池を交換する

ご注意

- バックアップ電池を交換するときは、必ず電源スイッチをOFFにしてください。
- はずしたネジを本体内に落とさないようにご注意ください。

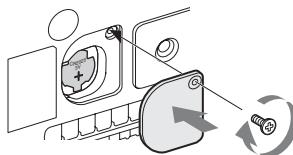
- 1 底面のバックアップ電池取り付け部（19ページ）のネジをはずしてカバーを開け、非金属の棒状のもので電池を横にずらして取り出す。



- 2 +表示を外側にして新しいバックアップ電池（CR2032）を入れる。



- 3 カバーを元どおり取り付ける。



トラブル時の対処

電源

症状	原因	対処
電源スイッチをONにしても電源が入らない。	バッテリーパックからの電源、DC IN電源のどちらも供給されていない。	バッテリーパックを取り付ける(22ページ)か、ACアダプター(BC-U1/BC-U2)を使用してAC電源に接続する(23ページ)。
電源が途中で切れる。	バッテリーパックが完全に消耗している。	充電済みのバッテリーパックと交換する(22ページ)。
バッテリーパックがすぐ消耗する。	温度が極端に低いところで使用している。 充電が不充分。	バッテリーパックの特性によるもので、故障ではありません。 バッテリーパックをもう一度充電し直す(22ページ)。 フル充電してもすぐに消耗する場合は、バッテリーパックの寿命です。新しいバッテリーパックに交換してください。

記録・再生

症状	原因	対処
REC START/STOPボタンを押しても記録が始まらない。	電源スイッチがOFFになっている。 SxSメモリーカードがプロテクトされている。	電源スイッチをONにする。 プロテクトを解除するか、またはプロテクトされていないSxSメモリーカードに交換する。
PLAYボタンを押しても再生が始まらない。	SxSメモリーカードの容量がいっぱいになっている。 修復が必要なSxSメモリーカードが入っている。	充分な空き容量のあるSxSメモリーカードに交換する。 SxSメモリーカードを修復する(28ページ)。
付属のリモコンが動かない	リモコン操作が無効になっている。 リモコンの電池が消耗している。	リモコン操作を有効にする(25ページ)。 電池を交換する(25ページ)。
音声が記録できない。	AUDIO LEVEL(CH-1/CH-2) つまみが最小の位置になっている。	AUDIO LEVEL(CH-1/CH-2) つまみの設定を調整する(47ページ)。
記録した音声がひずんでいる。	音声レベルが高すぎる。	AUDIO LEVEL(CH-1/CH-2) つまみを調節して、記録し直す(47ページ)。
雑音が多い。	音声レベルが低すぎる。	AUDIO LEVEL(CH-1/CH-2) つまみを調節して、記録し直す(47ページ)。

外部機器

症状	原因	対処
i.LINK接続して も接続先の機器 に画像が映らない など、接続先 の機器が反応し ない。	認識するまでに時間がかかる場 合がある。	約15秒間、そのまま待つ。それでも認識しないときは、以下を行う。 <ul style="list-style-type: none">• i.LINKケーブルを差し込み直すなどして、接続状態を確認する。• 電源をOFFにして、接続し直す。• i.LINKケーブルを交換する。

エラー / 警告表示

本機では警告、注意、動作確認などが必要な状況では、LCDモニター/EVF画面のメッセージ表示、タリーランプの点滅、および警告音で対応します。

警告音は、内蔵スピーカーまたはヘッドホン端子に接続したヘッドホンに出力します。

警告音の音量は、AUDIO SETメニューのAudio Output (90ページ) のAlarm Levelで設定します。

エラー表示

次のような表示が出た場合は、本機は動作を停止します。

LCD/EVF警告表示	警告音	タリーランプ	原因と対策
E+エラーコード	連続音	高速点滅	本体の異常の可能性があります。LCDモニター/EVF画面上に●RECと表示されていても記録は止まっています。 電源を切り、接続している機器やケーブル類、メディアに異常がないか確認してください。これらに異常がないときは、再度電源を入れ、エラーが継続する場合はソニーのサービス窓口にご連絡ください。 (電源スイッチをOFFにしても電源が切れない場合は、バッテリーパックやDC IN電源もはずしてください。)

警告表示

次のような表示が出た場合は、メッセージに従って対策してください。

(OTHERSメニューのLanguageをEnglishに設定した場合、メッセージは英文で表示されます。)

LCD/EVF警告表示	警告音	タリーランプ	原因と対策
メディア残量がわずかです Media Near Full	断続音	点滅	SxSメモリーカードの残量が少なくなっています。 早い機会に交換してください。
メディア残量がありません Media Full	連続音	高速点滅	SxSメモリーカードの残量がないため、記録、コピー、クリップ分割はできません。 交換してください。
バッテリー残量がわずかです Battery Near End	断続音	点滅	バッテリーパックの残量が少なくなっています。 早い機会に充電してください。
バッテリー残量がありません Battery End	連続音	高速点滅	バッテリーパックが消耗しました。記録はできません。 いったん操作を中止し、バッテリーパックを交換してください。
警告温度になりました Temperature High	断続音	点滅	内部温度が上昇しました。 いったん電源を切り、温度が下がるまで使用を中止してください。
電源電圧が低下しています Voltage Low	断続音	点滅	DC IN電圧が低くなっています（段階1）。供給電源を確認してください。

LCD/EVF警告表示	警告音	タリー ランプ	原因と対策
電源電圧が不足しています Insufficient Voltage	連続音	高速点滅	DC IN電圧が低すぎます（段階2）。記録はできません。 他の電源に接続しなおしてください。
HDD A ¹⁾ バッテリー残量が僅かで す HDD A ¹⁾ Battery Near End	断続音	点滅	HDDのバッテリーの残量が少なくなっています。 早い機会に交換してください。
HDD A ¹⁾ バッテリー残量不足です HDD A ¹⁾ Battery End	連続音	高速点滅	HDDのバッテリーが消耗しました。記録はできません。 いったん操作を中止し、バッテリーを交換してください。
このバッテリーは使用できません 交換してください Battery Error Please Change Battery			バッテリーパックに異常が検出されました。 正常なバッテリーパックに交換してください。
バックアップ電池残量がありませ ん 交換してください Backup Battery End Please Change			バックアップ電池の残量が不足しています。 バックアップ電池を交換してください。
メディア(A) ²⁾ は使用できません 交換してください Unknown Media(A) ²⁾ Please Change			パーテーションが切られているメモリーカー ドや、本機で扱えるクリップ数を超えて記録 されたメモリーカードが挿入されました。 本機では使用できませんので、交換してく ださい。
メディアエラーが発生しました メディア(A) ²⁾ は修復が必要です Media Error Media(A) ²⁾ Needs to be Restored			メモリーカードに異常が発生し、修復が必要 な状態になりました。 メモリーカードを一度抜いてから再挿入して、 カードの修復を行ってください。
メディアエラーが発生しました メディア(A) ²⁾ は記録できません Media Error Cannot Record to Media(A) ²⁾			メモリーカードが故障して、記録ができなく なりました。 再生は可能ですので、コピーをとるなどして、 新しいメモリーカードに交換することをお勧 めします。
メディアエラーが発生しました メディア(A) ²⁾ は使用できません Media Error Cannot Use Media(A) ²⁾			メモリーカードが故障して記録も再生もでき なくなりました。 本機では扱えませんので、他のカードに交換 してください。
まもなくスロットを切り替えます Will Switch Slots Soon			2枚のメモリーカードで連続記録を実行するた めスロットを切り換えることを予告するメ セージです。
クリップがありません No Clip			メモリーカード内にクリップがありません。 選択しているカードを確認してください。
メディア(A) ²⁾ は使用できません ファイルシステムが異なります Cannot Use Media(A) ²⁾ Unsupported File System			ファイルシステムの異なるカードまたは フォーマットされていないカードが挿入され ました。 本機では使用できませんので、交換または本 機でフォーマットしてください。
UDFモードでは メディア(A) ²⁾ は使用できません Cannot Use Media(A) ²⁾ In UDF Mode			UDFモードでは使用できないメモリーカード が挿入されました。 対象スロットのカードを交換または本機で フォーマットするか、UDF/FATモードを切り 換えてください。
同名のクリップが存在します メディア(A) ²⁾ を交換してください Same File Already Exists Change Media(A) ²⁾			コピー先のメモリーカード内に同じ名前のク リップがあります。 対象スロットのカードを他のカードに交換し てください。

LCD/EVF警告表示	警告音	タリー ランプ	原因と対策
ビデオフォーマットが違います Video Format Mismatch			Format設定が外部入力信号フォーマットと異なっているため、i.LINK接続による外部入力信号を記録できません。 OTHERSメニューのSystemのFormatを外部入力信号に合わせて設定し直してください。
コピー制御信号を検出しました 記録できません Copy Protected Input Cannot Record			ストリームにコピープロテクトがかかっているため、i.LINK接続による外部入力信号を記録できません。 入力信号を確認してください。
メディアエラーが発生しました 再生を停止しました Media Error Playback Halted			メモリーカードからの読み出しにエラーが発生したため、再生を続けられません。 頻繁に起きる場合には、コピーをとるなどをして、メモリーカードを交換してください。
メディア(A) ²⁾ にエラーが発生しました Media(A) ²⁾ Error			メモリーカードに異常が発生したため、記録できません。 頻繁に起きる場合には、メモリーカードを交換してください。
書き換え寿命に達しました メディア(A) ²⁾ を交換してください Media Reached Rewriting Limit Change Media (A) ²⁾			メモリーカードの寿命がきました。 バックアップをとり、速やかに交換してください。継続して使用すると、正常に記録・再生できない可能性があります。 ◆詳しくは、メモリーカードの取扱説明書を参照してください。
最大クリップ数になりました コピーしました xx/xx Reached Clip Number Limit Copy Completed to xx/xx			1枚のメモリーカードに記録可能な最大クリップ数に達したため、コピーできません (xx/xxまでコピー完了しています)。 カードを交換してください。
メディア残量が足りません コピーしました xx/xx Not Enough Capacity Copy Completed to xx/xx			メモリーカードの残量が足りないため、コピーできません (xx/xxまでコピー完了しています)。 カードを交換してください。
同名のクリップが複数存在します コピーしました xx/xx Reached Duplication Limit Copy Completed to xx/xx			同名のクリップが10以上存在するため、コピーできません (xx/xxまでコピー完了しています)。 カードを交換してください。
エラーが発生しました キャンセル : 中止 メディアはありません Copy Error! (CANCEL:Abort) No Media!			メモリーカードがスロットに挿入されています。 カードを挿入してください。
エラーが発生しました キャンセル : 中止 書き込み禁止メディア Copy Error! (CANCEL:Abort) Media Write Protected			メモリーカードにライトプロテクトがかかっています。 スロットからカードを取り出して、ライトプロテクトを解除してください。
エラーが発生しました キャンセル : 中止 メディア(A) ²⁾ は使用できません Copy Error! (CANCEL:Abort) Cannot Use Media(A) ²⁾			使用できないメモリーカードが挿入されました。 対象スロットのカードを交換してください。
Generalファイルのコピーできません Copy General Files NG: Cannot Copy			Generalファイルのコピーに失敗しました。 コピーをやり直してください。

LCD/EVF警告表示	警告音	タリーランプ	原因と対策
ファイルシステムが異なります File System Mismatch			ファイルシステムが異なるメモリーカードが挿入されました。 カードを交換または本機でフォーマットするか、UDF/FATモードを切り換えてください。

1)スロットBに接続したHDDの場合はB

2)スロットBに入れたカードの場合は(B)

ライセンスについて

MPEG-2 Video Patent Portfolio Licenseについて

個人的使用以外の目的で、MPEG-2規格に合致した本製品をパッケージメディア向けビデオ情報をエンコードするために使用する場合、MPEG-2 PATENT PORTFOLIOの特許に関するライセンスを取得する必要があります。尚、当該ライセンスは、MPEG LA. L.L.C., (住所250STEELE STREET, SUITE 300, DENVER, COLORADO 80206)より取得可能です。

PACKAGED MEDIAとは、一般消費者向けに販売、頒布されるMPEG-2コンテンツの入ったメディア（映画 DVDなど）を指します。PACKAGED MEDIAを製造、販売、頒布する業者は、MPEG LAからライセンスを取得する必要があります。
詳しくは、MPEG LAにお問い合わせください。
MPEG LA.L.L.C., 250 STEELE STREET,
SUITE 300, DENVER, COLORADO 80206
ホームページ：<http://www.mpeglal.com>

GPL適用ソフトウェアの入手について

本製品はGPL version 2適用のソフトウェアを使用しており、お客様には、これらのソフトウェアのソースコードの入手、改変、再配布の権利があることをお知らせします。これらのソースコードはインターネットのサーバーからダウンロードすることができます。以下のURLにアクセスすれば、具体的なダウンロードの方法がわかるようになります。

[http://www.sony.net/Products/Linux/
common/search.html](http://www.sony.net/Products/Linux/common/search.html)

なお、ソースコードの中身についてのお問い合わせはご遠慮ください。

ビットマップフォントについて

本製品は、株式会社リコーがデザイン制作したリコービットマップフォントを使用しています。

OpenSSLについて

本製品には、OpenSSL Toolkitで使用するためにOpenSSL Projectによって開発されたソフトウェアが含まれています（<http://www.openssl.org/>）。

OpenSSL License

```
/*
=====
=====
* Copyright (c) 1998-2008 The OpenSSL
* Project. All rights reserved.
*
* Redistribution and use in source and
* binary forms, with or without
* modification, are permitted provided
* that the following conditions are met:
*
* 1. Redistributions of source code must
* retain the above copyright notice,
* this list of conditions and the
* following disclaimer.
*
* 2. Redistributions in binary form must
* reproduce the above copyright
* notice, this list of conditions and the
* following disclaimer in the
* documentation and/or other
* materials provided with the
* distribution.
*
* 3. All advertising materials mentioning
* features or use of this software must
* display the following
* acknowledgment:
* "This product includes software
* developed by the OpenSSL Project
* for use in the OpenSSL Toolkit.
* (http://www.openssl.org/)"
*
* 4. The names "OpenSSL Toolkit" and
* "OpenSSL Project" must not be used
* to endorse or promote products
```

- * derived from this software without
- * prior written permission. For written
- * permission, please contact openssl-
- * core@openssl.org.
- *
- * 5. Products derived from this software
- * may not be called "OpenSSL" nor
- * may "OpenSSL" appear in their
- * names without prior written
- * permission of the OpenSSL Project.
- *
- * 6. Redistributions of any form
- * whatsoever must retain the following
- * acknowledgment:
- * "This product includes software
- * developed by the OpenSSL Project
- * for use in the OpenSSL Toolkit
- * (<http://www.openssl.org/>)"
- *
- * THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY
- * THE OpenSSL PROJECT ``AS IS''
- * AND ANY EXPRESSED OR IMPLIED
- * WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT
- * LIMITED TO, THE IMPLIED
- * WARRANTIES OF MERCHANTABILITY
- * AND FITNESS FOR A PARTICULAR
- * PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO
- * EVENT SHALL THE OpenSSL
- * PROJECT OR ITS CONTRIBUTORS BE
- * LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT,
- * INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY,
- * OR CONSEQUENTIAL DAMAGES
- * (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO,
- * PROCUREMENT OF SUBSTITUTE
- * GOODS OR SERVICES;
- * LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS;
- * OR BUSINESS INTERRUPTION)
- * HOWEVER CAUSED AND ON ANY
- * THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN
- * CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR
- * TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR
- * OTHERWISE)
- * ARISING IN ANY WAY OUT OF THE
- * USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF
- * ADVISED OF THE POSSIBILITY OF
- * SUCH DAMAGE.
- *

```
=====
=====
* This product includes cryptographic
* software written by Eric Young
* (eay@cryptsoft.com). This product
* includes software written by Tim
* Hudson (tjh@cryptsoft.com).
*
* /

```

Original SSLeay License

```
/* Copyright (C) 1995-1998 Eric Young
 * (eay@cryptsoft.com)
 * All rights reserved.
 *
 * This package is an SSL
 * implementation written by Eric Young
 * (eay@cryptsoft.com).
 * The implementation was written so as
 * to conform with Netscapes SSL.
 *
 * This library is free for commercial and
 * non-commercial use as long as the
 * following conditions are aheared to.
 * The following conditions apply to all
 * code found in this distribution, be it the
 * RC4, RSA, Ihash, DES, etc., code; not
 * just the SSL code. The SSL
 * documentation included with this
 * distribution is covered by the same
 * copyright terms except that the holder
 * is Tim Hudson (tjh@cryptsoft.com).
 *
 * Copyright remains Eric Young's, and
 * as such any Copyright notices in the
 * code are not to be removed.
 * If this package is used in a product,
 * Eric Young should be given attribution
 * as the author of the parts of the library
 * used.
 * This can be in the form of a textual
 * message at program startup or in
 * documentation (online or textual)
 * provided with the package.
 *
```

- * Redistribution and use in source and
- * binary forms, with or without
- * modification, are permitted provided
- * that the following conditions are met:
- * 1. Redistributions of source code must
- * retain the copyright notice, this list of
- * conditions and the following
- * disclaimer.
- * 2. Redistributions in binary form must
- * reproduce the above copyright
- * notice, this list of conditions and the
- * following disclaimer in the
- * documentation and/or other
- * materials provided with the
- * distribution.
- * 3. All advertising materials mentioning
- * features or use of this software must
- * display the following
- * acknowledgement:
- * "This product includes
- * cryptographic software written by
- * Eric Young (eay@cryptsoft.com)"
- * The word 'cryptographic' can be left
- * out if the rouines from the library
- * being used are not cryptographic
- * related :-).
- * 4. If you include any Windows specific
- * code (or a derivative thereof) from
- * the apps directory (application
- * code) you must include an
- * acknowledgement:
- * "This product includes software
- * written by Tim Hudson
- * (tjh@cryptsoft.com)"
- *
- * THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY
- * ERIC YOUNG ``AS IS'' AND ANY
- * EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES,
- * INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO,
- * THE IMPLIED WARRANTIES OF
- * MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A
- * PARTICULAR PURPOSE ARE
- * DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE
- * AUTHOR OR CONTRIBUTORS BE
- * LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT,
- * INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR
- * CONSEQUENTIAL DAMAGES
- * (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO,

- * PROCUREMENT OF SUBSTITUTE
- * GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE,
- * DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS
- * INTERRUPTION)
- * HOWEVER CAUSED AND ON ANY
- * THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN
- * CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR
- * TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR
- * OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT
- * OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN
- * IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF
- * SUCH DAMAGE.
- *
- * The licence and distribution terms for
- * any publically available version or
- * derivative of this code cannot be
- * changed. i.e. this code cannot simply
- * be copied and put under another
- * distribution licence [including the GNU
- * Public Licence.]
- * /

JQuery,Sizzle.jsについて

本製品には、MITライセンス適用の下記のソフトウェアが含まれています

jQuery JavaScript Library v1.7.2

<http://jquery.com/>

Copyright 2011, John Resig

Sizzle.js

<http://sizzlejs.com/>

Copyright 2011, The Dojo Foundation

Date: Wed Mar 21 12:46:34 2012 -0700

MITライセンス

Permission is hereby granted, free of charge, to any person obtaining a copy of this software and associated documentation files (the "Software"), to deal in the Software without restriction, including without limitation the rights to use, copy, modify, merge, publish, distribute, sublicense, and/or sell copies of the Software, and to permit persons to whom the Software is furnished to do so, subject to the following conditions:

The above copyright notice and this permission notice shall be included in all copies or substantial portions of the Software.

THE SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS", WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING BUT NOT LIMITED TO THE WARRANTIES OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE AND NONINFRINGEMENT. IN NO EVENT SHALL THE AUTHORS OR COPYRIGHT HOLDERS BE LIABLE FOR ANY CLAIM, DAMAGES OR OTHER LIABILITY, WHETHER IN AN ACTION OF

CONTRACT, TORT OR OTHERWISE,
ARISING FROM, OUT OF OR IN
CONNECTION WITH THE SOFTWARE OR
THE USE OR OTHER DEALINGS IN THE
SOFTWARE.

保証書とアフターサービス

保証書

- この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際お受け取りください。
- 所定の事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックを

この説明書をもう一度ご覧になってお調べください。

それでも具合が悪いときは

お買い上げ店、または添付の「ソニー業務用製品ご相談窓口のご案内」にあるお近くのソニーのサービス窓口にご相談ください。

保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は

修理によって機能が維持できる場合、ご要望により有料修理させていただきます。

保証期間中の修理など、アフターサービスについてご不明な点は、お買い上げ店、またはソニーのサービス窓口にお問い合わせください。

主な仕様

一般仕様

質量

約2.2 kg（本体のみ）
約2.6 kg（レンズフード、アイカップ、
バッテリーパックBP-U30、SxSメモ
リーカード各1装着時）

外形寸法（幅 × 高さ × 奥行き）

約172 × 164 × 428 mm
最大外形寸法。奥行きはレンズフード
前面からEVFアイカップまでの長さ。
約172 × 164 × 326 mm
突起部を含まず。奥行きはレンズフー
ド前面から本体リア面までの長さ。

電源電圧

DC 12 V (11.0 V ~ 17.0 V)

消費電力

約13W
記録時、LCD : Off、EVF : On、I/O
Select : Off

約19W
記録時、LCD : On、EVF : On、I/O
Select : HD SDI & HD HDMI、外部機
器接続端子を使用

動作温度

0°C ~ +40°C

保存温度

-20°C ~ +60°C

連続動作時間

約5時間30分（バッテリーパックBP-U90使
用時）
約3時間40分（バッテリーパックBP-U60/
BP-U60T使用時）
約1時間50分（バッテリーパックBP-U30使
用時）
(記録時、LCD : Off、EVF : On、I/O Select
: Off)

記録フォーマット（ビデオ）

UDF

HD422 50 1080モード：CBR、最大ビット
レート：50Mbps、MPEG-2 422P@HL
HD422 50 720モード：CBR、最大ビット
レート：50Mbps、MPEG-2 422P@HL
HQ 1920x1080モード：VBR、35Mbps、
MPEG-2 MP@HL
HQ 1440x1080モード：VBR、35Mbps、
MPEG-2 MP@HL
HQ 1280x720モード：VBR、35Mbps、
MPEG-2 MP@HL
SD モード：DVCAM

FAT

HQ 1920x1080モード：VBR、35Mbps、
MPEG-2 MP@HL
HQ 1440x1080モード：VBR、35Mbps、
MPEG-2 MP@HL
HQ 1280x720モード：VBR、35Mbps、
MPEG-2 MP@HL
SP 1440x1080モード：CBR、25Mbps、
MPEG-2 MP@H-14
SD mode : DVCAM

記録フォーマット（オーディオ）

UDF

HD422モード：LPCM 24ビット、
48 kHz、4チャンネル
HQモード：LPCM16ビット、48 kHz、4
チャンネル
SD DVDCAMモード：LPCM 16ビット、48
kHz、4チャンネル
SD DVDCAMモード (iLINK入力時)：LPCM
16ビット、48 kHz、2チャンネル

FAT

HDモード：LPCM 16ビット、48 kHz、
4チャンネル
SDモード：LPCM 16ビット、48 kHz、
2チャンネル

記録フレームレート

UDF

HD422モード：MPEG-2 422P@HL、
50Mbps / CBR
1920×1080/59.94i、50i、29.97p、
25p、23.98p
1280×720/59.94p、50p、29.97p、
25p、23.98p
HQモード：MPEG-2 MP@HL、35Mbps /
VBR
1920×1080/59.94i、50i、29.97p、
25p、23.98p
1440×1080/59.94i、50i、29.97p、
25p、23.98p
1280×720/59.94p、50p、23.98p
SDモード：DVCAM
720×486/59.94i、29.97PsF
720×576/50i、25PsF

FAT

HQモード：MPEG-2 MP@HL、35Mbps /
VBR
1920×1080/59.94i、50i、29.97p、
25p、23.98p
1440×1080/59.94i、50i、29.97p、
25p、23.98p
1280×720/59.94p、50p、29.97p、
25p、23.98p
SPモード：MPEG-2 MP@H-14、25Mbps /
CBR
1440×1080/59.94i、50i、
23.98p (2-3 pull down)
SDモード：DVCAM
720×480/59.94i、29.97PsF
720×576/50i、25PsF

記録・再生時間

UDF

HD422モード

約240分：SBP-128B (128GB) 使用時

約120分：SBP-64B / SBS-64G1A

(64GB) 使用時

約60分：SBS-32G1A (32GB) 使用時

HQモード

約360分：SBP-128B (128GB) 使用時

約180分：SBP-64B / SBS-64G1A

(64GB) 使用時

約90分：SBS-32G1A (32GB) 使用時

SDモード：DVCA

約440分：SBP-128B (128GB) 使用時

約220分：SBP-64B / SBS-64G1A

(64GB) 使用時

約110分：SBS-32G1A (32GB) 使用時

FAT

HQモード

約400分：SBP-128B (128GB) 使用時

約200分：SBP-64B / SBS-64G1A

(64GB) 使用時

約100分：SBS-32G1A (32GB) 使用時

SPモード

約560分：SBP-128B (128GB) 使用時

約280分：SBP-64B / SBS-64G1A

(64GB) 使用時

約140分：SBS-32G1A (32GB) 使用時

SDモード：DVCA

約520分：SBP-128B (128GB) 使用時

約260分：SBP-64B / SBS-64G1A

(64GB) 使用時

約130分：SBS-32G1A (32GB) 使用時

ご注意

記録再生時間は、使用条件やメモリーの特性などにより、多少の誤差が生じる場合があります。

レンズ

レンズマウント

固定式

ズーム比

20倍

最大口径比

1:1.6

焦点距離

4.1 mm ~ 82.0 mm

(35 mm換算：28.8 mm ~ 576 mm)

フォーカス範囲

自動/手動切り替え可能

800 mm to ∞ (マクロOFF)

10 mm to ∞ (マクロON、広角端)

800 mm to ∞ (マクロON、望遠端)

絞り

自動/手動切り替え可能

F1.6 ~ F11およびC (クローズ)

手ぶれ補正

ON/OFF可能、シフトレンズ方式

フィルター径

M72 mm、ピッチ0.75 mm

マクロ

ON/OFF可能

カメラ部

撮像素子

1/3型3板 "Exmor" CMOSイメージセンサー

有効画素数

1920 (H) × 1080 (V)

内蔵フィルター

NDフィルター

CLEAR

1: 1/4ND

2: 1/16ND

3: 1/64ND

最低被写体照度

0.12 lx (標準) (1920 × 1080/59.94iモード、

F1.6、+18dB、64フレーム蓄積)

シャッタースピード

1/32 ~ 1/2000秒

スローライド (SLS/EX SLS)

2、3、4、5、6、7、8、16、32、
64フレーム

スロー＆クイックモーション

720p : 1 ~ 60フレーム (NTSC Area)、
1 ~ 50フレーム (PAL Area、UDFの場合)

1080p : 1 ~ 30フレーム (NTSC Area)、
1 ~ 25フレーム (PAL Area、UDFの場合)

ホワイトバランス

プリセットモード (3200K)、

メモリーAモード、メモリーBモード/
ATWモード

ゲイン

-3、0、3、6、9、12、18 dB、AGC

入出力

オーディオ入力

XLR型3ピン(2)、凹型、LINE/MIC/

MIC+48V切り換え可能

LINE : +4 dBu

MIC : -30 dBu ~ -70 dBu

(基準レベル 0 dBu=0.775 Vrms)

ビデオ出力

BNC型(1)、GENLOCK IN端子と切り換え

可能、HD-Y/コンポジット信号

1.0 Vp-p、75 Ω

AVマルチ出力

AVマルチコネクター(1)、オーディオ出力、
コンポジット信号

オーディオ : -10 dBu (47 kΩ負荷時、基準
レベル)

アナログコンポジット信号 : NTSCまたは
PAL

SDI出力

BNC型(1)、HD-SDI/SD-SDI切り換え可能

SMPTE292M/259M

i.LINK

IEEE 1394、4ピンコネクター(1)、
HDV (HDV 1080i) / DV入出力、S400

タイムコード入力

BNC型(1)、TC OUT端子と切り換え可能
0.5 V ~ 1.8 Vp-p、10 kΩ

タイムコード出力

BNC型(1)、TC IN端子と切り換え可能
1.0 Vp-p、10 kΩ

GENLOCK入力

BNC型(1)、VIDEO OUT端子と切り換え可
能
1.0 Vp-p、75 Ω

USB

mini-B(1)

イヤホン出力

ステレオミニジャック(1)

-18 dBu (基準レベル出力 16 Ω負荷時)

スピーカー出力

モノラル

出力 : 250 mW

DC入力

DC ジャック

HDMI出力

Type A型(1)

レンズリモート端子

丸型8ピン(1)

外部機器接続端子

4ピン(Type A)(1)

表示部

ビューファインダー

0.45型カラー LCD : 852 (H) × 480 (V),
16:9

LCDモニター

3.5型カラー LCDモニター : 852 (H) × 3
(RGB) × 480 (V)、16:9

内蔵マイク

内蔵マイク

無指向性ステレオエレクトレットコンデン
サーマイク

メディアスロット部

タイプ

ExpressCard/34(2)

仕様および外観は、改良のため予告なく変
更することがあります、ご了承ください。

付属品

レンズフード(1)

あらかじめ本機に装着されています。

赤外線リモコン(1)

EVFアイカップ(1)

USBケーブル(1)

AV接続ケーブル(1)

ショルダーベルト(1)

Wi-Fiアダプターブラケット(1)

ボタン電池(バッカアップ用CR2032)(1)

あらかじめ本機に装着されています。

ボタン電池(リモコン用CR2025)(1)

あらかじめリモコンに装着されています。

取扱説明書(1)



ソフトウェアのダウンロードについて

本機をPCと接続して使用する際は、必要に応じてデバイスドライバーや各種プラグインソフトウェア、アプリケーションソフトウェアをソニープロフェッショナル/業務用製品サイトからダウンロードしてお使いください。

ソニープロフェッショナル/業務用製品サイトホームページ：

アメリカ合衆国	http://pro.sony.com
カナダ	http://www.sonybiz.ca
ラテンアメリカ	http://sonypro-latin.com
ヨーロッパ、中東、アフリカ	http://www.pro.sony.eu
日本	http://www.sonyscbsc.com
アジア	http://pro.sony-asia.com
韓国	http://bp.sony.co.kr
中国	http://pro.sony.com.cn

別売りアクセサリー

バッテリーパック

BP-U30、BP-U60、BP-U60T、BP-U90

バッテリーチャージャー /ACアダプター

BC-U1、BC-U2

SxSメモリーカード

SxS PROシリーズ

SxS-1シリーズ

SxSメモリーカードUSBリーダー /ライター

SBAC-US20

メディアアダプター

QDA-EX1 (XQDメモリーカード用)

MEAD-MS01 ("メモリースティック

PRO-HG デュオ" HX用)

MEAD-SD01 (SDHCカード用)

Wi-Fiアダプター

CBK-WA01

ワイヤレスアダプター

CBK-WA100

USB無線LANモジュール

IFU-WLM3

エレクトレットコンデンサーマイクロホン

ECM-VG1、ECM-673、ECM-674、

ECM-678、ECM-MS2、ECM-680S

ワイヤレスマイクロホン

UWP-V1*、UWP-V2*

ワイドコンバージョンレンズ

VCL-HG0872K

メモリーレコーディングユニット

HVR-MRC1K*

* これらのアクセサリーを後部アクセサリーシューに取り付けて使用する場合は、コールドシューキット（部品番号：X-2546-633-1）を取り付けてください。

この装置は、クラスA情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

VCCI-A

- 必ず事前に記録テストを行い、正常に記録されていることを確認してください。本機や記録メディア、外部ストレージなどを使用中、万一これらの不具合により記録されなかった場合の記録内容の補償については、ご容赦ください。
- お使いになる前に、必ず動作確認を行ってください。故障その他に伴う営業上の機会損失等は保証期間中および保証期間経過後にかかわらず、補償はいたしかねますのでご了承ください。

索引

あ行

アイリス	43
アサイナブルボタン	49
頭出し	69
位置合わせ	54
インターバルレック	50
エクスパンドフォーカス	45
エラー表示	127
オーディオステータス画面	79
オートシャッター	43
オートホワイトバランス	42
オールクリップサムネイル画面	68
音声記録	46
音声モニター	47

か行

外部同期	112
外部入力信号	111
外部マイク	46
外部モニター	107
カメラステータス画面	78
カラーバー	48
基準音声信号	48
クリップ	39, 61, 68, 108
クリップエクスパンド画面	70, 74
クリップコンティニュアスレック	51
クリップ操作メニュー	70
クリップ名	39
警告表示	127
ゲイン	42
ゲンロック	112
誤操作防止	39
コマ撮り	50

さ行

サムネイル画面	70, 66
視度調整つまみ	24
自動追尾ホワイトバランス	41
充電繰り返し回数	80
出力信号	118
ジョグダイヤル	82
ショットマーク	48, 69, 75, 76

ショットマーク画面	70, 75
ズーム	44
ズームスピード	78
ステータス画面	78
スロー＆クイックモーション	53
赤外線リモコン	25
設定データ	61
セットアップファイル	61
セットアップメニュー	81, 84
ゼブラパターン	42

た行

タイムコード	112
タイムデータ	46
ダイレクトメニュー	21
超高感度スローシャッター	43
手ぶれ補正	45
電子シャッター	43
電動ズームレバー	44
時計	23

な行

内蔵ステレオマイク	46
内蔵スピーカー	69
入出力制限	123
ノンリニア編集	110

は行

バックアップ電池	124
バックライト	24
バッテリーチャージャー	22
バッテリーパック	22
バッテリー / メディアステータス画面	80
ハンドル ZOOM ボタン	44
ピーキング	45
ピクチャーキャッシュレック	52
ピクチャープロファイル	54
被写界深度バー表示	21
ヒストグラム表示	21
日付 / 時刻	23
ビデオステータス画面	79
ビデオフォーマット	40
ビューファインダー	24
フォーカス	44
フォーマット（初期化）	27, 29, 30
プランニングメタデータ	62

フリーズミックス	54
プリセットモード	41
フリッカー	45
フルオートモード	38
フレームレック	50
ヘッドホン端子	47, 69
ボタン / リモート ステータス画面	80
ホワイトバランス	41

ま行

マーカー	42
メディアアダプター	29
メモリースティック	29
メモリー A モード	41
メモリー B モード	41
モニター音量	47

や行

ユーザービット	46
---------	----

ら行

リモートコマンダー (リモコン)	19
レックスタートマーク	51, 71
レックレビュー	49
録音レベル	47

わ行

ワイドコンバージョンレンズ	45
---------------	----

A

AC アダプター	22
AC 電源	23
ACCESS ランプ	26
AGC モード	43
All Reset	97
Aperture	59
Area Detection	60
Assign Button	49, 98
ATW	41
ATW Speed	87
Audio Input	89
AUDIO LEVEL 調整つまみ	47
Audio Output	90
AUDIO SELECT スイッチ	47
AUDIO SET メニュー	89
Auto Naming	39

Auto Shutter	43
--------------	----

A/V OUT 端子	108
------------	-----

B

Battery Alarm	99
Battery INFO	99
Black	60
Black Gamma	60

C

Camera Data	97
CAMERA SET メニュー	84
Clip	101
Clip Cont. Rec	51, 86
Clip Name Disp	104
Clock Set	97
CMOS イメージセンサー	116
Color Bars	85
Copy	60
Copy All	102
Country	100

D

Date/Time	23
DC IN 端子	23
Direct Menu	99
DISP CLIP INFO	72
Display On/Off	93
DISPLAY ボタン	20
Down Converter	91
DURATION/TC/U-BIT ボタン	46

E

EVF	24, 92
EXPAND FOCUS ボタン	45
EXPAND (COARSE)	75
EXPAND (FINE)	75
ExpressCard スロット	108



F

Flicker Reduce	46, 85
Format	100
Format Media	102
Frame Rec	86
Freeze Mix	54
FULL AUTO ボタン	38

G

Gain Setup	84
Gamma	59
Genlock	99, 113
GENLOCK IN 端子	112

H

HD Detail	57
HDMI OUT 端子	107
HD/SD	100
Hours Meter	99

I

Image Inversion	88
Input Source Select	90
Interval Rec	86
IR Remote	25, 99
i.LINK	20, 110
i.LINK 端子	108

K

Knee	59
KP フラグ	48

L

Language	97
LCD	24, 92
LCD/VF SET メニュー	92
LENS REMOTE 端子	44
Low Key SAT	60

M

Macro	88
Marker	93
Matrix	56
MEAD-MS01	29
MEAD-SD01	29
Media Full	27
Media Near Full	27
Menu Scroll	106
MENU ボタン	82
MF Assist	85
Multi Matrix	56

N

ND フィルター	41
Network	104
NG フラグ	48

O

OK クリップサムネイル画面	67
OK フラグ	48
OK マーク	49
OTHERS メニュー	97

P

PAUSE	75, 76
Peaking	45, 92
PEAKING ボタン	45
Plan.Metadata	63, 103
PLAY/PAUSE ボタン	68
PP Data	60
Profile Name	56
P.Cache Rec	86

R

REC HOLD レバー	39
Rec Review	49, 86
REC REVIEW ボタン	39
REC START MARK	71
REC START/STOP ボタン	39
Reset	60

S

SBAC-US20	108
SD Detail	58
SDHC カード	29
SDI OUT 端子	107
SDI Rec Control	92, 107
SDI/HDMI/i.LINK I/O Select	91
SEL/SET ダイヤル	82
SEL/SET ボタン	82
Shockless White	87
Shutter	84
Skin Tone Detail	58
SLOT SELECT ボタン	27
SLS/EX SLS	84
Steady Shot	45, 88
SxS デバイスドライバソフトウェア	108

SxS メモリーカード	26
System.....	100
S&Q Motion.....	53, 86
Zoom Transition	85

T

Tally	99
TC Format	96
TC IN 端子	113
TC Out	114
TC OUT 端子	114
TC/UB SET メニュー	95
Time Zone	23, 97
Timecode	46, 95
TLCS.....	21, 38, 87
Trigger Mode.....	99, 110

U

UDF/FAT	100
USB ケーブル	108
USB メモリー	30
Users Bit	96
UTC	23

V

Version	106
Version Up	106
VIDEO OUT 端子	107
VIDEO SET メニュー	90
VOLUME ボタン	47, 69

W

White	57
WHITE BAL スイッチ	41
WHITE BAL ボタン	42
White Switch	87
Wide Conversion	45, 88
Wi-Fi	105
Wi-Fi アダプター	32
Wi-Fi リモコン	36

X

XQD メモリーカード	29
-------------------	----

Z

Zebra	42, 93
Zoom Speed	44, 85

数字	
23.98P Output	91

